

# 東北ブロックにおける社会資本整備重点計画

## 目 次

はじめに.....	1
第1章 東北ブロックにおける社会資本整備を取り巻く社会経済情勢	
1. 東北ブロックの特徴.....	3
(1) 広大な圏土と豊かな自然、日本海・太平洋に面する開かれた環境.....	3
(2) 脊梁山脈で分けられ、峠を隔て広範囲に都市が分散する圏土構造.....	3
(3) 雪・地震・津波・火山等の自然の驚異との対峙.....	3
(4) 豊富な地域資源ポテンシャル.....	3
(5) 受け継がれる人の魅力、優れた人材やモノづくり技術、特徴ある伝統・文化・冬の魅力.....	3
(6) 深刻化する人口減少・少子化・高齢化.....	4
2. 東北ブロックの将来像.....	4
3. 東北ブロックにおける社会情勢の変化.....	4
(1) 自然災害の激甚化・頻発化、切迫.....	4
(2) インフラ老朽化の加速.....	5
(3) 地域社会の変化.....	6
(4) グローバル化の進展.....	7
(5) デジタル革命の加速.....	8
(6) グリーン社会の実現に向けた動き、ライフスタイルや価値観の多様化.....	9
(7) 新型コロナウイルス感染症の拡大.....	10
第2章 今後の東北ブロックの社会資本整備の方向性	
1. 社会資本整備の中長期的な目的と計画期間内の社会資本整備の目標.....	12
(1) 社会資本整備の中長期的な目的.....	12
(2) 計画期間内の社会資本整備の目標.....	12
2. 計画期間内の社会資本整備の目標を達成するための取組の方向性.....	12
3. 持続可能で質の高い社会資本整備を下支えするための取組.....	13
第3章 東北ブロックにおける社会資本整備の重点目標	
重点目標1：防災・減災が主流となる社会の実現(防災先進圏域を目指して).....	14
小目標1－1：東日本大震災被災地の復興・再生を実現する様々な活動や暮らしの支援.....	16
小目標1－2：東日本大震災や令和元年東日本台風等の教訓を活かした圏域全体の防災・減災対策の推進(①気候変動の影響等を踏まえた流域治水②地震・津波対策③冬期も含めた交通機能確保).....	19
小目標1－3：圏域全体や圏域を越えた広域での災害対応に必要な体制や機能の確保・向上.....	37

重点目標2:持続可能なインフラメンテナンス	40
小目標2-1:計画的なインフラメンテナンスの推進	41
小目標2-2:新技術の活用等によるインフラメンテナンスの高度化・効率化	45
小目標2-3:集約・再編等によるインフラストックの適正化	47
重点目標3:持続可能で暮らしやすい地域社会の実現	49
小目標3-1:雪の克服とバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	50
小目標3-2:コンパクト・プラス・ネットワークによる美しく力強い空間・地域拠点を形成	56
小目標3-3:東京一極集中是正の受け皿づくりに向けた多核拠点相互の共生・連携の推進と基盤整備(二地域居住等の関係人口の拡大支援も含む、より広域的な共生・連携の支援)	63
重点目標4:経済の好循環を支える基盤整備(東北にっぽん自立経済圏を目指して)	66
小目標4-1:国際競争力向上やサプライチェーンの国内回帰等を支援する基盤整備(人流・物流・情報通信の基盤整備と体系構築)	68
小目標4-2:観光資源の魅力向上と広域周遊観光促進に向けた観光地域づくりの推進	74
小目標4-3:世界や日本を牽引する拠点形成実現支援とその効果を最大限に発揮・波及させる基盤整備(福島イノベーション・コースト構想、国際リニアコライダー計画、その他先端産業拠点等)	76
重点目標5:インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)	79
小目標5-1:東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」等によるデジタル化・スマート化	80
小目標5-2:新技術の社会実装によるインフラの新価値の創造	82
重点目標6:インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上	84
小目標6-1:再生可能エネルギー・新エネルギー等によるグリーン社会の実現	85
小目標6-2:人を中心に据えたインフラ空間の見直し	90
第4章 計画を推進するための方策	
1. 多様な効果を勘案した公共事業評価等の実施	92
2. 社会資本整備への多様な主体の参画・協働と透明性・公平性の確保	92
3. 社会資本整備における生産性の向上	92

・東北ブロックは、国土形成計画法に基づく東北圏広域地方計画と整合を図り、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県及び新潟県を対象とする。

## 〇はじめに

社会資本整備重点計画(以下「重点計画」という。)は、平成 15(2003)年以降、これまで4次にわたる計画を策定し、戦略的・計画的な取組を進めてきた。

第5次社会資本整備重点計画は、令和3年5月28日に閣議決定され、①防災・減災が主流となる社会の実現、②持続可能なインフラメンテナンス、③持続可能で暮らしやすい地域社会の実現、④経済の好循環を支える基盤整備、⑤インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)、⑥インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上、の6つを重点目標として設定しているが、従前の重点計画から「3つの総力を挙げた社会資本整備」「インフラ経営により、その潜在力を引き出すとともに、新たな価値を創造」「新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ『新たな日常』の実現」という観点からの取り組みの深掘りも行っている。

東北ブロックにおける社会資本整備重点計画(以下「東北ブロック版重点計画」という。)は、重点計画の第4章「計画の実効性を確保する方策」の第1節において、「新たに設定される重点目標を達成するため、全国レベルの本重点計画に基づき、各地方の特性、将来像や整備水準に応じて重点的、効率的、効果的に整備するための計画として、地方ブロックにおける社会資本整備重点計画を策定する。」を受け策定するものである。

東北ブロック版重点計画の策定に当たっては、国土形成計画(東北圏広域地方計画)と調和を図りつつ、国土強靱化地域計画などの各種計画と連携するとともに、重点計画と同様に、「経済財政運営と改革の基本方針 2020」を踏まえデジタル化・スマート化を原則とした生産性向上や、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」(「2030 アジェンダ」)が国連で採択を受け策定した、我が国の「持続可能な開発目標(SDGs)実施方針」(平成 28 年 12 月決定)における「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラ整備」や、それに取り組む際の主要原則「包摂性」(誰一人取り残さない)や「参加型」(あらゆるステークホルダーや当事者の参画を重視し、全員参加で取り組む)といった点を踏まえる必要がある。

このようなことから、東北ブロック版重点計画における東北ブロックの将来像は、東北圏広域地方計画(計画期間平成 28 年度～令和 7 年度)の将来像「震災復興から自立的発展へ～防災先進圏域の実現と豊かな自然を活かし交流・産業拠点を目指す『東北につぼん』～」を踏襲しつつ、昨今の社会情勢の変化等も踏まえ、被災圏域として東日本大震災や令和元年東日本台風の事実を踏まえた教訓を活かし、国土強靱化のモデルとなる防災先進圏域として、また、ポストコロナの新しい社会・生活の観点から、東北の強みを活かして、東京一極集中是正の国づくりを牽引し、今後発生が予想される首都直下型地震等の大規模災害に備えたバックアップ機能に加え、福島イノベーション・コースト構想などの先端技術拠点の形成で日本・世界を先導、また、人口減少・高齢化が顕著な東北であるからこそ持続可能な地域社会の形成やデジタル化を駆使した担い手確保のモデルとして、さらには、風力発電の導入促進など活発な動きを捉え、再生可能エネルギー・新エネルギー一大拠点を目指すなど、様々な分野でのトップランナー「東北につぼん」を目指すこととしている。

東北ブロック版重点計画では、将来像の実現、それら効果の波及や最大化に向けた社会資本整備を、重点計画と整合を図った6つの重点目標と、それに向け東北の将来像や方向性を踏まえた16の小目標にて、重点計画同様に、3つの総力などの観点から取組に関する深掘りも行いつつ事業・取組を整理している。

# 第1章 東北ブロックにおける社会資本整備を取り巻く社会経済情勢

## 1. 東北ブロックの特徴

### (1) 広大な圏土と豊かな自然、日本海・太平洋に面する開かれた環境

東北ブロックは、本州の北東部にあって国土全体の約2割を占める広大な面積と長い海岸線を有している。圏土は、首都圏と隣接し、日本海・太平洋の両方に面しており、内外に開かれた環境となっている。また、ブロックの面積の約7割が森林であるなど、自然資源に恵まれている。

### (2) 脊梁山脈で分けられ、峠を隔て広範囲に都市が分散する圏土構造

東北ブロックは、南北に連なる3列の脊梁山脈が地域を分断し、沖積層の地盤上に平野や盆地を点在させ、その地形的制約から低密度で拡散した人口分布の都市構造となっている。

### (3) 雪・地震・津波・火山等の自然の驚異との対峙

東北ブロックは、未曾有の巨大災害となった平成23年3月11日の東日本大震災をはじめ、平成20年岩手・宮城内陸地震や平成16年新潟県中越地震等、幾度となく地震や津波等の脅威にさらされてきた。また、平成27年9月の関東・東北豪雨、令和元年10月の東日本台風をはじめとし、毎年のように大規模な集中豪雨や台風による風水害・土砂災害、高潮災害が発生し、尊い命と貴重な財産が失われる被害が生じている。

さらに、圏土面積の約8割が豪雪地帯である東北ブロックでは、国県道における冬期通行不能区間が全延長の約8%と全国最長であり、降雪・積雪が日常生活や経済活動に影響を与えている。加えて、全国に111ある活火山のうち、20の活火山が東北ブロックに存在し、噴火が度々発生している。

### (4) 豊富な地域資源ポテンシャル

東北ブロックは、広大な圏土に農用地が広がり、森林は圏土面積の約7割を占め、第1次産業が盛んであり、我が国の安定的食料供給に大きく貢献している。また、森林の多様な生態系とともに豊富な水資源を有し、水力・風力・地熱資源等再生可能エネルギー資源の活用にも積極的で、特に最近では、太平洋・日本海の2面に接していることから洋上風力発電の取組が盛んである。

さらに、国立公園をはじめとする自然公園、世界ジオパーク、ラムサール条約湿地等、全国的また世界的にも貴重な自然環境が豊富に存在する。

### (5) 受け継がれる人の魅力、優れた人材やモノづくり技術、特徴ある伝統・文化・冬の魅力

東北ブロックでは、高規格道路や港湾等の交通基盤に近接した立地条件を活かした自動車関連産業、医療機器産業等の集積が進んでいる他、国内外から注目される研究成果を上げている大学・研究機関の立地があり、世界最先端の国際研究拠点の誘致活動も積極的に行われている。

また、東北ブロックには、青森ねぶた、盛岡さんさ踊り、仙台七夕、秋田竿灯、山形花笠、福島わらじ等の夏祭り、男鹿のナマハゲ、佐渡おけさ等、長い歴史や風土に培われた伝統・文

化が数多く残るほか、世界的にも珍しい樹氷や国内屈指のスキー場等の冬の魅力を満喫できるスノーリゾートも多数存在する。さらに、世界遺産に登録されている白神山地、岩手県の平泉と橋野鉄鉱山、令和3年7月に決議された北海道・北東北の縄文遺跡群等自然・歴史的文化遺産も多い。

## (6) 深刻化する人口減少・少子化・高齢化

東北ブロックでは、2000年以降人口減少局面にあり、高齢化率も全国平均を上回っており、若年層人口が進学や就職を契機として首都圏へ流出し、既に、中山間地域や沿岸部・離島地域等では、高齢者単身世帯の増加、集落消滅の懸念、地域の担い手不足等、深刻な問題が発生している。今後さらに、人口は全国より速い速度で減少、高齢化も急速に進行することが推計されている。

## 2. 東北ブロックの将来像

本計画が目指す東北ブロックの将来像は、東北圏広域地方計画(平成28年3月策定、計画期間平成28年度～令和7年度)が示す将来像を踏まえ、以下のとおりとする。

<p>震災復興から自立的発展へ ～防災先進圏域の実現と豊かな自然を活かし交流・産業拠点を目指す「東北につぼん」～</p> <p>(1) 震災からの復興とともに世界に発信する防災先進圏域の実現</p> <p>(2) 人と自然が共生し地球に優しく生命力あふれる空間の形成</p> <p>(3) 豊かな自然と地域資源を活かし持続的な成長を実現する東北につぼん自立経済圏の形成</p> <p>(4) 一人ひとりの自立意識と交流・協働で創る東北圏</p>
--

なお、計画策定以降の社会情勢の変化等も踏まえ、東日本大震災や令和元年東日本台風で得られた教訓を活かし、国土強靱化のモデルとなる防災先進圏域として、また、ポストコロナの新しい社会・生活の観点から、東北ブロックの強みを活かして、東京一極集中から多核連携型の国づくりを牽引し、今後発生が予想される首都直下型地震等の大規模災害に備えたバックアップ機能に加え、福島イノベーション・コースト構想などの先端技術拠点の形成で、日本・世界を先導、また、人口減少・高齢化が顕著な東北であるからこそ持続可能な地域社会の形成やデジタル化を駆使した担い手確保のモデルとして、さらには、風力発電の導入促進など活発な動きを捉え、再生可能エネルギー・新エネルギー一大拠点をめざすなど、様々な分野でのトップランナー「東北につぼん」を目指す。

## 3. 東北ブロックにおける社会情勢の変化

### (1) 自然災害の激甚化・頻発化、切迫

#### ① 豪雨・豪雪、火山噴火、地震・津波等自然災害の激甚化・頻発化

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、津波・地盤沈下・液状化・土砂災害に加え、東京電力福島第1原子力発電所事故も伴う未曾有の複合災害となり、今なお復興・再

生の途上にある。また、近年、気候変動の影響により大雨の発生頻度が増加している。気象災害は激甚化・頻発化しており、これまでの考え方や施策では対応できない平成 27 年 9 月関東・東北豪雨、令和元年東日本台風、令和 2 年 7 月豪雨等による大規模かつ甚大な土砂災害や洪水被害に毎年のように襲われている。加えて、東北ブロックは多くの豪雪地域を抱え、令和 2 年度の冬期においても、東北道のホワイトアウトによる多重事故及び高速道路の通行止め等が頻発している。また、活火山の噴火による様々な災害危機にもさらされており、人命や社会経済活動に係るリスクへの対応が一層強く求められている。

## ② 災害リスクの高いエリア内の住宅や企業等の都市機能の立地による被害拡大

住宅や都市及び産業関連施設などの都市機能が洪水や土砂災害等災害リスクの高いエリア等に立地、集積している箇所もあり、発災時の被害拡大とともに、防災・減災対策を施し難い状況となっている。

## ③ 防災・減災対策推進、災害リスクに備える体制・人員確保の困難さ

令和元年東日本台風による洪水被害発生時には、全国から延べ 4,415 人が対応にあたる等、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の派遣規模が増大している。東北ブロックでは、人口減少と高齢化により、地域の守り手である建設業界を含めて災害リスクに備える体制や人員の確保が難しくなっているほか、人口規模の小さな市町村の行政コスト増加による地域の防災力低下も指摘されている。

## (2) インフラ老朽化の加速

### ① 抱える老朽化インフラの増加とコストの増大

高度経済成長期以降、集中的に整備されたインフラの老朽化問題が深刻化しており、例えば、東北地方では、建設から 50 年以上経過する橋梁が 20 年後には全体の約 7 割となる等、今後、大規模修繕や更新が一時期に集中する可能性がある。

また、東日本大震災からの復興を支えるために集中的に整備が進められた社会資本についても、今後、大規模修繕や更新が一時期に集中する可能性がある。

### ② 自治体で深刻化するインフラメンテナンスを支える技術職員と財源の不足

今後の人口減少が顕著な東北ブロックでは、行政コスト増加による維持管理財源の不足、維持管理の担い手となる行政職員および建設就業者の不足により、適切な維持管理を継続できない事態が想定される。

### ③ 既に修繕が必要な施設への対応の途上

これまで、道路施設、河川管理施設等様々な分野で実施された点検により、早急に対策を実施する必要があるインフラが多数存在していることが判明しているものの、修繕が完了している施設は橋梁で 26%、トンネルは 34%、道路施設では 8% に止まっている。施設が機能不全や重大な事故の発生に陥ることを防ぐため、また、より少ない費用で施設の機能を維持・回復するための対応、必要性の減少や地域のニーズ等に応じたインフラの廃止・除却や機能転換等を行う「集約・再編」への転換が求められている。



### (3) 地域社会の変化

#### ① 進む東日本大震災からの復興、記憶と教訓の伝承へ

令和3年3月に閣議決定された「第2期復興・創生期間」以降における東日本大震災からの復興の基本方針に基づき、被災地の多様なニーズに対応した取組を進めている。道路・港湾等の基幹インフラの復旧・復興や、住まいの再建は順調に進んでおり、引き続き、着実に取組を進めている。また、被災地における地域公共交通の維持・確保や観光の振興等、ソフト面での支援にも取組んでいる。

また、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、地方公共団体との連携のもと、岩手県、宮城県に国営追悼・祈念施設を設置したほか、福島県で整備を進めている。このほか、沿岸部の追悼施設・震災遺構等の震災伝承施設を「3.11 伝承ロード」としてネットワーク化し、防災に対する知識や意識を向上させるとともに、地域や国境を越えた多くの人々との交流を促進させ、災害に強い社会の形成と地域の活性化を図り、日本、世界の防災意識の向上のための取組も行われている。

#### ② 顕著な人口減少・高齢化が拍車をかける地域や中心市街地、公共交通の衰退

東北ブロックの人口<sup>1</sup>は、令和2年(2020年)の1,084万人から、令和12年(2030年)には975万人、令和27年(2045年)には790万人まで減少すると予測されており、総人口に対する高齢者(65歳以上)人口の割合も、令和2年(2020年)の33%から、令和27年(2045年)には43%を超える等、人口減少と高齢化が著しく進行すると見込まれている。若年層人口が進学や就職を契機として首都圏へ流出し、既に、中山間地域や沿岸部・離島地域等では、高齢者単身世帯の増加、集落消滅の懸念、地域の担い手不足等の深刻な問題が発生している。また、商店街の空き店舗率<sup>2</sup>は全国平均を上回り、中心市街地の空洞化や路線バスの廃止が増加する等、都市や生活の基盤の衰退が加速化している。

高齢化が進行する中山間地域における生活の足の確保等のため、道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験の開始等、地域交通を支える運転技術の取組も行われている。

#### ③ 自然や地勢、景観、文化、スポーツ等による国内外交流の拡大

東北ブロックには美しい自然に加え、数多くの歴史や文化が存在する。

訪日外国人旅行者が「訪日前に最も期待していたこと」は、平成26年で、「日本食を食べること」と「ショッピング」を合わせて48.5%であったが、令和元年には38.9%に減少、「自然・景勝地観光、花見・紅葉等の四季の体感、美術館・博物館・動植物園・水族館、スキー・スノーボード」等が増加している。娯楽サービス費の購入率が平成23年に比べ令和元年には約2倍の42.0%に増え、旅行者の興味が多様化しており、地域のにぎわい創出のため、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりの取組も行われている。

こうした中、新たなインバウンド層に訴求力の高い体験型観光として、自然・文化といった観光資源を活用したアドベンチャーツーリズムが推進されており、自転車やトレッキングなどを活用した観光地域づくり(サイクルツーリズム等)の取組が進められている。

<sup>1</sup> 日本の地域別将来推計人口平成30年推計(国立社会保障・人口問題研究所)

<sup>2</sup> 平成30年度商店街実態調査(中小企業庁)

ラグビーワールドカップ 2019™の岩手県釜石市「釜石鶴住居復興スタジアム」で開催された試合では、参加チームや国内外から訪れた観客に対する地域のおもてなしが国内外で高く評価された。現在は、新型コロナウイルス感染症拡大によって訪日外国人旅行客が見込めない状況が続く中、国内観光を中心とした旅行需要の回復が求められており、既存観光拠点の再生、高付加価値化とともに、国立公園・温泉地等での滞在型ツアーやワーケーションを支援する基盤整備等の新たな対応が必要になっている。

#### (4) グローバル化の進展

##### ① グローバリゼーション進展やアジア諸国経済成長等を背景とした競争の激化

グローバル化の進展やアジア諸国の経済成長を背景に、我が国の北東・東南アジア域内、その他地域との貿易額の伸びは平成 30 年時点で特に大きくなっている。令和元年の東北地域の輸出額は 6,770 億円、輸入額は 1 兆 8,034 億円で、東日本大震災前の水準を超えた回復を見せているものの、全国に占める割合は、輸出が 0.9%、輸入が 2.3%に止まっており、東北地域と北東・東南アジア域内等との貿易拡大が地域経済ならびに我が国経済発展の鍵となっている。

一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界経済危機にあり、世界は国際協調をベースとしつつ、グローバリゼーションのアップグレード、サプライチェーン強靱化、人の交流のあり方の進化に向かい、危機に柔軟に対応でき、持続可能な経済発展を可能とする強靱な経済社会システムへの進化が求められている。

##### ② 格子状骨格道路ネットワークの進展に伴い一部で活発化する経済活動

東北ブロックが目指す格子状骨格道路ネットワークは、東日本大震災からの復興に向けた復興道路、復興支援道路を中心に整備が進んだ。

これにより、山形県米沢市では、東北中央自動車道の開通により工場進出、三陸沿岸地域各地で物流業者の拠点進出、釜石港では港湾整備と相まって取扱貨物量が増加する等高規格道路による経済活動支援効果が顕在化している。

##### ③ 一部で進む新たな産業の集積や拠点化構想

東北圏内においては、大学・研究所等の高度で多様な知的基盤が形成され、鶴岡メタボロームクラスター等のバイオ研究開発拠点ならびにふくしま医療機器開発支援センター等の医療機器産業拠点等の先端産業拠点整備が進展している。

東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトとして、福島イノベーション・コースト構想が進行している。その中核施設として、陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点でインフラや災害現場等実際の使用環境を再現し、ロボットの性能評価や操縦訓練等ができる世界に類を見ない施設である「福島ロボットテストフィールド」が令和 2 年 9 月に開所した。福島イノベーション・コースト構想を更に発展させて、福島の創造的復興に不可欠な研究及び人材育成、産業競争力強化や世界にも共通する課題解決に貢献する観点から、「創造的復興の中核拠点」として国際教育研究拠点を新設する。

平成 30 年 7 月に「次世代放射光施設」が東北大学青葉山新キャンパス内に設置されることが決定し、仙台市では、研究開発施設や企業の立地・集積促進、地場企業等の利活用

促進に向けた普及啓発に取組み、地域経済への波及効果を最大限に生み出す「光イノベーション都市」の実現を目指している。

国際リニアコライダー(ILC : International Linear Collider)については、北上山地(北上サイト/岩手県・宮城県)を建設候補地として世界の研究者により検討が進められている。ILC は世界最先端の加速器であり、加速器原理の範囲における科学技術分野の高度化に寄与するだけでなく、「利用者(ユーザー)産業と「供給者(サプライヤー)産業の双方において、技術・産業イノベーションをもたらすと期待され、ILC における加速器原理の技術革新によって、素材産業、自動車産業、電気電子産業等の東北における「利用(ユーザー)産業、あるいは重電産業、機械産業、建設土木業等の「供給(サプライヤー)産業」において技術・産業イノベーションが進展し、これらの加速器関連産業の規模拡大による、地域経済の発展、これらを基盤とした地域づくりが見込まれている。

## (5) デジタル革命の加速

### ① スマートシティ、MaaS、自動運転等の社会実装への取組が進展

近年、交通事業者をはじめとした民間企業を中心に、「MaaS(マース)」(Mobility as a Service)の取組が進められている。東北ブロックでは、福島県会津地域における「会津 Samurai MaaS プロジェクト」が日本版 MaaS 推進・支援事業として令和 2 年 7 月にモデルプロジェクトに選定された。

情報通信技術(ICT)や AI 等の情報処理技術の進展に伴い、交通や人流等の都市に関する様々なデータを活用し、都市の課題を解決していくスマートシティへの注目が高まっている。また、今後 5G が普及することにより、都市におけるデータの収集・分析は加速し、急速にスマートシティが整備されていくと考えられる。クラウドでのデータの管理やセンサーの整備等に関するスマートシティプラットフォームの市場は、2018 年(平成 30 年)から 2025 年の間に 5,000 億円拡大すると予測されている。東北ブロックでは、スマートシティプロジェクトの「先行モデルプロジェクト」に秋田県仙北市が、「重点事業化促進プロジェクト」に宮城県仙台市泉パークタウン及び福島県南相馬市が選定されたほか、複数の取組が進行している。

モビリティ分野においては、道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験の開始等、地域交通を支える運転技術の取組も行われている。

また、新たな動きとして注目されている「空飛ぶクルマ」は、電動・自動(操縦)・垂直離着陸を 1 つのイメージに、世界各国で開発が進んでおり、我が国においても飛行エリアや制度整備の課題はあるが、都市部での送迎サービス、離島や山間部の新たな移動手段等につながるものと期待されている。今後「空飛ぶクルマ」は、全世界的に普及していくことが予測されており、2040 年(令和 22 年)までに、その市場規模は約 160 兆円規模になると考えられている。東北ブロックでは、福島イノベーション・コースト構想の中核施設として、陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点でインフラや災害現場等実際の使用環境を再現し、ロボットの性能評価や操縦訓練等ができる世界に類を見ない施設である「福島ロボットテストフィールド」が令和 2 年 9 月に開所し、「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けた取組が進められており、日本、世界の牽引を目指している。

### ② 進むICTによる生産性向上や新たな仕組みづくり

社会資本整備分野においても ICT 施工や建設生産プロセスにおける3次元データ活用

等の i-Construction が進められている。東北ブロックでは、将来の人手不足への対応や担い手確保に向け 2018 年(平成 30 年)の直轄工事の ICT 活用工事实施件数は前年の 13 倍の 39 件と急増、3次元データを活用した設計による業務・工事件数は全体の約 6 割になっている。また、インフラ老朽化の進展や災害対策も意識し、維持管理における UAV の活用や AI による診断、インターネットを介してクラウド上に維持管理データや現場写真等を一元的に管理し関係者間で共有する等、作業の効率化、省力化を図り、生産性を高める取組も進められている。

秋田県の成瀬ダム建設工事では、20 数台もの重機が自動運転で同時に稼働する等、先駆的な取組も行われているなど、東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」が進められている。

### ③ データ通信量・処理能力が急速に拡大

我々を取り巻く情報通信環境は約 20 年間で大きく進展してきた。2001 年(平成 13 年)に(株)NTT ドコモが世界に先駆けてサービスを開始した 3G は、それまでの通信よりも 10 倍近い速さでの通信が可能となり、モバイル端末での画像等のやりとりが容易になった。その後 2006 年には、3G よりも 40 倍近い速さで通信が可能な 3.5G が導入され、動画等の容量の大きいファイルのやりとりもできるようになった。2015 年に導入された 4G では従来をはるかに上回る高速通信が可能となり、約 2 時間の映画を 30 秒でダウンロードすることが可能となった。2020 年に導入された 5G では、30 年前の約 10 万倍もの速さの高速通信が可能となり、こうした技術を利用して VR/AR といった新たなサービスが発展していくことへの期待が高まっている。

## (6) グリーン社会の実現に向けた動き、ライフスタイルや価値観の多様化

### ① 女性の就業率の増加、ワークライフバランスの普及等働き方の多様化

我が国の就業者数は、2001 年(平成 13 年)の 6,412 万人から 2012 年には 6,280 万人まで減少したものの、近年は増加傾向にあり、2019 年には 6,724 万人となっている。15～64 歳人口(生産年齢人口)が減少する中、近年の就業者数が増加しているのは、女性や高齢者(65 歳以上)の就業率の上昇等に起因している。2012 年からの変化を見ると、15～64 歳男性の就業率は 3.9%の上昇にとどまり就業者数が 56 万人減少している一方、15～64 歳女性の就業率は 10.2%上昇の 70.9%、就業者数は 204 万人の増加となっている。また、高齢者は、2012 年から 5.4%上昇し 24.9%の就業率となり、就業者数は 296 万人増加している。東北ブロックでは、2014 年に比較して、2019 年の 25～44 歳の就業率は 75.5%から 81.1%に上昇し、65 歳以上の就業率は 20.1%から 26.0%に上昇している。

ワークライフバランスの普及に伴い、生活における仕事の時間が減少し、趣味やくつろぎの時間が増加している。東北ブロックでは、2006 年に比較して、2016 年には各県とも趣味やくつろぎの時間が 1 週間あたり単純平均で 17 時間増加し、仕事の時間は 10 時間減少している。

また、山形県高島町の廃校になった小学校を活用したサテライトオフィスを使った総務省の「ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業」の取組等、新しい働き方や地方移住を促進する対応が東北ブロック各地で見られる。

## ② 再生可能エネルギー発電等環境負荷低減への積極的な取組

気候変動の社会経済活動への影響が生じている中、平成 27(2015)年のパリ協定をはじめ、温室効果ガスの排出削減に向けた国際的な機運が急速に拡大。我が国においても、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指し、積極的に温暖化対策を行うことが、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな経済成長につながるという発想の転換により、経済と環境の好循環をつくり出していくことが求められている。国土交通省においても、2050年カーボンニュートラルや気候危機への対応など、グリーン社会の実現に貢献するため、令和 3 年 7 月に「国土交通グリーンチャレンジ」を取りまとめており、今後、地域の実情や課題等も踏まえつつ実行することとしている。

東北ブロックでは、再生可能エネルギー発電設備による認定量において、風力及び地熱の国内シェアが高い。また、秋田県、青森県の沿岸部では洋上風力発電導入に向けた取組が進行している。

また、山形県酒田市には東北最大級となる酒田バイオマス発電所が平成 30 年 8 月に完成し、商業運転を開始しているほか、平成 29 年から福島県浪江町で建設を進めてきた、再生可能エネルギーを利用した世界最大級となる 10MW の水素製造装置を備えた水素製造施設「福島水素エネルギー研究フィールド(Fukushima Hydrogen Energy Research Field (FH2R))」が令和元年 2 月末に完成し、稼働を開始している。

## ③ 豊かさや物事、時間、環境や自然に対する価値観や行動が変化

国民生活に関する世論調査(内閣府)の結果、「豊かさ」に対する国民の意識は、1979 年を境に「モノの豊かさ」を重視する傾向から、「心の豊かさ」を重視する傾向に変わり、2019 年では「モノの豊かさ」を重視する人の割合が 29.6%、「心の豊かさ」を重視する人の割合が 62.0%と 2 倍以上の差となっている。経済のサービス化が進む中で、家計に占めるサービスへの支出割合は上昇傾向にあり、モノやサービスを購入する「モノ消費」より、購入したモノやサービスを使ってどのような経験・体験をするかという「コト消費」への意識が高まっている。

環境問題に関する世論調査(内閣府)の結果、自然に対し関心がある人の割合は、2019 年で 90.6%と 1991 年の 84.5%から増加している。

## (7) 新型コロナウイルス感染症の拡大

令和元(2019)年 12 月に中国湖北省武漢市で感染者が確認された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は世界規模に拡大するとともに、その脅威は継続している。社会経済情勢の変化の傾向が強くなったものとして、非接触が求められる中のデジタル化・スマート化の必要性、地方移住への関心の高まりや企業の地方移転、二地域居住など新しい暮らし方、テレワークやクラウドソーシング等の柔軟な働き方の広がり、サプライチェーンの多元化や製造事業者の国内生産拠点の整備などが挙げられる。デジタル化・スマート化や柔軟な暮らし方・働き方など、以前よりその必要性を指摘されていたものについては、新型コロナウイルス感染症による変化を契機として、関連する取組を強力に推進していく必要がある。具体的には、i-Construction やスマートシティの社会実装等の社会資本整備のデジタル化・スマート化、「コンパクト・プラス・ネットワーク」等の多核連携型の国土づくり、バリアフリーやグリーンインフラ等の豊かで暮らしやすい地域づくりを進める。加えて、新型コロナウイルス感染症により、例えば、グローバルサプライチェーンについて、世界各地で寸断が生じ、物資の供給途

絶や人材の移動の停滞等といった様々なリスクが顕在化したことを踏まえ、東北ブロック全体においても、このようなリスクに強い社会経済構造を構築し、ポストコロナ時代における持続的な経済成長を実現する必要がある、(一社)東北経済連合会においては、令和 2 年 10 月に地方分散のトップランナーとなるための旗印として、「デュアルライフ東北」の実現を掲げた「ポストコロナ・5つの提言」を策定している。

## 第2章 今後の東北ブロックの社会資本整備の方向性

### 1. 社会資本整備の中長期的な目的と計画期間内の社会資本整備の目標

#### (1) 社会資本整備の中長期的な目的

東北ブロック版重点計画は、重点計画の第4章「計画の実効性を確保する方策」の第1節において、「新たに設定される重点目標を達成するため、全国レベルの本重点計画に基づき、各地方の特性、将来像や整備水準に応じて重点的、効率的、効果的に整備するための計画として、地方ブロックにおける社会資本整備重点計画を策定する。」を受け策定するものである。

重点計画第2章を踏まえ、東北ブロックにおいても、社会資本整備の中長期的な方向性を、国民目線に立った『真の豊かさ』を実感できる社会を構築することと位置付けるものとする。

また、概ね10年から20年先を見据えた社会資本整備の中長期的な目的としては、こうした「真の豊かさ」を実感できる社会を構築するため、「安全・安心の確保」、「持続可能な地域社会の形成」、「経済成長」の達成に向け、選択と集中の徹底を図りつつ、重点的に整備を行っていくこととする。

#### (2) 計画期間内の社会資本整備の目標

前述同様に重点計画第2章と整合を図り、前述の「真の豊かさ」を実感できる社会を構築するための「安全・安心の確保」、「持続可能な地域社会の形成」、「経済成長」の達成に向け、東北ブロックにおいても、重点計画を踏まえ、本計画期間内(5年間)で達成すべき6つの重点目標を以下のとおり設定する。

1. 防災・減災が主流となる社会の実現
2. 持続可能なインフラメンテナンス
3. 持続可能で暮らしやすい地域社会の実現
4. 経済の好循環を支える基盤整備
5. インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)
6. インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上

なお、重点目標2(インフラメンテナンス)、5(デジタル・トランスフォーメーション(DX))、6(脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用)については、重点目標1(防災・減災)、3(持続可能なインフラメンテナンス)、4(経済の好循環)にも密接に関連し、全ての社会資本整備において留意すべき事項となっている。

こうした認識のもと、さらに第3章において、これらの重点目標の達成に向け、第1章で示した東北ブロックの将来像・地域特性、整備水準等を踏まえた小目標を設定する。

### 2. 計画期間内の社会資本整備の目標を達成するための取組の方向性

計画期間内(5年間)の6つの重点目標を達成するとともに、3つの中長期的目的の達成に繋げていくためには、厳しい財政制約や人口減少、技術革新、ライフスタイルや価値観の多様化という社会情勢の変化の中、このストック効果を最大化していく必要がある。

重点計画では、同計画第2章3において、ストック効果の最大化の取組の方向性として、(1)

「3つの総力(主体の総力・手段の総力・時間軸の総力)」を挙げて社会資本整備を深化させるとともに、(2)インフラを国民が持つ「資産」として捉え、インフラを「経営」という発想に立ち、整備・維持管理・利活用の各段階において、工夫を凝らした取組を実施し、インフラの潜在力を引き出すとともに、新たな価値を創造する、という新たな取組を行うことを示している。東北ブロックの目標の達成においても、こうした方向性を踏まえて、取組を行っていくものとし、第3章の重点目標の小目標ごとに、こうした取組を示していく。

### 3. 持続可能で質の高い社会資本整備を下支えするための取組

重点計画第2章4で示されているように、インフラのストック効果最大化に向けた取組を進める一方、こうした持続可能な社会資本整備の大前提として、「安定的・持続的な公共投資の確保」、「建設産業の生産性向上や担い手の確保・育成」が不可欠である。

社会資本の整備には一定の期間を要するとともに、長期にわたってその機能を効果的に発揮する必要があることから、戦略的・計画的に社会資本整備を実施していくことが重要であるが、こうした戦略的・計画的な社会資本整備の着実な実施の観点に加え、社会資本整備の担い手となる建設産業の人材の確保・育成の観点から、安定的・持続的な公共投資の見通しが必要であり、中長期的目的を達成するためには、中長期的な見通しの下、安定的・持続的な公共投資を確保することが求められる。こうした観点から、本計画においては、公共投資の見通しとして、重点目標の達成の寄与する社会資本整備のうち、東北ブロックの目標の達成に資する主要事業において、残事業費を記載することとする。

あわせて、社会資本整備を支える建設業の担い手の確保及び育成、生産性の向上のため、重点計画第2章4で示された「担い手の確保・育成」、「建設産業の生産性向上」、「建設キャリアアップシステムの普及促進」、「公共工事の品質確保と担い手確保に向けた発注者による取組の推進」等に取り組んでいく。



### 第3章 東北ブロックにおける社会資本整備の重点目標

前章において、東北ブロックの社会資本整備の方向性を踏まえ、計画期間内の社会資本整備の重点目標を設定した。本章では、令和7年度までを計画期間とし、6つの重点目標と、その達成のための16の小目標を設定し、重点的に取り組むべき具体的な施策・事業を明らかにする。

なお、主要取組は、小目標の達成のために代表性が高いと考えられる取組を中心に記載しており、完成年度については、毎年度の予算や進捗等の事情により、変更となる場合があるとともに、残事業費については、公表時点のものを記載している。

また、令和3年度から7年度までの5年間に追加的に必要となる事業規模等を定め、重点的かつ集中的に講ずる対策として閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に位置付けられた取組については、同対策に沿って中長期の目標を定め実施し、防災・減災、国土強靱化の更なる加速化・深化を図っていく。

#### 重点目標1：防災・減災が主流となる社会の実現(防災先進圏域を目指して)

##### 目指すべき姿

東日本大震災からの復興、東北の復興なくして日本の再生なし、の言葉通り、国、県、市町村が一体となって英知を結集し、「新しい東北<sup>3</sup>」の発展モデルを作り、単に震災前の状態に戻すのではなく、「創造的復興<sup>4</sup>」を成し遂げ、日本の将来の地平を切り開いていく。

激甚化・頻発化する、または切迫する風水害・土砂災害・地震・津波・噴火・豪雪等の自然災害に対し、強靱な対策がなされ、国民が安心して生活を送ることができる社会をつくる。

被災圏域として、東日本大震災や令和元年東日本台風の事実を踏まえた教訓や復興の姿を伝承し、国土強靱化のモデルとなる防災先進圏域として、日本を牽引していく。

##### 現状と課題

東日本大震災の発災から10年を経て、地震・津波被災地域では、住まいの再建・復興まちづくりは概ね完了し、産業・生業の再生も進展を見せている。原子力災害被災地域では、帰還困難区域を除く全ての地域で避難指示が解除され、帰還困難区域の一部でも避難指示が先行解除される等、産業・生業の再生、新たな産業基盤の構築に向けた取組、環境再生に向けた取組が本格化しつつある。令和3年から令和8年までの5年間の第2期復興・創生期間を通じ、国、被災自治体が残された事業を完成させ、その他、きめ細かく的確な支援を行うことで真の復興を実現する必要がある。

また、東日本大震災からの復興、これら挑戦の軌跡は、東北の強さになるだけでなく、日本国内はもとより世界で活かされるものであり、東北ブロックは、防災先進圏域として、その手法、体制、教訓の伝承等をもって国内外の防災・減災を牽引するため、防災事業のみならず、その伝承を支える社会資本整備の推進と関係機関が連携した取組が非常に重要である。

気候変動に伴った豪雨の激甚化・頻発化により、これまでの考え方や施策では対応で

<sup>3</sup> 各地域において、各々の課題を解決し、自律的で持続的な地域社会を目指す取組：復興庁

<sup>4</sup> 単なる復旧ではなく、未来に向けた志向の創造的な取組：東日本大震災復興会議

きない大規模かつ甚大な土砂災害や洪水被害が毎年のように発生している。加えて、東北ブロックには多くの豪雪地域、活火山があり、人命や社会経済活動に係るリスクを最小化する対応が一層強く求められている。このため、これまでの教訓を活かし、あらゆる関係者の協働による流域治水など圏域全体で防災・減災対策に取り組む必要がある。

平成 30 年北海道胆振東部地震における北海道全域の電力供給停止時や、令和元年東日本台風で東北地域に甚大な被害が発生した際、仙台塩釜港、青森港、小名浜港等と函館港等の各地の港湾間で緊急支援物資や車両等を輸送する等、港湾の連携による災害対応機能が発揮された。今後も自然災害の発生が予想されるが、東北ブロックでは、人口減少と高齢化により、災害リスクに備える体制や人員の確保が難しくなっているほか、高齢者の単身世帯増加とともに、人口規模の小さな市町村の行政コスト増加による地域の防災力低下も指摘されている。このことから、巨大地震等、大規模災害の発生に備えた日本海側と太平洋側との連携強化等による交通ネットワークに係る多重性・代替性の確保はもとより、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)等の人や物資等の広域連携体制の構築が必要である。

## 小目標1-1:東日本大震災被災地の復興・再生を実現する様々な活動や暮らしの支援 (重点施策の概要)

- 残る基幹インフラ事業の早期完了に向けて、着実に事業を推進する。
- 復興道路・復興支援道路等の整備、スマートインターチェンジ整備、「3.11 伝承ロード」形成、かわまちづくり、復興まちづくり活動の支援等により被災地の復興・再生を実現する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[1]復興道路・復興支援道路の整備率

【R3年4月末 519km/550km 94%→R3年度 550km/550km 100%】

[2]国営追悼・祈念施設の整備率

【R2年度 2施設/3施設 67% → R7年度 3施設/3施設 100%】

[3]福島復興再生拠点の整備率(一団地の復興再生拠点市街地形成施設)

【R2年度 1地区/4地区 25% → R7年度 3地区/4地区 75%】

### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①: ~R5年度、②: ~R7年度、③: ~R12年度頃、④: 完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印: 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる  
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■「3.11 伝承ロード」の形成と普及活動

【震災伝承のあり方を議論する震災対策連絡会議(仮)を創設 (R3年度予定)①】

【震災伝承ネットワーク協議会の取組方針に基づき、産学官民の連携により、震災伝承施設をネットワーク化しつつ、被災地の交流促進や地域創生、防災力の強化を図る (R3年度推進中)④】

【ウェブ地図を通じて、復興に向かう国土の姿や、自然災害伝承碑をより伝わりやすい形で発信する (R3年度予定)①】

##### ■復興地域づくり活動の支援

【復興道路及び復興支援道路を活用した広域的な連携交流の支援を目的として、様々な主体が取組む「道・絆プロジェクト」を推進 (R3年度推進中)④】

##### ■水辺空間の形成と積極的な利活用の支援

【旧北上川、名取川では、堤防工事に併せて国・自治体・住民等が連携し、水辺を活用した賑わいの場(かわまちづくり)を創出 (R3年度推進中)④】

##### ■ロボットテストフィールドの支援

【航空局の職員派遣など、官民連携でドローンや空飛ぶクルマの実現を支援 (R3年度推進中)④】

##### ■災害公営住宅等の整備を支援

【原発避難者向け、帰還者向け災害公営住宅等の整備を支援 (R3年度推進中)④】

##### ■福島の復興・再生の拠点となる市街地の整備

【福島の復興・再生の拠点となる市街地の整備について、引き続き事業を着実に推進 (R3年度推進中)④】

##### ■現場の担い手確保を推進

【東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」の推進 (R3年度推進中)④】

##### ■道の駅の拠点形成

【道の駅を拠点とした地域拠点の形成の推進 (R3年度推進中)④】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■海岸の復旧・復興事業と連携したソフト対策

【海岸の復旧・復興事業の進捗と津波防災地域づくり法に基づくソフト対策等を実施 (R3年度推進中)④】

##### ■道路の高架区間等を活用した避難対策の推進

【直轄国道等の高架区間等を活用した避難施設(避難階段等)の整備及び訓練の実施★ (R3年度推進中)④】

##### ■港湾施設の機能強化と利便性向上

【物流拠点の形成等に必要港湾施設の整備による機能強化と利便性向上 (R3年度推進中)④】

#### 【インフラの利活用】

##### ■国営追悼・祈念施設の活用

【国営追悼・祈念施設をゲートウェイとして、各地の震災伝承施設と広域的なネットワークを形成し、防災力向上と地域活性化を推進(岩手県・宮城県) (R3年度推進中)②】

#### 【選択と集中の徹底】

## ■復興道路・復興支援道路の整備

三陸沿岸道路一般国道 45 号田野畑南～尾肝要

【(岩手県田野畑村)

(R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】

三陸沿岸道路一般国道 45 号普代～久慈

【(岩手県普代村・野田村、久慈市)

(R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】

## ■交通ネットワークの連結機能の強化

三陸沿岸道路一般国道 45 号侍浜～階上[残事業費 30 億円(R2 年度評価時点)]

【(青森県階上町)

(R3 年度工事中)④】

【(岩手県久慈市、洋野町)

(R3 年度工事中)④】

三陸沿岸道路一般国道 45 号歌津～本吉[残事業費 20 億円(R2 年度評価時点)]

【(宮城県南三陸町、気仙沼市)

(R3 年度工事中)④】

(一)花巻和賀線 花巻 PA スマート IC★

【(岩手県花巻市)

(R3 年度用地取得中)④】

(市)山の神諏訪線 花巻PAスマート IC 整備事業★

【(岩手県花巻市)

(R3 年度工事中)④】

(主)築館登米線(仮称)栗原 IC

【(宮城県栗原市)

(R3 年度工事中)④】

(主)仙台村田線(仮称)菅生スマート IC★

【(宮城県村田町)

(R3 年度工事中)④】

(市)(仮称)白石中央スマートインター線(仮称)白石中央スマート IC

【(宮城県白石市)

(R3 年度測量設計中)④】

(市)(仮称)白石中央工業団地線(仮称)白石中央スマート IC

【(宮城県白石市)

(R3 年度測量設計中)④】

東北自動車道平泉スマート IC の整備

【(岩手県平泉町)

(R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】

東北自動車道(仮称)花巻 PA スマート IC の整備

【(岩手県花巻市)

(R3 年度工事中)④】

東北自動車道(仮称)菅生スマート IC の整備

【(宮城県村田町)

(R3 年度工事中)④】

東北自動車道(仮称)白石中央スマート IC の整備

【(宮城県白石市)

(R3 年度測量設計中)④】

常磐自動車道(仮称)小高スマート IC の整備

【(福島県南相馬市)

(R3 年度用地取得中)④】

## ■復興まちづくりを支援する道路整備等

宮古盛岡横断道路一般国道 106 号田鎖墓目道路[残事業費 300 億円(R 元年度評価時点)]★

【(岩手県宮古市)

(R3 年度測量設計中)④】

宮古盛岡横断道路一般国道 106 号箱石達首部道路[残事業費 470 億円(R2 年度評価時点)]

【(岩手県宮古市)

(R3 年度測量設計中)④】

一般国道 108 号石巻河南道路[残事業費 210 億円(R2 年度評価時点)]

【(宮城県石巻市、東松島市)

(R3 年度測量設計中)④】

仙台北部道路利府しらかし台～富谷 JCT(4車線化事業)★

【(宮城県利府町、富谷町)

(R3 年度測量設計中)④】

常磐自動車道相馬～新地(4車線化事業)★

【(福島県相馬市、新地町)

((R3 年度測量設計中)④】

常磐自動車道浪江～南相馬(一部4車線化)

【(福島県浪江町)

((R3 年度測量設計中)④】

磐越自動車道会津坂下～津川(一部4車線化)

【(福島県会津坂下町、西会津町)

(R3 年度測量設計中)④】

【(新潟県阿賀町)

(R3 年度測量設計中)④】

磐越自動車道会津坂下～西会津(4車線化事業)★

【(福島県会津坂下町、西会津町)

(R3 年度測量設計中)④】

一般国道 288 号 船引バイパス

【(福島県田村市)

(R3 年度工事中)④】

(主)いわき上三坂小野線 小名浜道路

【(福島県いわき市)

(R3 年度工事中)④】

## ■復興まちづくりの推進

国営追悼・祈念施設整備事業

【(福島県浪江町)

(R3 年度工事中)(R7 年度完成)②】

国営追悼・祈念運営維持管理事業

【(岩手県陸前高田市)

継続直轄事業④】

国営追悼・祈念運営維持管理事業 【(宮城県石巻市)】	継続直轄事業④
高田松原津波復興祈念公園整備事業 【(岩手県陸前高田市)】	(R3 年度工事中)(R3 年度完成)①
福島県復興祈念公園整備事業 【(福島県双葉町、浪江町)】	(R3 年度工事中)(R7 年度完成)②
中野地区福島復興再生拠点整備事業 【(福島県双葉町)】	(R3 年度工事中)(R3 年度完成)①
下野上地区福島復興再生拠点整備事業 【(福島県大熊町)】	(R3 年度工事中)(R6 年度完成)②
双葉駅西側地区福島復興再生拠点整備事業 【(福島県双葉町)】	(R3 年度工事中)(R8 年度完成)③
事業間連携下水道事業(郡山地区) 【(福島県郡山市)】	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)①
大規模雨水処理施設整備事業(泉町滝尻地区) 【(福島県いわき市)】	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)①
大規模雨水処理施設整備事業(館取町地区) 【(福島県須賀川市)】	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)①
大規模雨水処理施設整備事業(相馬北町地区) 【(福島県相馬市)】	(R3 年度工事中)(R6 年度完成)②
大規模雨水処理施設整備事業(丸森地区)★ 【(宮城県丸森町)】	(R3 年度工事中)(R7 年度までに完成)②

重点施策	指標
<b>■復興まちづくりを支援する社会資本の整備</b> ・復興道路・復興支援道路の整備	[KPI-1] ・復興道路・復興支援道路の整備率 R3 年 4 月末 519km/550km 94% → R3 年度 550km/550km 100%
<b>■震災伝承による防災力向上と地域の活性化</b> ・国営追悼・祈念施設の整備	[KPI-2] ・国営追悼・祈念施設の整備率 R2 年度 2 施設/3 施設 67% → R7 年度 3 施設/3 施設 100%
<b>■復興まちづくり活動を支え続ける各種支援</b> ・福島復興再生拠点整備の推進	[KPI-3] ・福島復興再生拠点の整備率(一団地の復興再生拠点市街地形成施設) R2 年度 1 地区/4 地区 25% → R7 年度 3 地区/4 地区 75%
<b>期待されるストック効果</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>三陸沿岸地域では、復興道路・復興支援道路のこれまでの開通や開通を見越した動きとして、大手運送企業の営業所など輸送拠点の立地が主要 4 拠点で促進され、販路拡大や輸送効率化が期待される。</li> <li>宮古盛岡横断道路の整備は、一般国道 106 号の落石や土砂流出などの危険箇所を回避し、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを確保するとともに、三次救急医療施設へのアクセス向上により、救急搬送などの救急医療活動を支援する。</li> <li>相馬港の復旧・復興により、LNG 基地や鋼材加工メーカー、バイオマス発電所が立地するなど、大きな投資や新たな雇用創出効果が見込まれる。 さらに、常磐自動車道の 4 車線化や相馬福島道路の整備により、物流拠点としてのポテンシャルが高まり、相馬港背後は企業の立地環境としての魅力が向上する。</li> <li>仙台塩釜港のコンテナ取扱貨物量は被災前の水準を超え、令和元年は過去最高を更新した。岸壁の延伸、ふ頭用地の拡張等の機能強化により、東北地域の産業の復興を支える海上輸送ネットワークの充実が図られる。</li> </ul>	
<b>「インフラ経営」の取組</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>旧北上川では、石巻市の復興まちづくり計画と連携しながら、河川堤防等の整備を実施し、あわせて市民が憩い、賑わいのある水辺空間を創出している。</li> <li>東日本の被災地には、被災の実情や教訓を学ぶための遺構や展示施設が数多くあり、防災や減災、津波などに関する「学び」や「備え」に関する様々な取組や事業を行っている。(産学官連携による 3.11 伝承ロード)</li> </ul>	

小目標1-2: 東日本大震災や令和元年東日本台風等の教訓を活かした圏域全体の防災・減災対策の推進(①気候変動の影響等を踏まえた流域治水②地震・津波対策、③冬期も含めた交通機能確保)

(重点施策の概要)

### ① 気候変動の影響等を踏まえた流域治水

- 国民の安全・安心を確保するため、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」を推進し、気候変動等による将来の自然災害リスクに適応したハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策を進める。(あらゆる関係者の協働による治水対策の全体像をとりまとめた流域治水プロジェクトとして、東北地方においては約2兆9,900億円規模(R2年度公表時点)の事前防災対策を予定)

※隣接する地方ブロックに跨る流域治水プロジェクトについては、プロジェクト全体の事業内容について記載している。

- 関係省庁・官民が連携して、利水ダムを含む既存ダムの洪水調節機能の強化や、水田の貯留機能の活用等を進める。
- 災害ハザードエリアにおける開発抑制、同エリアからの移転促進、まちなかの防災対策・安全確保策の強化などにより、防災・減災のためのすまい方や土地利用を進めるとともに、将来の土地利用の変化を見据えながら、より効果的なハード及び迅速な避難行動に結びつけるため、マイ・タイムライン作成支援などソフト対策を図る。
- 災害時における救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、道路構造物の流失防止対策を進める。

### ② 地震・津波対策

- 切迫する地震・津波等による被害の軽減を図るため、引き続き住宅、建築物、公共土木施設等の耐震化を進めるとともに、安全・安心なまちづくりの推進、都市公園等の整備、港湾、空港の強靱化を進める。

### ③ 冬期も含めた交通機能確保

- 風水害・土砂災害・地震・津波・噴火・豪雪・原子力災害等が発生した直後から、救命・救助活動等が迅速に行われ、社会経済活動が機能不全に陥ることなく、また、制御不能な二次災害を発生させないことなどを目指し、高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化による多重性の確保や、防災拠点へのアクセス向上を図り、災害に強い高規格道路ネットワークの構築を進めるとともに、災害時の道路閉塞を防ぐ無電柱化等の推進や、海上交通ネットワーク機能を維持するための港湾の高潮・高波対策、地下鉄駅等の浸水防止対策等を進める。
- 近年の短期間の集中的な大雪や繰り返し発生する大規模な車両滞留を踏まえ、大雪時の道路交通確保に向けた取組を強化する。

## 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

### ① 流域治水等

[4]1 級水系及び2 級水系において、流域治水プロジェクトを策定している水系数

【R元年度 0 → R7年度 47】

[5]1 級、2 級河川における戦後最大洪水等に対応した河川の整備率

【1 級河川:R元年度約59% → R7年度 約71%】

【2 級河川:R元年度約55% → R7年度 約67%】

[6]事前放流の実施体制が整った水系の割合

【R2年度 0% → R3年度 100%】

## ② 地震・津波対策

### [7]公共土木施設等の耐震化率等

・大規模地震が想定されている地域等において対策が必要な①河川堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)及び②水門・樋門等の耐震化率

①河川堤防【R元年度 88% → R7年度 100%】

②水門・樋門等【R元年度 74% → R7年度 100%】

・災害時における主要な管渠及び下水処理場及びポンプ場の機能確保率

①管渠【R元年度 54% → R7年度 61%】

②処理場【R元年度 54% → R7年度 59%】

③ポンプ場【R元年度 36% → R7年度 42%】

・官庁施設の耐震基準を満足する割合

【R元年度 91% → R7年度 100%】

## 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

### ① 気候変動の影響等を踏まえた流域治水

#### 【各主体が連携した取組】

#### ■あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進

【阿武隈川水系流域治水プロジェクト(宮城県内、福島県内)[R2年度以降の残事業費約3,180億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【名取川水系流域治水プロジェクト(宮城県内)[R2年度以降の残事業費約380億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【鳴瀬川水系流域治水プロジェクト(宮城県内)[R2年度以降の残事業費約1,720億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【北上川水系流域治水プロジェクト(岩手県内、宮城県内)[R2年度以降の残事業費約4,600億円(R2年度末時点)]★(R3年度推進中)④】

【馬淵川水系流域治水プロジェクト(青森県内、岩手県内)[R2年度以降の残事業費約120億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【高瀬川水系流域治水プロジェクト(青森県内)[R2年度以降の残事業費約110億円(R2年度公表時点)](R3年度推進中)④】

【岩木川水系流域治水プロジェクト(青森県内)[R2年度以降の残事業費約470億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【米代川水系流域治水プロジェクト(秋田県内)[R2年度以降の残事業費約150億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【雄物川水系流域治水プロジェクト(秋田県内)[R2年度以降の残事業費約2,390億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【子吉川水系流域治水プロジェクト(秋田県内)[R2年度以降の残事業費約1,240億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【最上川水系流域治水プロジェクト(山形県内)[R2年度以降の残事業費約3,020億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【赤川水系流域治水プロジェクト(山形県内)[R2年度以降の残事業費約500億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【二級水系(大沢川)流域治水プロジェクト(秋田県内)[R2年度以降の残事業費約17億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【二級水系(小本川)流域治水プロジェクト(岩手県内)[R2年度以降の残事業費約50億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【荒川水系流域治水プロジェクト(新潟県内、山形県内)[R2年度以降の残事業費413億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【阿賀野川水系流域治水プロジェクト(新潟県内、福島県内)[R2年度以降の残事業費1,761億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

【信濃川水系流域治水プロジェクト(新潟県内、長野県内)[R2年度以降の残事業費8,330億円(R2年度公表時点)]★(R3年度推進中)④】

- 【関川水系流域治水プロジェクト(新潟県内、長野県内)[ R2年度以降の残事業費 922 億円(R2 年度公表時点) ]★(R3 年度推進中)④】
  - 【姫川水系流域治水プロジェクト(新潟県内、長野県内)[R2年度以降の残事業費 301 億円(R2 年度公表時点) ]★(R3 年度推進中)④】
  - 【鶴川水系流域治水プロジェクト(新潟県内)[ R2年度以降の残事業費 213 億円(R2 年度公表時点) ]★(R3 年度推進中)④】
- ※残事業費は個別事業との重複がある。

## ■コンパクトなまちづくりと合わせた防災・減災対策の推進

【コンパクトなまちづくりと合わせて、防災・減災対策を推進し、居住を誘導する地域の安全確保を図る取組を推進(防災指針の作成) (R3 年度推進中)④】

## ■災害ハザードエリアにおける開発抑制の推進

【災害ハザードエリアにおける自己業務用施設の開発を原則禁止の対象に追加することで、災害ハザードエリアにおける開発抑制を推進(災害レッドゾーンにおける危険な自己業務用施設に係る開発の原則禁止) (R3 年度推進中)④】

## ■空港の防災機能の強化

【新潟空港における排水機能強化等による浸水対策 (新潟県新潟市) (R3 年度推進中) ④】

## 【ハード・ソフト一体となった取組】

### ■大規模災害・自然災害に備えた調査・計画の策定等

【土砂災害警戒区域等に関する基礎調査、最大クラスの洪水・内水に対応した浸水区域図・洪水ハザードマップを作成するなど、企業や住民の災害リスクへの認知度を向上させ、主体的な避難行動を促進 (R3 年度推進中)④】

【各市町村における下水道施設耐水化計画の策定及び下水道事業耐水化対策の推進 (R3 年度推進中)④】

### ■港湾施設の地震・津波対策と大規模災害等に備えた港湾 BCP・東北広域港湾 BCP の実効性向上

【仙台塩釜港仙台港区ふ頭再編改良事業 (R3 年度推進中)①】

## 【既存施設の集約・再編】

### ■既存ダムの集約・再編

【北上川上流ダム再生事業において、ダムの嵩上げ・操作方法の見直しにより、治水安全度を向上 (R3 年度推進中)③】

## 【選択と集中の徹底】

### ■河川改修等による治水対策の推進

阿武隈川直轄河川改修事業[残事業費 679 億円(H30 年度評価時点)]★

【下名生地区(宮城県柴田町、角田市) (R3 年度工事中)④】

【丸森地区(宮城県丸森町) (R3 年度事業中)④】他

名取川直轄河川改修事業[残事業費 86 億円(H30 年度評価時点)]★

【日辺地区(宮城県仙台市) (R3 年度工事中)④】他

鳴瀬川直轄河川改修事業[残事業費 532 億円(R 元年度評価時点)]★

【鳴瀬川河川改修(宮城県大崎市、石巻市、東松島市、美里町、涌谷町、色麻町、加美町、大郷町、大和町、富谷町、松島町、大衡町) (R3 年度測量設計中)④】他

鳴瀬川床上浸水対策特別緊急事業(吉田川)★

【(宮城県黒川郡大和町、大衡町) (R3 年度工事中)(R4 年度完成)①】

北上川直轄河川改修事業[残事業費 1,749 億円(H30 年度評価時点)]★

【日根牛地区(宮城県登米市) (R3 年度工事中)④】

【三輪田地区(宮城県石巻市) (R3 年度工事中)④】

【鹿又地区(宮城県登米市) (R3 年度工事中)④】

【一関藤沢地区(岩手県一関市) (R3 年度工事中)④】

【黒岩地区(岩手県北上市) (R3 年度事業中)④】

【紫波地区(岩手県紫波町) (R3 年度事業中)④】他

北上川上流直轄河川改修事業(一関遊水地)[残事業費 533 億円(R2 年度評価時点)]★

【(岩手県一関市、奥州市、平泉町) (R3 年度工事中)(R8 年度完成)③】

馬淵川直轄河川改修事業[残事業費 7 億円(R2 年度評価時点)]★

【一日市地区(青森県八戸市) (R3 年度工事中)④】

高瀬川直轄河川改修事業[残事業費 22 億円(R 元年度評価時点)]★

【高瀬川河川改修(青森県三沢市、十和田市、東北町、七戸町、六戸町、おいらせ町、六ヶ所村) (R3 年度測量設計中)④】他

岩木川直轄河川改修事業[残事業費 192 億円(R2 年度評価時点)]★

【岩木川中流部地区(青森県五所川原市他) (R3 年度工事中)④】

【鶴田左岸地区(青森県鶴田町) (R3 年度工事中)④】

【鶴田右岸地区(青森県鶴田町) (R3 年度工事中)④】他

米代川直轄河川改修事業[残事業費 41 億円(R2 年度評価時点)]★

【鷹巣地区(秋田県大館市) (R3 年度工事中)④】

【金谷地区(秋田県大館市) (R3 年度工事中)④】他



雄物川直轄河川改修事業[残事業費 765 億円(H30 年度評価時点)]★	
【黒瀬地区(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)④】
【大仙地区(秋田県大仙市)	(R3 年度工事中)④】
【山田頭首工(秋田県湯沢市)	(R3 年度工事中)④】他
雄物川激甚災害対策特別緊急事業★	
【(秋田県秋田市、大仙市)	(R3 年度工事中) [R4 年度完成]①】
子吉川直轄河川改修事業[残事業費 235 億円(R 元年度評価時点)]★	
【石脇地区(秋田県由利本荘市)	(R3 年度工事中)④】他
最上川直轄河川改修事業[残事業費 763 億円(R2 年度評価時点)]★	
【最上川下流部地区(山形県酒田市)	(R3 年度工事中)④】
【畑地区(山形県新庄市)	(R3 年度事業中)④】
【皿島地区(山形県戸沢村)	(R3 年度工事中) [R3 年度完成]①】
【樽川地区(山形県天童市)	(R3 年度工事中)④】
【須川地区(山形県山形市)	(R3 年度工事中)④】他
赤川直轄河川改修事業[残事業費 42 億円(H30 年度評価時点)]★	
【赤川中流部地区(山形県三川町)	(R3 年度工事中)④】他
鳴瀬川総合開発事業[残事業費 1,298 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(宮城県加美郡加美町)	(R3 年度工事中)④】
北上川上流ダム再生事業[残事業費 300 億円(H30 年度評価時点)]★	
【(岩手県盛岡市)	(R3 年度測量設計中)[R10 年度完成]③】
成瀬ダム建設事業★	
【(秋田県雄勝郡東成瀬村)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
鳥島ダム建設事業[残事業費 959 億円(H30 年度時点)]★	
【(秋田県由利本荘市)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③】
蔵館沢事業間連携砂防等事業★	
【(青森県大鰐町)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①】
中白糠沢事業間連携砂防等事業★	
【(青森県東通町)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①】
安家川河川災害復旧等関連緊急事業★	
【(岩手県岩泉町)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①】
金木川大規模特定河川事業	
【(青森県五所川原市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
白沢事業間連携砂防等事業★	
【(青森県平川市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
第 2 期いわての社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理(防災・安全)★	
【(岩手県盛岡市他)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
小本川河川激甚災害対策特別緊急事業★	
【(岩手県岩泉町)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
小本川災害復旧助成事業★	
【(岩手県岩泉町)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
長内川・小屋畑川浸水対策重点地域緊急事業[残事業費 70 億円(R2 年度評価時点)]	
【(岩手県久慈市)	(R3 年度測量設計中)[R8 年度完成]③】
茶の沢川事業間連携砂防等事業	
【(秋田県八峰町)	(R3 年度用地取得中)[R4 年度完成]①】
オバコ沢事業間連携砂防等事業	
【(秋田県仙北市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
須川大規模特定河川事業	
【(山形県山形市)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①】
釜ノ沢事業間連携砂防等事業	
【(山形県白鷹町)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
大旦川大規模特定河川事業	
【(山形県村山市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
柳淵特定緊急地すべり対策事業	
【(山形県大蔵村)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
総合的な浸水対策及び海岸侵食対策★	
【(山形県)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
青森県における海岸整備の推進(防災・安全)[残事業費 41 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(青森県八戸市他)	(R3 年度工事中)④】
千五沢ダム治水ダム建設事業	
【(福島県)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】

南浮田町区域事業間連携砂防等事業 【(青森県鯉ヶ沢町)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
小国沢大規模特定砂防等事業 【(青森県平川市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
オンデの沢事業間連携砂防等事業 【(秋田県能代市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
飯豊山系(飯豊)直轄砂防事業[残事業費 402 億円(H29 年度評価時点)]★ 【荒川上流 砂防堰堤改築(山形県小国町)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③】他
飯豊山系(阿賀野川)直轄砂防事業★ 【水上沢 砂防堰堤(新潟県阿賀町)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①】他
滝坂地区直轄地すべり対策事業[残事業費 48 億円(R元年度評価時点)]★ 【滝坂地区(福島県西会津町)	(R3 年度公示中) [R10 年度完成]③】
信濃川下流水系直轄砂防事業[残事業費 1,010 億円(H28 年度評価時点)]★ 【高棚川 砂防堰堤群(新潟県南魚沼市)	(R3 年度工事中)④】他
信濃川水系日尻沢事業間連携砂防等事業★ 【日尻沢(新潟県小千谷市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
荒谷地区地すべり対策事業★ 【荒谷地区(新潟県長岡市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
苗代地区急傾斜地崩壊対策事業★ 【苗代地区(新潟県柏崎市)	(R3 年度工事中)②】
駒込ダム建設事業[残事業費 344.99 億円(H29 年度評価時点)] 【(青森県青森市)	(R3 年度工事中)④】
青森県における総合的な浸水被害対策の推進[残事業費 74 億円(R2 年度評価時点)]★ 【(青森県青森市他)	(R3 年度工事中)④】
青森県における総合的な浸水被害対策の推進(防災・安全)緊急対策★ 【(青森県青森市、八戸市、五所川原市、平川市)	(R3 年度工事中)④】
十川大規模特定河川事業★ 【(青森県五所川原市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
目倉石沢大規模特定砂防等事業★ 【(青森県青森市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
奥村元区域大規模更新砂防等事業 【(青森県今別町)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
新田名部川大規模更新河川事業★ 【(青森県むつ市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
後長根川外大規模更新砂防等事業 【(青森県弘前市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
小松野川外大規模更新砂防等事業 【(青森県むつ市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
オモ沢外大規模更新砂防等事業 【(青森県十和田市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
関沢外大規模更新砂防等事業 【(青森県田子市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
吉野川大規模特定河川事業★ 【(山形県南陽市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
滝川大規模特定河川事業 【(福島県)	(R3 年度測量設計中)[R6 年度完成]②】
佐久間川大規模特定河川事業 【(福島県)	(R3 年度測量設計中)[R6 年度完成]②】
浸水対策重点地域における緊急治水対策の推進(防災・安全)緊急対策★ 【(福島県相馬市)	(R3 年度測量設計中)[R6 年度完成]②】
川内沢ダム建設事業★ 【(宮城県名取市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
谷田川大規模特定河川事業★ 【(福島県)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
大規模特定河川事業(長沼川) 【(宮城県登米市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
大規模特定河川事業(渋井川)★ 【(宮城県大崎市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
大作沢事業間連携砂防等事業	

【(福島県) 備前作沢事業間連携砂防等事業★	(R3 年度用地取得中)[R7 年度までに完成]②
【(福島県) 長沢事業間連携砂防等事業★	(R3 年度用地取得中)[R7 年度までに完成]②
【(福島県) 齊内川大規模特定河川事業★	(R3 年度用地取得中)[R7 年度までに完成]②
【(秋田県大仙市) 小湊事業間連携砂防等事業	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②
【(秋田県北秋田市) 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト[残事業費 1,078 億円(R2 年度評価時点)]★	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]②
【(信濃川(国管理区間)河道掘削、遊水池等(新潟県内) 【(信濃川(県管理区間)築堤等(新潟県内)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]② (R3 年度工事中)[R6 年度完成]②
荒川直轄河川改修事業[残事業費 46 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(海老江地区 河道掘削(新潟県村上市) 【(高田地区 浸透対策(新潟県関川村)	(R3 年度工事中)④ (R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】他
阿賀野川直轄河川改修事業[残事業費 209 億円(H30 年度評価時点)]★	
【(下里地区 羽越本線洪水防止連携整備(新潟県阿賀野市) 【(藤戸川合流点処理(新潟県阿賀野市) 【(蔵岡地区 水衝部対策(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]① (R3 年度工事中)[R5 年度完成]① (R3 年度工事中)④】他
阿賀川直轄河川改修事業[残事業費 110 億円(H30 年度評価時点)]★	
【(長井地区 下流部狭窄部対策(福島県喜多方市) 【(下遠田地区 浸透対策(福島県喜多方市)	(R3 年度工事中)[R9 年度完成]③ (R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】他
阿賀野川水系 新井郷川(福島県新潟市、新発田市)	
【(福島県 河川改修(新潟県新潟市、新発田市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①
信濃川下流直轄河川改修事業★	
【(天野地区 河川防災ステーション(新潟県新潟市) 【(新光町地区 やすらぎ堤整備(新潟県新潟市) 【(戸石地区 河道掘削(新潟県新潟市) 【(横場新田地区 河道掘削(新潟県田上町) 【(小須戸地区 橋梁架替、堤防嵩上げ(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]① (R3 年度工事中)[R5 年度完成]① (R3 年度工事中)[R6 年度完成]② (R3 年度工事中)[R10 年度完成]③ (R3 年度工事中)④】他
信濃川水系 中ノロ川 大規模特定河川事業[残事業費 20 億円(H30 年度評価時点)]	
【(中ノロ川 河川改修(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③
信濃川直轄河川改修事業★	
【(長岡地区 河川防災ステーション(新潟県長岡市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】他
信濃川(大規模)直轄河川改修事業[残事業費 1,200 億円(H26 年度評価時点)]★	
【(大河津分水路 令和の大改修(新潟県長岡市、燕市)	(R3 年度工事中)④
関川直轄河川改修事業[残事業費 497 億円(H26 年度評価時点)]★	
【(保倉川 放水路整備(新潟県上越市)	(R3 年度調査・検討中)④
姫川直轄河川改修事業[残事業費 64 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(西中地区 堤防浸食対策(新潟県糸魚川市)	(R3 年度工事中)④】他
胎内川 総合開発事業[残事業費 77 億円(R2 年度評価時点)]	
【(胎内川ダム 放流設備改造(ダム再生)(新潟県胎内市)	(R3 年度工事中)[R12 年度完成]③
鵜川 事業間連携河川事業★	
【(鵜川 河川改修(新潟県柏崎市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②
鵜川ダム建設事業	
【(鵜川ダム 建設(新潟県柏崎市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②
小湯ノ沢川事業間連携砂防等事業[残事業費 1 億円(H31 年度評価時点)]	
【(青森県外ヶ浜町)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③
内丸一丁目区域大規模更新砂防等事業	
【(青森県八戸市)	(R3 年度工事中)[R9 年度完成]③
下内川大規模特定河川事業[残事業費 17 億円(R2 年度評価時点)]	
【(秋田県大館市)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③
七戸川大規模特定河川事業[残事業費 22 億円(R 元年度評価時点)]	
【(青森県七戸町、東北町)	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③
木賊川広域河川改修事業[残事業費 24 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(岩手県盛岡市、滝沢市)	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③
馬淵川広域河川改修事業[残事業費 63.5 億円(R2 年度評価時点)]★	

【(岩手県二戸市、八幡平市、一戸町)	(R3 年度工事中)④
北上川(上流)広域河川改修事業[残事業費 27.2 億円(R2 年度評価時点)]	
【(岩手県岩手町)	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③
気仙川広域河川改修事業[残事業費 10.2 億円(R2 年度評価時点)]	
【(岩手県陸前高田市、住田町)	(R3 年度工事中)[R12 年度完成]③
大規模特定河川事業(雉子尾川) [残事業費 18 億円(R 元年度評価時点)]	
【(宮城県丸森町)	(R3 年度工事中)[R9 年度完成]③
大規模特定河川事業(七北田川) [残事業費 15 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度測量設計中)[R9 年度完成]③
織機川大規模特定砂防等事業[残事業費 12.9 億円(R 元年度評価時点)]	
【(山形県南陽市)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③
只見川大規模特定河川事業[残事業費 67 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(福島県)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③
塩野川大規模特定河川事業[残事業費 12 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(福島県)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③
濁川大規模特定河川事業[残事業費 12 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(福島県)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③
叶津川事業間連携砂防等事業[残事業費 8 億円(R 元年度評価時点)]	
【(福島県)	(R3 年度測量設計中)[R10 年度完成]③
大規模特定河川事業(南沢川) [残事業費 12 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(宮城県登米市)	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③
湯尻川大規模特定河川事業[残事業費 10 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(山形県鶴岡市)	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③
右支夏井川大規模特定河川事業★	
【(福島県)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①
逢瀬川(上流)事業間連携河川事業★	
【(福島県)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②
新波川床上浸水対策特別緊急事業★	
【(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①
太平川大規模特定河川事業	
【(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①
新城川大規模特定河川事業 [残事業費 20 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③
芋川大規模特定河川事業[残事業費 22 億円(R2 年度評価時点)]	
【(秋田県由利本荘市)	(R3 年度工事中)[R12 年度完成]③
頻発する災害へ対応し、安全・安心を確保した生活基盤づくり(防災・安全)★	
【(秋田県能代市、由利本荘市、仙北市、横手市、五城目町、鹿角市、小坂町、北秋田市、上小阿仁村、秋田市、八郎潟町、井川町、大仙市、美郷町、湯沢市、にかほ市)	(R3 年度工事中)④
ハード対策施設の設置・改築等による土砂災害対策推進(防災・安全)★	
【(秋田県八郎潟町、八峰町、鹿角市、大仙市、小坂町)	(R3 年度工事中)④
ハード対策施設の設置・改築等による土砂災害対策推進(防災・安全)(重点)★	
【(秋田県)	(R3 年度工事中)④
警戒避難体制の充実・強化による土砂災害対策推進(防災・安全)★	
【(秋田県)	(R3 年度測量設計中)④
河川整備による都市の雨水対策推進	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④
洪水や土砂災害など大規模自然災害対策の推進(防災・安全)★	
【(宮城県仙台市、石巻市、白石市、名取市、角田市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、富谷市、蔵王町、大河原町、村田町、丸森町、山元町、利府町、大和町、美里町、多賀城市)	(R3 年度工事中)④
再度の浸水等氾濫防止対策の推進(防災・安全)[残事業費 35 億円(R 元年度評価時点)]	
【(宮城県仙台市、栗原市、登米市、気仙沼市、大崎市)	(R3 年度工事中)④
浸水対策重点地域における緊急治水対策の推進(防災・安全)緊急対策[残事業費 20 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④
総合的な土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)[残事業費 49 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(青森県平川市他)	(R3 年度工事中)④
総合的な土砂災害対策の推進(防災・安全)[残事業費 153 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(山形県全市町村)	(R3 年度工事中)④
山形県における土砂災害対策事業の推進(防災・安全)(重点)[残事業費 32.3 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(山形県全市町村)	(R3 年度工事中)④
山形県における土砂災害対策事業の推進(防災・安全)[残事業費 70.7 億円(R 元年度評価時点)]★	

【(山形県全市町村)	(R3 年度工事中)④
山形県における土砂災害ソフト対策事業の推進(防災・安全)[残事業費 4.2 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(山形県全市町村)	(R3 年度工事中)④
水災害から安全で安心して暮らせる地域づくりの推進(防災・安全)[残事業費 163 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(福島県郡山市、須賀川市、福島市、石川町、棚倉町、鏡石町、塙町、白河市、只見町、南相馬市、富岡町、いわき市、伊達市、国見町、西会津町、昭和村、西郷村、三春町、大熊町、双葉町、葛尾村)	(R3 年度工事中)④
河川管理施設(ダム等を含む)の戦略的な維持管理の推進(防災・安全)緊急対策[残事業費 78 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(福島県)	(R3 年度工事中)④
土砂災害から命を守る基礎調査の推進(防災・安全)★	
【(福島県)	(R3 年度測量設計中)④
水災害から安全で安心して暮らせる地域づくりの推進(防災・安全)[残事業費 58 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(福島県いわき市、須賀川市、伊達市、国見町、西会津町、昭和村、西郷村、塙町、石川町、三春町、大熊町、双葉町、葛尾村)	(R3 年度工事中)④
土砂災害から人命を守る土砂災害対策事業の推進(防災・安全)(重点)[残事業費 102 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(福島県喜多方市、いわき市)	(R3 年度工事中)④
<b>■災害に強いまちづくりの推進</b>	
浸水対策事業★	
【(青森県藤崎町)	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)①
浸水対策事業(北上川下流東部処理区)★	
【(宮城県石巻市)	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)①
下水道管路施設整備事業(第3南蒲生幹線)★	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)①
仙台市災害に強い防災安全まちづくり	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④
鶴岡市における災害に強いまちづくり	
【(山形県鶴岡市)	(R3 年度工事中)④
浸水対策事業★	
【(岩手県久慈市)	(R3 年度工事中)(R5 年度完成)①
下水道施設改築更新事業(都南浄化センター)★	
【(岩手県盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町)	(R3 年度工事中)(R6 年度完成)②
下水道管路施設整備事業(大雄幹線2条管整備)★	
【(秋田県横手市)	(R3 年度工事中)(R6 年度完成)②
宮城県の市街地における台風第 19 号災害からの復興を推進する社会資本整備他 2 計画【(宮城県大郷町、他 7 都市)	(R3 年度工事中)④
福島市における安全で災害に強いまちづくりの推進他 2 地区	
【(福島県福島市、他 2 都市)	(R3 年度工事中)④
大規模雨水処理施設整備事業(仙台駅西口地区)★	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中) [R7 年度までに完成]②
公共下水道整備の事業	
【新潟市中部公共下水道整備事業(浸水対策)(新潟県新潟市)★	(R3 年度工事中)④
【新潟市東部公共下水道整備事業(浸水対策)(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④
【新潟市北部公共下水道整備事業(浸水対策)(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④
【信濃川下流流域下水道事業耐水化対策(新潟県新潟市他)	(R3 年度調査・検討中)④
<b>■土砂災害対策の推進</b>	
八幡平山系直轄砂防事業[残事業費 394 億円(H29 年度評価時点)]★	
【(岩手県八幡平市、滝沢市、雫石町)	(R3 年度工事中)④
【(秋田県仙北市)	(R3 年度工事中)④
赤川水系直轄砂防事業[残事 197 億円(H29 年度評価時点)]★	
【(山形県鶴岡市)	(R3 年度工事中)④
最上川水系直轄砂防事業[残事業費 499 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(山形県庄内町、戸沢村、大蔵村、西川町、真室川町、金山町)	(R3 年度工事中)④
阿武隈川水系直轄砂防事業[残事業費 308 億円(H29 年度評価時点)]★	
【(福島県福島市)	(R3 年度工事中)④
【(山形県米沢市)	(R3 年度工事中)④
月山地区直轄地すべり対策事業[残事業費 202 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(山形県鶴岡市、西川町)	(R3 年度工事中)④
<b>■海岸侵食対策</b>	
仙台湾南部海岸直轄海岸保全施設整備事業[残事業費 353 億円(H28 年度評価時点)]★	
【(宮城県岩沼市、山元町)	(R3 年度工事中)④
柏尾海岸侵食対策事業[残事業費 18 億円(H28 年度評価時点)]	

- 【柏尾地区海岸(新潟県村上市) (R3 年度工事中)④】
- 新潟港海岸直轄海岸保全施設整備事業★
- 【新潟港海岸(新潟県新潟市) (R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】
- 新潟港海岸侵食対策事業★
- 【新潟港海岸(新潟県新潟市) (R3 年度工事中)④】
- 新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業[残事業費 83 億円(H29 年度評価時点)]★
- 【新潟海岸(新潟県新潟市) (R3 年度工事中)④】

## ② 地震・津波対策

### 【各主体が連携した取組】

#### ■各主体が連携した防災訓練の実施

【住民・関係機関が連携した防災訓練の実施 (R3 年度推進中)④】

#### ■太平洋側大規模地震災害発生時における日本海側港湾の代替性の確保

【太平洋側大規模地震災害発生時における日本海側港湾の代替性の確保 (R3 年度推進中)④】

#### ■大規模盛土造成地の滑動崩落の危険性を把握する取組を推進

【大規模盛り土造成地の活動崩落の危険性を把握する調査に着手する等の取組を推進 (R3 年度推進中)④】

#### ■復興まちづくりのための事前準備の推進

【公共地方団体による復興まちづくりのための事前準備の取組等を推進 (R3 年度推進中)④】

#### ■火山噴火に起因する土砂災害への対策の推進

【火山噴火時における降灰厚把握手法の整備の推進 (R3 年度推進中)②】

#### ■河川管理施設の地震・津波対策の推進

【経常維持工事等による水門・樋門等の耐震化の推進 (R3 年度推進中)②】

### 【ハード・ソフト一体となった取組】

#### ■湾口防波堤と GPS 波浪計によるハード・ソフト一体となった津波対策の推進

【久慈港湾口地区防波堤整備事業 (R3 年度推進中)③】

#### ■港湾施設の地震・津波対策と大規模災害等に備えた港湾 BCP・東北広域港湾 BCP の実効性向上

【仙台塩釜港仙台港区ふ頭再編改良事業 (R3 年度推進中)①】

#### ■津波による船舶事故軽減に資する港湾強靱化の推進

【災害時の対応や訓練結果等を踏まえ、港湾の事業継続計画(港湾 BCP)の改訂を実施 (R3 年度推進中)④】

#### ■「A2-BCP」(空港業務継続計画)の実効性強化対策及び「空港におけるイレギュラー時の適切な対応及び体制の確保」

【「A2-BCP」(空港業務継続計画)に基づく訓練などの実施 (R3 年度推進中)④】

#### ■道路の高架区間等を活用した避難対策の推進

【直轄国道等の高架区間等を活用した避難施設(避難階段等)の整備及び訓練の実施★ (R3 年度推進中)④】

#### ■防災インフラの管理の効率化・高度化と予防保全の推進

【老朽化した河川管理施設の修繕・更新の集中的実施と河川管理施設操作の無動力化、遠隔監視・操作化を推進 (R3 年度推進中)④】

### 【選択と集中の徹底】

#### ■橋梁等構造物の耐震補強等

(一)仙台館腰線太白大橋(一部補修を含む)

【(宮城県仙台市) (R3 年度工事中)④】

一般国道 287 号高松陸橋耐震補強工事

【(山形県寒河江市) (R3 年度工事中)④】

#### ■港湾施設の災害リスク軽減

馬門離岸堤の改良★

【(青森県野辺地町) (R3 年度工事中)④】

新潟港海岸直轄海岸保全施設整備事業★

【(新潟県新潟市) (R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】

新潟港西港区防波堤整備事業★

【(新潟県新潟市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】

秋田港防災・安全交付金事業(津波避難施設)★

【(秋田県秋田市) (R3 年度測量設計中)④】

船川港防災・安全交付金事業(津波避難施設)★

【(秋田県男鹿市) (R3 年度測量設計中)④】

秋田港外港地区防波堤整備事業[残事業費 113 億円(H30 年度評価時点)]★

【(秋田県秋田市) (R3 年度工事中)(R8 年度完成)③】

久慈港湾口地区防波堤整備事業[残事業費 629 億円(H28 年度評価時点)]★

【(岩手県久慈市) (R3 年度工事中)(R10 年度完成)③】

宮古港予防保全事業★ 【(岩手県宮古市)	(R3 年度測量設計中)(R12 年度までに完成未定)③
秋田港外港地区防波堤改良事業★ 【(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)④
酒田港北港地区防波堤改良事業★ 【(山形県酒田市)	(R3 年度工事中)④
新潟港東港区防波堤改良事業★ 【東港区(新潟県新潟市、聖籠町)	(R3 年度工事中)④
直江津港西防波堤改良事業★ 【西防波堤(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)④
両津港湊地区岸壁改良事業 【湊地区(新潟県佐渡市)	(R3 年度工事中)④
■空港施設の災害リスク軽減	
仙台空港耐震対策 【宮城県岩沼市、名取市)	(R3 年度工事中)(R3 年度完成)①
新潟空港防災・減災事業 【新潟空港(新潟県新潟市)	(R3 年度測量設計中)④
■災害に強いまちづくりの推進	
釜石市水海地区避難道路整備計画 【(岩手県釜石市)	(R3 年度工事中)④
宮城県の水街地における台風第 19 号災害からの復興を推進する社会資本整備 【(宮城県大郷町)	(R3 年度工事中)④
三沢地区における津波避難道路整備計画 【(青森県三沢市)	(R3 年度工事中)④
宅地耐震化推進事業 他 19 計画 【(東北各県 青森県青森市、他 23 都市)	(R3 年度測量設計中)④
下水施設の地震対策	
【下水道施設耐震化事業(青森県十和田市)★	(R3 年工事中)(R4 年度完成)①
【下水道施設耐震化対策事業(山形浄化センター)(山形県天童市)★	(R3 年度工事中)(R6 年度完成)②
【阿賀野川流域下水道事業耐震化対策(新潟県新潟市他)★	(R3 年度工事中)④
【新潟市船見処理区地震対策(耐震化)(新潟県新潟市)	(R3 年度測量設計中)④
【新潟市中部処理区地震対策(耐震化)(新潟県新潟市)★	(R3 年度工事中)④
【信濃川下流域下水道事業耐震化対策(新潟県新潟市他)★	(R3 年度工事中)④
【西川流域下水道事業耐震化対策(新潟県新潟市他)★	(R3 年度工事中)④
【今町処理場地震対策(耐震補強)(新潟県見附市)	(R3 年度工事中)④
【魚野川流域下水道事業耐震化対策(新潟県魚沼市他)★	(R3 年度工事中)④
【青海処理場等地震対策(耐震化)(新潟県糸魚川市)★	(R3 年度工事中)④
③ 冬期も含めた交通機能確保	
【各主体が連携した取組】	
■災害発生時の公共交通運休に伴う関係機関の連携 【地震の影響による公共交通の運休に伴う代替輸送手段の確保	(R3 年度推進中)④
■冬期の通行止め情報に関する連携 【「大雪に関する緊急発表」や地域単位での「情報連絡本部」の設置による関係機関の連携強化等を図る	(R3 年度推進中)④
【緊急輸送道路における無電柱化対策	(R3 年度推進中)④
【ハード・ソフト一体となった取組】	
■道路を活用した取組の推進 【重要物流道路の指定と併せた優先的なネットワーク整備	(R3 年度推進中)④
■大雪時の道路交通確保に向けた取組の強化 【タイムラインの作成、除雪体制の強化、基幹的道路ネットワークの強化、スポット対策等	(R3 年度推進中)④
【インフラの利活用】	
■災害時交通機能確保に資する航路・泊地の浚渫土砂処分場の整備 【仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区廃棄物海面処分場の整備(宮城県)	(R3 年度推進予定)③
【選択と集中の徹底】	
■格子状骨格道路ネットワークの整備 東北縦貫自動車道八戸線一般国道 45 号天間林道路★	

【(青森県七戸町) 津軽自動車道一般国道 101 号柏浮田道路[残事業費 380 億円(H29 年度評価時点)]	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)①】
【(青森県つがる市) 三陸沿岸道路一般国道 45 号侍浜～階上[残事業費 30 億円(R2 年度評価時点)]	(R3 年度工事中)④】
【(青森県階上町) 【(岩手県久慈市、洋野町)	(R3 年度工事中)④(再掲) (R3 年度工事中)④(再掲)】
宮古盛岡横断道路一般国道 106 号田鎖墓目道路[残事業費 300 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(岩手県宮古市) 宮古盛岡横断道路一般国道 106 号箱石達首部道路[残事業費 470 億円(R2 年度評価時点)]	(R3 年度測量設計中)④(再掲) (R3 年度測量設計中)④(再掲)】
【(岩手県宮古市) 秋田自動車道湯田～横手(4車線化事業)	(R3 年度測量設計中)④(再掲) (R3 年度測量設計中)④】
【(秋田県横手町) 【(岩手県和賀町)	(R3 年度測量設計中)④ (R3 年度測量設計中)④】
秋田自動車道北上西～湯田(4車線化事業)★	
【(岩手県北上市、和賀町) 三陸沿岸道路一般国道 45 号歌津～本吉[残事業費 20 億円(R2 年度評価時点)]	(R3 年度測量設計中)④ (R3 年度工事中)④(再掲)】
【(宮城県南三陸町、気仙沼市) 仙台北部道路利府しらかし台～富谷 JCT(4車線化事業)★	(R3 年度工事中)④(再掲) (R3 年度測量設計中)④(再掲)】
【(宮城県利府町、富谷町) 日本海沿岸東北自動車道一般国道 7 号遊佐象潟道路[残事業費 396 億円(R2 年度評価時点)]★	(R3 年度測量設計中)④(再掲) (R3 年度工事中)(R8 年度完成)③】
【(秋田県にかほ市) 【(山形県遊佐町)	(R3 年度工事中)(R8 年度完成)③ (R3 年度工事中)(R8 年度完成)③】
東北中央自動車道一般国道 13 号横堀道路★	
【(秋田県湯沢市) 東北中央自動車道一般国道 13 号真室川雄勝道路[残事業費 224 億円(R2 年度評価時点)]	(R3 年度工事中)(R7 年度完成)② (R3 年度工事中)④】
【(山形県真室川町) 【(秋田県湯沢市)	(R3 年度工事中)④ (R3 年度工事中)④】
日本海沿岸東北自動車道一般国道 7 号二ツ井今泉道路★	
【(秋田県能代市、北秋田市) 東北中央自動車道東根～尾花沢★	(R3 年度工事中)(R5 年度完成)① (R3 年度工事中)(R4 年度完成)①】
【(山形県東根市、河北町、村山市、大石田町、尾花沢市) 東北中央自動車道一般国道 13 号泉田道路★	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)① (R3 年度工事中)(R4 年度完成)①】
【(山形県新庄市) 新庄酒田道路一般国道 47 号新庄古口道路★	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)① (R3 年度工事中)(R4 年度完成)①】
【(山形県新庄市) 新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号梨郷道路★	(R3 年度工事中)(R5 年度完成)① (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
【(山形県長井市、川西町、南陽市) 新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号 小国道路金丸～松岡[残事業費 350 億円(H30 年度評価時点)]	(R3 年度工事中)(R5 年度完成)① (R3 年度用地取得中)④】
【(山形県小国町) 【(新潟県関川村)	(R3 年度用地取得中)④ (R3 年度用地取得中)④】
新庄酒田道路一般国道 47 号高屋道路	
【(山形県戸沢村) 東北中央自動車道一般国道 13 号新庄金山道路★	(R3 年度工事中)(R6 年度完成)② (R3 年度工事中)(R7 年度完成)②】
【(山形県新庄市、金山町) 東北中央自動車道一般国道 13 号金山道路[残事業費 123 億円(R2 年度評価時点)]	(R3 年度工事中)(R7 年度完成)② (R3 年度工事中)④】
【(山形県金山町) 新庄酒田道路一般国道 47 号高屋防災	(R3 年度工事中)④ (R3 年度測量設計中)④】
【(山形県戸沢村) 新庄酒田道路一般国道 47 号戸沢立川道路[残事業費 220 億円(R2 年度評価時点)]	(R3 年度測量設計中)④ (R3 年度測量設計中)④】
【(山形県戸沢村、庄内町) 日本海沿岸東北自動車道酒田みなと～遊佐★	(R3 年度測量設計中)④ (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
【(山形県酒田市、遊佐町) 日本海沿岸東北自動車道一般国道 7 号朝日温海道路[残事業費 1757 億円(H29 年度評価時点)]★	(R3 年度工事中)(R5 年度完成)① (R3 年度工事中)④】
【(山形県鶴岡市) 【(新潟県村上市)	(R3 年度工事中)④ (R3 年度工事中)④】
会津縦貫南道路一般国道 121 号湯野上バイパス★	
【(福島県下郷町) 宮城県北高速幹線道路(主)築館登米線 III 期佐沼工区	(R3 年度工事中)(R7 年度完成)② (R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】
【(宮城県登米市) 会津縦貫南道路一般国道 121 号下郷田島バイパス★	(R3 年度工事中)(R3 年度完成)① (R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】



【(福島県下郷町、南会津町) 会津縦貫北道路一般国道 121 号若松北バイパス★	(R3 年度工事中)④】
【(福島県会津若松市) 新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号鷹ノ巣道路下川口～片貝[残事業費 138 億円(H30 年度評価時点)]★	(R3 年度測量設計中)④】
【(新潟県関川村) 新潟南北道路一般国道7号栗ノ木道路 沼垂東～鑑[残事業費 102 億円(H29 年度評価時点)]★	(R3 年度工事中)④】
【(新潟県新潟市) 新潟南北道路一般国道7号紫竹山道路 鑑～紫竹山[残事業費 138 億円(H29 年度評価時点)]★	(R3 年度工事中)④】
【(新潟県新潟市) 新潟東西道路一般国道 116 号 新潟西道路 明田～曾和 [残事業費 300 億円(H30 年度評価時点)]★	(R3 年度工事中)④】
【(新潟県新潟市) 上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号上越三和道路鶴町 IC～(仮称)三和 IC[残事業費 522 億円(H28 年度評価時点)]★	(R3 年度用地取得中)④】
【(新潟県上越市) 上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号三和安塚道路(仮称)三和 IC～浦川原 IC★	(R3 年度工事中)④】他
【(新潟県上越市) 上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号十日町道路北鑑坂～八箇 IC [残事業費 620 億円(H30 年度評価時点)]	(R3 年度工事中)④】
【(新潟県十日町市) 上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号八箇峠道路野田 IC～(仮称)余川 IC [残事業費 68 億円(R 元年度評価時点)]★	(R3 年度測量設計中)④】
【(新潟県南魚沼市) 松本糸魚川連絡道路一般国道 148 号松糸・今井道路山本～上刈	(R3 年度工事中)④】
【(新潟県糸魚川市) 常磐自動車道相馬～新地(4車線化事業)★	(R3 年度測量設計中)④】
【(福島県相馬市、新地町) 常磐自動車道浪江～南相馬(一部4車線化)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
【(福島県浪江町) 磐越自動車道会津坂下～西会津(4車線化事業)★	((R3 年度測量設計中)④(再掲)】
【(福島県会津坂下町、西会津町) 磐越自動車道会津坂下～津川(一部4車線化)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
【(福島県会津坂下町、西会津町) 【(新潟県阿賀町) 日本海沿岸東北自動車道荒川～朝日(付加車線整備等)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】 (R3 年度測量設計中)④(再掲)】
【(新潟県村上市) 磐越自動車道三川～安田(一部4車線化事業)★	(R3 年度測量設計中)④】
【(新潟県阿賀町、阿賀野市)	(R3 年度工事中)④】
<b>■道路ネットワークの代替性・多重性確保</b>	
一般国道 48 号湯渡戸橋架替 【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 7 号白沢跨線橋架替 【(秋田県大館市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 105 号大覚野峠防災 【(秋田県仙北市、北秋田市)	(R3 年度測量設計中)④】
一般国道 49 号会津防災 【(福島県柳津町、西会津町)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 279 号(下風呂)★ 【(青森県風間浦村)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 339 号(三厩藤島)★ 【(青森県外ヶ浜町)	(R3 年度用地取得中)④】
一般国道 102 号奥瀬★ 【(青森県十和田市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 282 号一本木★ 【(岩手県滝沢市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 282 号佐比内★ 【(岩手県八幡平市)	(R3 年度測量設計中)④】
一般国道 455 号乙茂★ 【(岩手県岩泉町)	(R3 年度工事中)④】
(主)花巻大曲線小倉山の2★ 【(岩手県西和賀町)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 113 号福岡蔵本道路改築事業★	

【(宮城県白石市)	(R3 年度工事中)④】
(主)気仙沼唐桑線化粧坂道路改築事業	
【(宮城県気仙沼市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 286 号小野大橋橋梁耐震化事業	
【(宮城県川崎町)	(R3 年度測量設計中)④】
(主)丸森霊山線筆甫土砂災害対策道路事業	
【(宮城県丸森町)	(R3 年度測量設計中)④】
(町)女川出島線道路改築事業★	
【(宮城県女川町)	(R3 年度工事中)④】
(市)町東古屋敷線(新馬橋工区)★	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④】
(市)高畑定義線(高畑第1～3工区)★	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④】
(市)高畑定義線(定義工区)★	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度測量設計中)④】
(主)男鹿半島線加茂青砂工区★	
【(秋田県男鹿市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 101 号竹生工区★	
【(秋田県能代市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 108 号小川工区	
【(秋田県由利本荘市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 107 号大沢バイパス★	
【(秋田県横手市)	(R3 年度工事中)④】
(一)西目屋二ツ井線荷上場バイパス★	
【(秋田県能代市・藤里町)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 105 号堀内工区★	
【(秋田県仙北市)	(R3 年度測量設計中)④】
一般国道 285 号富津内工区	
【(秋田県五城目町)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 285 号沖田面工区★	
【(秋田県上小阿仁村)	(R3 年度測量設計中)④】
(主)山形永野線土砂災害対策道路事業(土坂工区)★	
【(山形県山形市)	(R3 年度工事中)④】
(一)三瀬水沢線土砂災害対策道路事業(中山工区)★	
【(山形県鶴岡市)	(R3 年度工事中)④】
(主)小野四倉線竹ノ渡戸法面対策★	
【(福島県いわき市)	(R3 年度測量設計中)④】
一般国道 8 号柏崎バイパス城東～鯨波★	
【(新潟県柏崎市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】他
一般国道 8 号親不知道路外波～市振	
【(新潟県糸魚川市)	(R3 年度測量設計中)④】
一般国道 17 号浦佐バイパス大浦～虫野★	
【(新潟県魚沼市)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①】他
一般国道 17 号 和南津改良 川口和南津	
【(新潟県長岡市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 353 号 葎沢工区 葎沢～倉下★	
【(新潟県十日町市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 18 号 上新バイパス寺町～岡原★	
【(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)[R3 年完成]①】他
一般国道 17 号 三国防災羽場～三国★	
【(群馬県利根郡みなかみ町羽場～新潟県南魚沼郡湯沢町三国)	
	(R3 年度工事中)[R4 年春頃(仮称)新三国トンネル開通予定]①】
一般国道 17 号三俣防災三俣～神立	
【(新潟県湯沢町)	(R3 年度用地取得中)④】
一般国道 402 号 土砂災害対策道路事業 ★	
【(久田地区(新潟県出雲崎町)	(R3 年度工事中)④】
(主)新潟中央環状線 道路整備 中ノ口地区、黒埼地区、明田地区★	
【(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④】他
(主)白根安田線 橋梁架替小須戸橋	

【新潟県新潟市】	(R3 年度工事中)④
(主)佐渡一周線 道路整備 岩谷口～松ヶ崎★	
【新潟県佐渡市】	(R3 年度工事中)④
(主)佐渡一周線 土砂災害対策道路事業	
【五十浦地区(新潟県佐渡市)】	(R3 年度工事中)④
<b>■通行不能区間の解消</b>	
一般国道 289 号八十里越塩野渕～叶津★	
【(福島県只見町)】	(R3 年度工事中)[今後 5 か年程度で完成]②
【(新潟県三条市)】	(R3 年度工事中)[今後 5 か年程度で完成]②
<b>■無電柱化の推進</b>	
青森 45 号電線共同溝(城下地区電線共同溝)	
【(青森県八戸市)】	(R3 年度工事中)④
青森 104 号電線共同溝(売市地区電線共同溝)★	
【(青森県八戸市)】	(R3 年度工事中)④
岩手 45 号電線共同溝(大船渡地区電線共同溝)★	
【(岩手県大船渡市)】	(R3 年度工事中)④
岩手 45 号電線共同溝(鶉住居地区電線共同溝)	
【(岩手県釜石市)】	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①
岩手 45 号電線共同溝(山田地区電線共同溝)	
【(岩手県山田町)】	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①
岩手 45 号電線共同溝(神林地区電線共同溝)	
【(岩手県宮古市)】	(R3 年度測量設計中)④
岩手 45 号電線共同溝(磯鶏地区電線共同溝)★	
【(岩手県宮古市)】	(R3 年度工事中)④
岩手 45 号電線共同溝(石崎地区電線共同溝)	
【(岩手県宮古市)】	(R3 年度測量設計中)④
岩手 45 号電線共同溝(藤原地区電線共同溝)★	
【(岩手県宮古市)】	(R3 年度工事中)④
岩手 46 号電線共同溝(永井地区電線共同溝)	
【(岩手県盛岡市)】	(R3 年度工事中)④
宮城 4 号電線共同溝(桜地区電線共同溝)	
【(宮城県岩沼市)】	(R3 年度工事中)④
宮城 4 号電線共同溝(富谷地区電線共同溝 PFI)	
【(宮城県富谷市)】	(R3 年度測量設計中)④
宮城 45 号電線共同溝(扇町地区電線共同溝)★	
【(宮城県仙台市)】	(R3 年度工事中)④
宮城 45 号電線共同溝(扇町地区(第2期)電線共同溝)	
【(宮城県仙台市)】	(R3 年度工事中)④
宮城 45 号電線共同溝(福室地区電線共同溝)	
【(宮城県仙台市)】	(R3 年度工事中)④
宮城 45 号電線共同溝(下馬地区電線共同溝)★	
【(宮城県多賀城市)】	(R3 年度工事中)④
宮城 45 号電線共同溝(錦町地区電線共同溝)	
【(宮城県多賀城市、塩釜市)】	(R3 年度工事中)④
宮城 108 号電線共同溝(前田町地区電線共同溝)★	
【(宮城県大崎市)】	(R3 年度工事中)④
宮城 108 号電線共同溝(諏訪地区電線共同溝)	
【(宮城県大崎市)】	(R3 年度工事中)④
秋田 7 号電線共同溝(土崎南地区電線共同溝)★	
【(秋田県秋田市)】	(R3 年度工事中)④
秋田 7 号電線共同溝(豊町地区電線共同溝)	
【(秋田県大館市)】	(R3 年度測量設計中)④
秋田 7 号電線共同溝(長倉地区電線共同溝)	
【(秋田県大館市)】	(R3 年度工事中)④
秋田 7 号電線共同溝(桂城地区電線共同溝)★	
【(秋田県大館市)】	(R3 年度工事中)④
秋田 7 号電線共同溝(有浦地区電線共同溝)	
【(秋田県大館市)】	(R3 年度測量設計中)④
秋田 13 号電線共同溝(川尻地区電線共同溝)	
【(秋田県秋田市)】	(R3 年度測量設計中)④

福島 4 号電線共同溝(松山町地区電線共同溝) 【(福島県福島市)	(R3 年度工事中)④】
福島 4 号電線共同溝(黒岩地区電線共同溝) 【(福島県福島市)	(R3 年度測量設計中)④】
福島 49 号電線共同溝(会津若松地区電線共同溝) 【(福島県会津若松市)	(R3 年度工事中)④】
福島 49 号電線共同溝(亀賀地区電線共同溝)★ 【(福島県会津若松市)	(R3 年度工事中)④】
福島 49 号電線共同溝(一箕町地区電線共同溝) 【(福島県会津若松市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 252 号七日町無電柱化事業★ 【(福島県会津若松市)	(R3 年度工事中)④】
(一)矢巾停車場線又兵工新田工区無電柱化事業★ 【(岩手県矢巾町)	(R3 年度工事中)④】
(主)仙台泉線(無電柱化) 【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④】
(主)大館停車場線 御成町工区(無電柱化)★ 【(秋田県大館市)	(R3 年度工事中)④】
(主)上山蔵王公園線 蔵王温泉(2)(無電柱化)★ 【(山形県山形市)	(R3 年度用地取得中)④】
一般国道 8 号 新潟 8 号電線共同溝 【黒埼地区(新潟県新潟市)★	(R3 年度測量設計中)④】
【大通西(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④】
【南区根岸(新潟県新潟市)★	(R3 年度工事中)④】
【柿崎(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)④】
【柿崎その2(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)④】
【長浜(新潟県上越市)★	(R3 年度測量設計中)④】
【須沢(新潟県糸魚川市)	(R3 年度測量設計中)④】
一般国道 17 号 新潟 17 号電線共同溝 【湯沢地区(新潟県湯沢町)★	(R3 年度工事中)④】
【六日町Ⅱ(新潟県南魚沼市) ★	(R3 年度工事中)④】
【六日町Ⅲ(新潟県南魚沼市) ★	(R3 年度工事中)④】
【小出地区(新潟県魚沼市)	(R3 年度工事中)④】
【小出地区Ⅱ(新潟県魚沼市) ★	(R3 年度工事中)④】
一般国道 18 号 新潟 18 号電線共同溝 【関山(新潟県妙高市)	(R3 年度測量設計中)④】
一般国道 116 号 新潟 116 号電線共同溝 【西川地区(新潟県新潟市)★	(R3 年度測量設計中)④】
【西区山田(新潟県新潟市)★	(R3 年度工事中)④】
【美咲町(新潟県新潟市) ★	(R3 年度工事中)④】
一般国道 116 号 新潟 116 号交通安全対策 【吉田下中野地区 自転車歩行者道整備(新潟県燕市)	(R3 年度工事中)④】
都市計画道路 出来島上木戸線無電柱化事業 【出来島(新潟県新潟市)	(R3 年度用地取得中)④】
<b>■港湾施設の災害リスク軽減</b>	
秋田港本港地区航路泊地整備事業 【(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)[R12 年度までに完成未定]③】
八戸港八太郎・河原木地区航路泊地整備事業★ 【(青森県八戸市)	(R3 年度工事中)④】
岩船港 航路(-3.5m~-7.5m)埋没浚渫事業 【(岩船地区(新潟県村上市)	(R3 年度工事中)④】
新潟港西港区航路泊地整備事業★ 【(西港区(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④】

重点施策	指標
■教訓を活かした新たな防災・減災対策の推進 (水害対策)	

<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進</li> </ul>	<p>[KPI-4]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 級水系及び 2 級水系において、流域治水プロジェクトを策定している水系数 R 元年度 0 → R7 年度 47</li> <li>流域治水として流域対策に取り組む市町村数 R2 年度 52 市町村 → R7 年度 200 市町村</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>事前防災等による水害発生の防止</li> </ul>	<p>[KPI-5]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 級、2 級河川における戦後最大洪水等に対応した河川の整備率 (1 級河川)R 元年度 59% → R7 年度 71% (2 級河川)R 元年度 55% → R7 年度 67%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>利水ダムを含む既存ダムの洪水調節機能の強化</li> </ul>	<p>[KPI-6]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前放流の実施体制が整った水系の割合 R 元年度 0% → R3 年度 100%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口・資産が集中する地域や近年甚大な被害が発生した地域等における水害対策の推進(下水道整備等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水害時における下水処理場等の機能確保率 R 元年度 0% → R8 年度 100%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水害リスク空白域の解消の推進</li> </ul>	<p>[KPI-18](再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水防法に基づき、最大クラスの洪水が発生した場合に浸水が想定される範囲等の情報を把握し、周知している 1 級河川、2 級河川数 R2 年度 282 河川 → R7 年度 1,900 河川</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水害リスクの情報の公開推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国が運用するシステムにより、最大クラスの洪水が発生した場合に浸水が想定される範囲等の情報を公開している河川数 R2 年度 95 河川 → R7 年度 1,900 河川</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術を活用した河川管理の高度化による防災・減災の取組を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準水位・流量観測所における自動流量観測導入率 R2 年度 0% → R7 年度 100%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>最大クラスの洪水に対応した洪水浸水想定 の指定、ハザードマップの作成、訓練実施の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大クラスの洪水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練、情報伝達訓練、マイ・タイムライン作成講習会等)を実施した市区町村数 R2 年度 47 → R7 年度 180</li> </ul>
(高潮対策)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>海面上昇等の気候変動影響に適応した海岸保全の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動影響を防護目標に取り込んだ海岸の数 R 元年度 0 → R7 年度 7</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ゼロメートル地帯等における海岸堤防等の津波・高潮対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸堤防等の整備率〔全国指標〕 R 元年度 53% → R7 年度 64%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸侵食の防止・砂浜の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海面上昇等の影響にも適応可能となる順応的な砂浜の管理が実施されている海岸の数〔全国指標〕 R2年度 1 → R7年度 20</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>最大クラスの高潮に対応した浸水想定区域図の作成及びハザードマップの作成の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高潮浸水想定区域を指定している都道府県数 R2年度 0 → R7年度 7</li> </ul>
(土砂災害対策)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の中心集落等を結ぶ重要交通網を保全する土砂災害対策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要交通網が保全対象に含まれている要対策箇所における対策実施率 R 元年度 約 38% → R7 年度 約 41%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の中心集落における市町村役場等を保全する土砂災害対策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所、町役場、村役場及び支所が保全対象に含まれている要対策箇所における対策実施率 R 元年度 約 21% → R7 年度 約 23%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害を対象としたハード・ソフトの施策を組み合わせ土砂災害に強い地域づくり及びハザードエリアからの居住移転を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害ハザードマップにおける土砂災害警戒区域の新規公表数 R 元年度 0 箇所 → R7 年度 4,660 箇所</li> </ul>
<p>■切迫する地震・津波等の災害に対するリスクの軽減</p>	

(耐震化等の地震対策)	
・大規模地震に備えた河川管理施設の地震・津波対策	[KPI-7] ・大規模地震が想定されている地域等において対策が必要な①河川堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)②水門・樋門等の耐震化率 ①河川堤防等 R元年度 88% → R7年度 100% ②水門・樋門等 R元年度 74% → R7年度 100%
・大規模地震が想定される地域等における海岸堤防等の耐震対策	・南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の耐震化率〔全国指標〕 R元年度 56% → R7年度 59% [KPI-13](再掲) ・海岸：大規模地震が想定されている地域等における水門・陸閘等の安全な閉鎖体制の確保率 R元年度 58% → R7年度 71%
・下水道施設の耐震化を推進	[KPI-7] ・災害時における主要な管渠及び下水処理場等の機能確保率 ①管渠 R元年度 54% → R7年度 61% ②処理場 R元年度 54% → R7年度 59% ③ポンプ場 R元年度 36% → R7年度 42%
・地域の防災拠点となる施設等の耐震化	[KPI-7] ・官庁施設の耐震基準を満足する割合 R元年度 91% → R7年度 100%
・切迫する大地震に備え、大規模盛土造成地の滑動崩落の危険性を把握する取組を推進	・大規模盛土造成地の安全性を把握する調査に着手した実施率 R元年度 13% → R7年度 60%
・復興まちづくりのための事前準備の推進	・復興まちづくりのための事前準備に取り組んでいる地方公共団体の割合 R2年度 41.6% → R7年度 61%
(火山噴火対策)	
・火山噴火に起因する土砂災害への対策の促進	・火山噴火時における降灰厚把握手法の整備に着手した火山の割合 R元年度 0% → R7年度 約100%
(津波対策)	
・津波災害警戒区域の指定及びハザードマップの作成、訓練実施の推進	・津波災害警戒区域を指定している県の数 R2年度 1 → R7年度 4
・津波による船舶事故軽減に資する港湾強靱化の推進	・災害時の対応や訓練結果等を踏まえ、港湾の事業継続計画(港湾 BCP)を改訂した港湾(重要港湾以上)の割合 R2年度 0% → R7年度 100%
・「A2-BCP」(空港業務継続計画)の実効性強化対策及び「空港におけるイレギュラー時の適切な対応および体制の確保」	・「A2-BCP」(空港業務継続計画)に基づく訓練などの毎年度8月までの実施率 R2年度 100% → 毎年度 100%
■災害時における交通機能の確保(交通・物流の機能確保のための事前対策の推進)	
(交通・物流の機能確保のための事前対策の推進)	
・格子状骨格道路ネットワークの整備の推進	
<b>期待されるストック効果</b>	
・各河川における河川整備により、例えば、平成27年9月の関東・東北豪雨で浸水被害が発生した吉田川上流において、床上浸水対策特別緊急事業による遊水地整備や河道掘削等により同規模の洪水に対して約300戸の家屋の浸水被害が防止される他、平成29年7月の豪雨で浸水被害が発生した雄物川において、河川激甚災害対策特別緊急事業による堤防整備等により同規模の洪水に対して約700戸の家屋の浸水被害が防止され	

るなど、効果が期待できる。

- ・これまで、山形～秋田間は、通勤・通学や買い物、病院などの交流が多く、日常的に県境を越えた交流が行われている。秋田・山形県境沿岸部の主要幹線道路は、国道7号のみであり、災害等で寸断された場合は、多大な迂回が発生する。日本海沿岸東北自動車道酒田～由利本荘区間の整備により、広域迂回のリスクが解消されるとともに、県境を越える交流の促進が期待される。
- ・一般国道17号浦佐バイパスを整備することにより、十分な路肩が確保され、冬期間における円滑な交通が確保されることにより、基幹病院へのアクセス性が向上し、救命率の向上が期待される。
- ・一般国道253号では、急峻な地形のため線形不良箇所が多く、特に冬期間は凍結や積雪等により速度低下や登坂不能、事故等が多発しており、その解消のために八箇峠を整備しており、救急医療体制や日常生活を支える道路として機能することが期待される。
- ・高規格道路のミッシングリンクの解消や暫定2車線の4車線化等による幹線道路ネットワークの整備・強化、緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、港湾の耐震強化岸壁の整備、空港施設における耐震強化や災害拠点空港機能等の整備を推進することにより、更なる迅速かつ安定的な被災地の救援・復旧活動の展開が期待される。

#### 「インフラ経営」の取組

- ・関係省庁により策定された「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本的方針」に基づき、1級水系において抜本的に拡大した事前放流※の取組を全国の2級水系に展開する。

※大雨の時により多くの洪水をダムに貯められるよう、大雨により河川が増水する前に利水ダム等の貯水を予め放流してダムの貯水位を下げておくこと。

## 小目標1-3: 圏域全体や圏域を越えた広域での災害対応に必要な体制や機能の確保・向上 (重点施策の概要)

- 災害対応を担う建設業者や行政職員の人材確保・育成、災害協定締結支援や連携体制強化、自治体と運送事業者との災害協定締結支援、防災道の駅の拡充など被災地への支援を効率的に進めるための後方支援拠点の整備を含めた広域防災拠点の整備・強化、交通・物流・情報の基盤及びネットワークの整備・構築、国民との情報共有等により、平時から災害対応、被災地支援のための広域的な体制を確保・充実する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[8]国・県・市町村における建設キャリアアップシステム活用工事の導入

(注釈: 建退共電子申請方式を建設キャリアアップシステム活用工事として当該機関が導入していること)

【R2年度 実績値なし → R7年度末 100%】

[9]避難計画及び事業継続計画等の策定推進による非常時の体制確保

- 公共土木施設の被災状況調査を行う TEC-FORCE 隊員の ICT 機器等を活用するための訓練・研修・講習等への参加率

【R元年度 34% → R7年度 100%】

- 最大クラスの洪水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練、情報伝達訓練、マイ・タイムライン作成講習会等)を実施した市区町村数(再掲)

【R2年度 47 → R7年度 180】

- 最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図を作成した団体数

【R元年度 1 → R7年度 96】

### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①: ~R5年度、②: ~R7年度、③: ~R12年度頃、④: 完成時期未定]

[ ] 内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印: 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる

\*初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■現場の担い手確保を推進

【国・県・市町村における建設キャリアアップシステム活用工事の導入の推進 (R3年度推進中)②】

【東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」の推進 (R3年度推進中)④】

【若手・女性技術者の登用を促進する業務・工事の拡大等による取組を推進 (R3年度推進中)④】

【公共工事の品質確保と担い手確保に向けた発注者による取組を推進 (R3年度推進中)④】

##### ■各自治体等に関する連携

【近隣自治体等において防災等に関する連携協定や、防災意識向上につながる訓練等の推進 (R3年度推進中)④】

##### ■自治体と運送事業者との災害協定締結支援

【災害物流連絡会等により自治体の災害協定締結を促進 (R3年度推進中)④】

##### ■土地等の円滑な利活用及び適正な管理に向けた所有者不明土地等対策の推進

【土地等の円滑な利活用及び適正な管理に向けた所有者不明土地等対策の推進 (R3年度推進中)④】

##### ■事前防災や被災後の迅速な復旧・復興等に貢献する地籍調査の推進

【事前防災や被災後の迅速な復旧・復興等に貢献する地籍調査の推進 (R3年度推進中)④】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■TEC-FORCE 隊員の対応能力向上と資機材の ICT 化・高度化

【首都直下地震等他圏域での TEC-FORCE 活動計画を踏まえた訓練等の実施及び資機材の高度化(R3年度推進中)②】

【TEC-FORCE 隊員の訓練や研修による技術力の向上・強化、災害対策機械等の装備の充実など、危機管理対策を強化 (R3年度推進中)④】

##### ■「防災道の駅」制度等による防災機能強化

【災害時に広域的な復旧・復興活動拠点となる「道の駅」を選定し、ハード・ソフト両面から対策を強化した「防災道の駅」の推進 (R3年度推進中)④】

【地域防災計画に位置付けられた「道の駅」におけるBCPの策定を推進 (R3年度推進中)②】

##### ■大規模災害・自然災害に備えた調査・計画の策定等

【土砂災害警戒区域等に関する基礎調査、最大クラスの洪水・内水に対応した浸水区域図・洪水ハザードマップを作成す



- るなど、企業や住民の災害リスクへの認知度を向上させ、主体的な避難行動を促進 (R3 年度推進中)④】
- 地理空間情報の整備・更新・提供  
【広域的な救援活動を支援する地理空間情報整備・更新・提供の推進 (R3 年度推進中)④】
- 【インフラの利活用】
- 高架区間等を活用した避難施設  
【直轄国道等に避難施設（避難階段等）の整備を行い、災害時の地域の避難機能を強化★ (R3 年度推進中)④】
- 【選択と集中の徹底】
- 防災・減災の拠点の形成
- 青森市アリーナプロジェクト推進事業★  
【(青森県青森市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
  - 中央公園整備事業★  
【(岩手県盛岡市) (R3 年度用地取得中)(R6 年度完成)②】
  - 宮城県広域防災拠点整備事業★  
【(宮城県仙台市) (R3 年度測量設計中)④】
  - 国営越後丘陵公園の整備★  
【国営越後丘陵公園(新潟県長岡市) (R3 年度工事中)(R7 年度完成)②】
  - (仮称)阿賀野総合公園の整備 ★  
【(仮称)阿賀野総合公園(新潟県阿賀野市) (R3 年度工事中)(R4 年度完成)①】

重点施策	指 標
<b>■危機管理体制の確保</b>	
・社会資本整備を支える現場の担い手確保を推進	[KPI-8] ・国・県・市町村における建設キャリアアップシステム活 用工事の導入 (注釈: 建退共電子申請方式を建設キャリアアップシ ステム活用工事として当該機関が導入していること) R2 年度 実績値なし → R7 年度末 100%
・TEC-FORCE 隊員の対応能力向上と資機材の ICT 化・高度化	[KPI-9] ・公共土木施設の被災状況調査を行う TEC-FORCE 隊 員の ICT 機器等を活用するための訓練・研修・講習等 の参加率 R2 年度 34% → R7 年度 100%
・洪水、内水、高潮、津波等に対応したハザードマップ作 成、訓練実施等の推進(再掲)	[KPI-9] ・最大クラスの洪水に対応したハザードマップを作成・公 表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練、 情報伝達訓練、マイ・タイムライン作成講習会等)を実 施した市区町村数 R2 年度 47 → R7 年度 180  [KPI-9] ・最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図を作成し た団体数 R 元年度 1 団体 → R7 年度 96 団体
・広域的な復旧・復興の活動拠点となる「道の駅」の防 災機能強化	・高潮浸水想定区域を指定している県の数 R2 年度 0 → R7 年度 7 ・津波災害警戒区域を指定している県の数 R2 年度 1 → R7 年度 4  ・地域防災計画に位置付けられた「道の駅」における BCP 策定率 R 元年度 4% → R7 年度 100%
<b>期待されるストック効果</b>	
・国営みちのく杜の湖畔公園において、東日本大震災時に、甚大な被害を受けた沿岸部の復旧活動のため、全 国各地から応援にかけつけた災害対策車両の集結基地として、駐車場や広場を使用した。各地方整備局か ら、排水ポンプ車や照明車、連絡車が集結したほか、電力会社の復旧用車両も含め、約 2 ヶ月間で、延べ約	

3,300 台の車両基地として活用された。また、園内のヘリポートは、宮城県の防災ヘリポートとなっており、防災拠点としての役割も担っている。

#### 「インフラ経営」の取組

・道路の高架区間等を津波や洪水時の緊急避難場所として活用できる避難階段を三陸沿岸道路等に整備を行う。また、整備した施設を活用した関係機関・住民等が連携した避難訓練を実施する。

## 重点目標2:持続可能なインフラメンテナンス

### 目指すべき姿

予防保全に基づくインフラメンテナンスへの本格転換による維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や、新技術等の普及促進によるインフラメンテナンスの高度化・効率化等を進め、インフラが持つ機能が将来にわたって適切に発揮できる、持続可能なインフラメンテナンスを実現する。

### 現状と課題

将来にかかる維持管理・更新費用を抑制する観点から、「予防保全」によるメンテナンスサイクルへの移行が重要であるが、予防保全の管理水準を既に下回った状態の施設が多数存在する。このため、これら施設の集中的な修繕等を行い、「予防保全」への本格転換を早期に図ることが必要である。

厳しい気象条件や複雑な地形のもとにある東北ブロックのインフラでは、維持管理の即応性や専門性も求められるが、人口減少や高齢化による行政コスト増加に伴い、維持管理財源不足や維持管理に携わる人的資源不足となり、多くの自治体で適切な維持管理を継続できない事態が生じており、これらの対応と合わせて、インフラメンテナンスの生産性や効率化を図る新技術の活用も必要である。

社会情勢や地域構造の変化に応じて必要の無くなったインフラの廃止・除却、集約・再編の取組により、インフラストックを適正化する必要がある。

## 小目標2-1:計画的なインフラメンテナンスの推進

### (重点施策の概要)

- 加速化するインフラの老朽化に対応するとともに、メンテナンスに係る費用が国や地方の財政を圧迫することのないよう、「事後保全」から「予防保全」への本格転換により、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や負担の平準化を図るとともに、早期の安全・安心の確保を図る。
- 行政の縦割りを排除し、地方公共団体や民間企業等が連携したインフラメンテナンス体制の確保を図る。
- 復興事業により同時期に大量に整備された社会資本のメンテナンスにも配慮する。
- 定期的な現地調査や観測機器の監視業務を通じて、損傷が軽微な段階で修繕を実施する予防保全型維持管理を実施する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[10]予防保全型インフラメンテナンスの転換に向けた施設の修繕率

【道路(橋梁・舗装)、河川、ダム、砂防、海岸、下水道、港湾、空港、公園、官庁施設の各分野】

[11]観測施設(測量標):年次計画に基づく観測施設(測量標)修繕の実施率

【R元年度 100%→R7年度 100%】

[12]地方公共団体等で維持管理に関する研修を受けた人数

【道路、河川/ダム/砂防/下水道、港湾の各分野】

### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①:~R5年度、②:~R7年度、③:~R12年度頃、④:完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印:「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる  
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■道路メンテナンス会議の推進

【全ての道路管理者が参加し、連携・協力した道路メンテナンス会議の推進

(R3年度推進中)④】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■防災インフラの管理の効率化・高度化と予防保全の推進

【老朽化した河川管理施設の修繕・更新の集中的実施と河川管理施設操作の無動力化、遠隔監視・操作化を推進

(R3年度推進中)④】

##### ■地方公共団体等におけるインフラメンテナンス体制の確保

【地方公共団体等で維持管理に関する研修を受講する取組を推進

(R3年度推進中)④】

##### ■現場の担い手確保を推進

【東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」の推進

(R3年度推進中)④】

【産学官による潜水士等の担い手の確保・育成に係る連絡調整会議の実施

(R3年度推進中)④】

##### ■予防保全型維持管理への転換に向けた点検の実施

【近接目視による点検実施による損傷進行前の対策実施(宮城県仙台市)

(R3年度推進中)④】

##### ■使用料を活用したインフラメンテナンス

【適切なメンテナンスを推進するため、下水道使用料等の収入面、維持修繕費等の支出面の更なる適正化

(R3年度推進中)④】

#### 【インフラの利活用】

##### ■既存港湾施設の「予防保全型」インフラメンテナンスの実施

【仙台塩釜港(塩釜港区)、荻浜港の維持管理計画書に基づく施設の長寿命化対策(宮城県)

(R3年度推進中)④】

#### 【選択と集中の徹底】

##### ■橋梁・トンネルの老朽化対策の推進

(主)三沢十和田線古間木橋

【(青森県三沢市)

(R3年度工事中)④】

一般国道101号大間越トンネル★

【(青森県深浦町) 一般国道 454 号宇樽部スノーシェッド	(R3 年度工事中)④
【(青森県十和田市) (主)角田山元線角田橋橋梁修繕事業	(R3 年度測量設計中)④
【(宮城県角田市) 一般国道 108 号仙秋鬼首トンネル防災設備更新事業など	(R3 年度工事中)④
【(宮城県大崎市) (主)仙台北環状線新生瀬橋	(R3 年度工事中)④
【(宮城県仙台市) (主)秋田雄和本荘線水沢橋	(R3 年度工事中)④
【(秋田県秋田市) 一般国道 285 号秋田峠トンネル	(R3 年度工事中)④
【(秋田県五城市) 一般国道 103 号上日暮スノーシェッド	(R3 年度工事中)④
【(秋田県鹿角市) 一般国道 347 号長島橋修繕	(R3 年度工事中)④
【(山形県村山市) 一般国道 115 号方木田跨線橋修繕	(R3 年度工事中)④
【(福島県福島市) 一般国道 252 号早戸トンネル修繕	(R3 年度工事中)④
【(福島県三島町) 一般国道 118 号芦ノ原スノーシェッド修繕	(R3 年度工事中)④
【(福島県下郷町) 一般国道 18 号妙高大橋架替	(R3 年度工事中)④
【(新潟県妙高市) 一般国道 8 号糸魚川地区橋梁架替Ⅱ	(R3 年度工事中)[R3 年完成]①
【(新潟県上越市、糸魚川市、朝日町) 一般国道 351 号 道路メンテナンス事業	(R3 年度工事中)④
【(長生橋(新潟県長岡市) (主)小千谷川口大和線 道路メンテナンス事業	(R3 年度工事中)④
【(蘭木トンネル(新潟県小千谷市)	(R3 年度工事中)④
<b>■河川施設等の老朽化対策の推進</b>	
綾里川ダム★	
【(岩手県大船渡市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①
網取ダム★	
【(岩手県盛岡市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②
滝ダム★	
【(岩手県久慈市)	(R3 年度測量設計中)[R7 年度完成]②
阿賀野川圏域大規模更新砂防等事業★	
【(福島県)	(R3 年度工事中)[R7 年度までに完成]②
下条川ダム堰堤改良事業 ★	
【(下条川ダム(新潟県加茂市)	(R3 年度測量設計中)④
山の下閘門排水機場特定構造物改築事業 ★	
【(山の下閘門排水機場(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④
信濃川中流圏域砂防設備等緊急改築事業 ★	
【(砂防設備等 緊急改築(新潟県長岡市、魚沼市、十日町市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②
玉ノ木地区大規模更新砂防等事業★	
【(玉ノ木地区(新潟県糸魚川市)	(R3 年度工事中)②
<b>■港湾施設の老朽化対策の推進</b>	
荻浜港小積地区防波堤鉄筋コンクリート被覆等★	
【(宮城県石巻市)	(R3 年度測量設計中)④
仙台塩釜港(塩釜港区)岸壁(-7.5m)電気防食取付(貞山ふ頭 4 号栈橋)等	
【(宮城県塩釜市)	(R3 年度測量設計中)④
能代港防災・安全交付金事業(北防波堤改良)★	
【(秋田県能代市)	(R3 年度工事中)④
仙台塩釜港(塩釜港区)岸壁(-1.5m)電気防食取付(牛生さん橋)等	
【(宮城県塩竈市)	(R3 年度測量設計中)④
青森港予防保全事業★	
【(青森県青森市)	(R3 年度工事中)④

能代港予防保全事業★ 【(秋田県能代市)	(R3 年度工事中)(R12 年度までに完成未定)③
秋田港予防保全事業★ 【(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)(R12 年度までに完成未定)③
相馬港予防保全事業★ 【(福島県相馬市、新地町)	(R3 年度測量設計中)(R12 年度までに完成未定)③
新潟港(西港区)万代島予防保全事業★ 【(西港区万代島(新潟県新潟市)	(R3 年度測量設計中)④
新潟港(西港区)水産 2 号(-6.0m)岸壁改良事業★ 【(西港区水産2号岸壁(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④
■海岸施設の老朽化対策の推進 新潟港海岸堤防等老朽化対策緊急事業(新潟港海岸)★ 【(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④
■空港施設の老朽化対策の推進 新潟空港老朽化対策事業 【(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④
■公園の長寿命化対策の推進 秋田県内公園施設長寿命化対策支援事業★ 【(秋田県秋田市、北秋田市 他)	(R3 年度工事中)④
山形県内公園施設長寿命化対策支援事業★ 【(山形県天童市、酒田市 他)	(R3 年度工事中)④
国営みちのく杜の湖畔公園の長寿命化対策★ 【(宮城県川崎町)	(R3 年度工事中)④
国営越後丘陵公園の長寿命化対策★ 【(新潟県長岡市)	(R3 年度工事中)④
鳥屋野潟公園の長寿命化対策★ 【(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④
■下水道施設の老朽化対策の推進 下水道施設の改築、老朽化対策 【下水道施設改築更新事業(秋田臨海処理センター(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)(R5 年度完成)①
【下水道施設改築更新事業(宮城県白石市他)	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)①
【下水道施設改築更新事業(山形県天童市)	(R3 年度工事中)(R6 年度完成)②
【下水道施設改築更新事業(都南浄化センター)★(岩手県盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町)(R3 年度工事中)(R6 年度完成)②(再掲)】	
【阿賀野川流域下水道事業老朽化対策(新潟県新潟市他)	(R3 年度工事中)④
【新潟市船見下水処理場 改築(新潟県新潟市)	(R3 年度測量設計中)④
【新潟市中部下水処理場 改築(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④
【信濃川下流域下水道事業老朽化対策(新潟県新潟市他)	(R3 年度工事中)④
【西川流域下水道事業老朽化対策(新潟県新潟市他)	(R3 年度工事中)④
【魚野川流域下水道事業老朽化対策(新潟県魚沼市他)	(R3 年度工事中)④
【新潟県内下水処理場 改築更新(新潟県長岡市他)	(R3 年度工事中)④

重点施策	指標
■ 予防保全の考え方に基づくインフラメンテナンスへの転換	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防保全の管理水準を下回る状態のインフラに対して、計画的・集中的な修繕等を実施する。</li> <li>・ インフラの機能を回復させ、「事後保全」から「予防保全」の考え方に基づくインフラメンテナンスへ転換し、中長期的な維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [KPI-10] 予防保全型インフラメンテナンスの転換に向けた施設の修繕率</li> <li>・ 河川： 予防保全の考え方に基づく内水排除施設等の長寿命化対策実施率 R 元年度 0% → R7 年度 100%</li> <li>・ ダム： 健全度評価において速やかに措置と判定されたダム関係施設の解消率 R2 年度 95% → R7 年度 100%</li> <li>・ 砂防： 健全度評価において要対策と判定された砂防関係施設の解消率 R 元年度 89.9% → R7 年度 90.8%</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸: 予防保全に向けた海岸堤防等の対策実施率 〔全国指標〕 R元年度84%→R7年度87%</li> <li>・下水道: 計画的な点検調査に基づく下水道管路の老朽化対策を完了した延長の割合 R元年度 0% → R7年度 100%</li> <li>・港湾: 老朽化した港湾施設のうち、予防保全型の対策を導入し、機能の保全及び安全な利用等が可能となった割合 R2年度 78% → R7年度 83%</li> <li>・空港: 予防保全を適切に実施した割合 R元年度 100% → R7年度 100%</li> <li>・公園: 予防保全の考え方に基づく都市公園長寿命化対策実施率 R元年度 27% → R7年度 100%</li> <li>・官庁施設: R2年度時点で措置が必要な官庁施設の長寿命化対策実施率 R2年度 0% → R7年度 100%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な現地調査や観測機器の監視業務を通じて、損傷が軽微な段階で修繕を実施する予防保全型維持管理を実施する。</li> </ul>	<p>[KPI-11]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観測施設(測量標): 年次計画に基づく観測施設(測量標)修繕の実施率 R元年度 100% → R7年度 100%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水調節容量内に堆積した土砂等の撤去により、ダムの貯水能力の向上や、ダムへの土砂流入の低減を図り、ダム下流の河川氾濫による被害を減少。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水調節容量内の堆砂の解消率(国、水資源機構管理ダム) R2年度 61% → R7年度 83%</li> <li>・恒久的堆砂対策が必要なダムの解消率(都道府県管理ダム) R2年度 50% → R7年度 80%</li> </ul>
<p>■地方公共団体等におけるインフラメンテナンス体制の確保</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くのインフラを管理する地方公共団体等においてインフラメンテナンスを適切に実施していくため、研修や講習の実施により、職員の技術力向上を推進する。</li> </ul>	<p>[KPI-12]地方公共団体等で維持管理に関する研修を受けた人数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路 R元年度 508人 → R7年度 790人</li> <li>・港湾 R元年度 194人 → R7年度 356人</li> </ul>
<p>■使用料を活用したインフラメンテナンス</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能で計画的なインフラ維持管理を行うにあたり、インフラの整備及び減耗コストに対応した、利用者からの使用料の活用を推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道: 適切なメンテナンスを推進するため、下水道使用料等の収入面、維持修繕費等の支出面の更なる適正化に取り組む団体数 R2年度 2団体 → R7年度 196団体</li> </ul>
<p><b>期待されるストック効果</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防保全に基づくインフラメンテナンスへの本格転換を図り、持続的・効率的なインフラメンテナンスを実現することにより、将来にわたって安全・安心な社会経済活動が維持されることが期待される。</li> </ul>	
<p><b>「インフラ経営」の取組</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンスに係る費用について、「事後保全」から「予防保全」への本格転換により、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や負担の平準化を図る。</li> </ul>	

## 小目標2-2:新技術の活用等によるインフラメンテナンスの高度化・効率化

### (重点施策の概要)

- デジタル技術の進捗やポストコロナ時代の「新たな日常」を踏まえ、インフラメンテナンス国民会議を通じた新技術のシーズとニーズのマッチング支援、維持管理情報のデータベース化・管理者間連携の取組により、インフラメンテナンスの高度化・効率化を図る。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[11]観測施設(測量標):基本情報、健全性等の情報の集約化・電子化の割合

【R元年度 100%→R7年度 100%】

### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①:~R5年度、②:~R7年度、③:~R12年度頃、④:完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印:「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■インフラメンテナンス国民会議の推進

【産学官民が一丸となって取組むインフラメンテナンス国民会議の推進

(R3年度推進中)④】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■管理におけるデジタル化の推進

【インフラメンテナンスに関する情報の蓄積、基本情報等の電子化、データベース化などの環境整備の推進

(R3年度推進中)④】

【スマートフォン・タブレットを活用したインフラ管理

(R3年度推進中)④】

【電子基準点現地調査の実施

(R3年度推進中)④】

##### ■新技術の導入・普及の推進

【インフラメンテナンス新技術の開発・普及の推進

(R3年度推進中)④】

#### 【インフラの利活用】

##### ■CCTVを活用した道路管理

【CCTVカメラの画像・動画等を活用した効率的な道路管理

(R3年度推進中)④】

#### 【既存施設の集約・再編】

##### ■包括管理委託の導入

【道路・河川等を包括した管理委託の推進

(R3年度推進中)④】

重点施策	指標
<b>■維持管理に係るデータ利活用の促進</b> ・データ利活用によるインフラメンテナンスの高度化・効率化を図るため、点検結果などのインフラに関する情報の蓄積、データベース化などの環境整備を促進する。	・下水道:管路施設のマネジメントにむけた基本情報等の電子化の割合 R2年度 26% → R7年度 100% ・空港:維持管理にかかる情報のデータベースへ登録した施設管理者の割合 R2年度 60% → R7年度 100% ・官庁施設:基本情報、健全性等の情報の集約化・電子化の割合割合 R元年度 100% → R7年度 100% [KPI-11] ・観測施設(測量標):基本情報、健全性等の情報の集約化・電子化の割合 R元年度 100% → R7年度 100%
<b>期待されるストック効果</b>	
・新技術等の導入促進によるインフラメンテナンスの高度化・効率化等を進め、インフラが持つ機能が将来にわ	



たって適切に発揮できる、持続可能なインフラメンテナンスを実現する。

「インフラ経営」の取組

・インフラメンテナンスに関して新技術等の導入促進など、メンテナンスの生産性向上に向けた取組の推進を図る。

## 小目標2-3:集約・再編等によるインフラストックの適正化

### (重点施策の概要)

- ・ 持続可能なインフラメンテナンスを構築するため、人口減少等による地域社会の変化や将来のまちづくり計画等を踏まえ、必要性の減少や地域のニーズ等に応じたインフラの廃止・除却や機能転換等を行う「集約・再編」へと本格転換する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[13]施設の集約・再編等に向けた取組数

- ・ 道路:施設の集約・撤去、機能縮小の検討自治体の割合  
【R元年度 14% → R7年度 100%】
- ・ 海岸:大規模地震が想定されている地域等における水門・陸閘等の安全な閉鎖体制の確保率  
【R元年度 58% → R7年度 71%】
- ・ 港湾:既存施設の統廃合・機能の集約化及び転換を検討した港湾の割合  
【R元年度 36% → R7年度 100%】

### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①: ~R5年度、②: ~R7年度、③: ~R12年度頃、④: 完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印:「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■インフラ再編等の推進

- 【自治体において、施設の集約・撤去、機能縮小を検討 (R3年度推進中)④】
- 【水門・陸閘等の安全な閉鎖体制の確保を推進 (R3年度推進中)④】
- 【港湾の既存施設の統廃合・機能の集約化及び転換を検討 (R3年度推進中)②】

#### 【既存施設の集約・再編】

##### ■橋梁の集約・撤去

- 【必要な機能の代替、集約を図ったうえで老朽化した橋梁を撤去する。 (R3年度推進中)④】

#### 【選択と集中の徹底】

##### ■橋梁

- (一)大ケ生徳田線徳田橋  
【(岩手県盛岡市・矢巾町) (R3年度工事中)④】
- (町)大平橋線大平橋撤去事業  
【(山形県白鷹町) (R3年度工事中)④】
- (町)湯ノ上線橋梁撤去事業  
【(福島県金山町) (R3年度測量設計中)④】

##### ■都市施設(下水道)の集約・再編の推進

- 下水道管路施設整備事業(松山幹線)  
【(山形県酒田市、鶴岡市、庄内町、三川町) (R3年度測量設計中)[R6年度完成]②】
- 下水道の広域化  
【広域化・共同化計画検討事業(青森県平川市) (R3年度測量設計中)[R4年度完成]①】  
【広域化・共同化計画検討事業(岩手県内) (R3年度測量設計中)[R4年度完成]①】  
【広域汚泥資源化事業(県南地区)(秋田県横手市他) (R3年度測量設計中)[R6年度完成]②】  
【魚野川流域下水道事業広域化(新潟県南魚沼市) (R3年度調査・検討中)④】  
【栄処理区 農集統合接続管渠整備(新潟県三条市) (R3年度工事中)④】  
【し尿受入施設整備(新潟県柏崎市) (R3年度工事中)④】  
【妙高高原処理区処理場処理系列整備(新潟県妙高市) (R3年度工事中)④】  
【浦川原処理区污水連携(新潟県上越市) (R3年度工事中)④】

重点施策	指 標
<p><b>■集約・再編等の取組推進</b></p>	
<p>・社会情勢や地域構造の変化や将来のまちづくり計画を踏まえ、既存インフラの廃止・除却・集約化や、利用者ニーズに沿ったインフラ再編等の取組の推進により、持続可能な都市・地域の形成、ストック効果の更なる向上を図る。</p>	<p>[KPI-13]施設の集約・再編等に向けた取組数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路:施設の集約・撤去、機能縮小の検討自治体の割合 R元年度 14% → R7年度 100%</li> <li>・海岸:大規模地震が想定されている地域等における水門・陸閘等の安全な閉鎖体制の確保率 R元年度 58% → R7年度 71%</li> <li>・港湾:既存施設の統廃合・機能の集約化及び転換を検討した港湾の割合 R元年度 約36% → R7年度 100%</li> </ul>
<p><b>期待されるストック効果</b></p>	
<p>・人口減少等による地域社会の変化や将来のまちづくり計画等を踏まえ、必要性の減少や地域のニーズ等に応じたインフラの廃止・除却や機能転換等を行う「集約・再編」へと本格転換し、持続可能なインフラメンテナンスを構築する。</p>	
<p><b>「インフラ経営」の取組</b></p>	
<p>・老朽化した小規模な樋門等の無動力化、排水機場等の遠隔監視・操作化を行い、操作の安全性・確実性の確保を図る。</p>	

## 重点目標3:持続可能で暮らしやすい地域社会の実現

### 目指すべき姿

地域の核への集約を図りながら地域内・地域外をネットワークでつなぐ多核連携型の国土づくりを進め、テレワークや二地域居住等の新しい暮らし方、働き方、住まい方を支えるための基盤を構築し、東北ブロックが東京一極集中の是正の受け皿として、地方分散のトップランナーを目指すとともに、人口減少・高齢化が顕著な東北であるからこそ、高齢者、障がい者、子ども、子育て世代等、全ての人が安全・安心で不自由なく生活できるバリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくりを推進し、持続可能で暮らしやすい地域社会・地方創生を実現する。

### 現状と課題

圏土面積の約8割が豪雪地帯である東北ブロックでは、国・県道における冬期通行不能区間が全延長の約8%と全国最長であるとともに、近年では、令和2年度の冬期において、東北道のホワイトアウトによる多重事故及び高速道路の通行止め等が発生するなど、雪に起因する事故・通行止め等が発生しており、降雪・積雪が日常生活や経済活動に影響を与えているため、冬期、積雪時の安全・安心確保が必要である。さらに、定住促進、交流や観光振興の観点から、高齢者、障がい者、子ども、子育て世代、域外からの来訪者や訪日外国人等の多様な人々が、安全・安心かつ不自由なく生活や移動ができる環境、すなわちバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進が必要である。

全国に先駆けて人口減少と高齢化が進む東北ブロックでは、若年層人口が進学や就職を契機として首都圏へ流出し、既に、中山間地域や沿岸部・離島地域等では、高齢者単身世帯の増加、集落消滅の懸念、地域の担い手不足等の深刻な問題が発生している。また、商店街の空き店舗率は全国平均を上回り、中心市街地の空洞化や路線バスの廃止が増加する等、都市や生活基盤の衰退が表面化している。このため、圏域内の各都市や農山漁村それぞれがコンパクトで効率的な持続可能性の高いまとまりを形成するとともに、まとまりの中、まとまり相互をネットワークでつなぐ、コンパクト・プラス・ネットワークの推進が必要である。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、デジタル化やIoT技術活用を前提としたリモートワーク、ワーケーション等の多様な働き方の形態、二地域居住、地方移住等の新しい暮らし方、働き方、住まい方を選択する機運、BCPの観点から本社機能の分散等を検討する動きも高まっており、東京圏からの人の分散と地方への人の流れの創出を図る「人を惹きつける地域づくり」が求められている。東京圏との近接性や充実した交通ネットワーク、地価の安さ、豊かな自然環境等、東北ブロックが有する強みを活かしきる投資により、東北圏への人の流れを創出、拡大、定着させ、我が国の課題解決を図る必要がある、(一社)東北経済連合会においても、令和2年10月に地方分散のトップランナーとなるための旗印として、「デュアルライフ東北」の実現を掲げた「ポストコロナ・5つの提言」を策定している。

## 小目標3-1: 雪の克服とバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

### (重点施策の概要)

- 冬期における安全・安心な通行を確保するため、スノーシェッド、防雪柵整備等の雪崩・地吹雪等対策を推進する。また、消融雪施設(流雪溝等)、堆雪帯等による冬期歩行空間の確保を推進するとともに、地域住民との協働やボランティアサポートプログラムを活用した歩道除雪を推進する。
- 除雪優先区間の設定や、早めの通行止めによる迅速な除雪の実施、高速道路と一般道路等の道路管理者間及び関係機関との連携除雪体制を強化する。
- 人口減少の中で、安全・安心の確保を前提として、多様な地域が、それぞれの個性や魅力を発揮しつつ、生活サービス等の機能を維持できる持続可能な社会を実現するため、平時のみならず、豪雨や降雪時、災害時等も想定し、ゆとりある歩行空間、自転車通行空間の確保、交差点改良、無電柱化等、道路の安全・安心の確保を図る。
- 市町村におけるバリアフリーに関する基本構想等の策定と、その推進体制を強化し、維持・更新から整備に係る総合的なバリアフリー推進を図る。
- 交通拠点及び車両のバリアフリー化、デジタル技術を活用した情報提供や安全確保等、便利で安全にすべての人が移動できる環境や空間を整備する。
- 旅客施設や車両等のハード面でのバリアフリー対策を進めるとともに、ソフト面でも「心のバリアフリー」を推進し、高齢者、障がい者、子ども、子育て世代等の多様な人々が、安全・安心かつ不自由なく移動できる地域づくりを進める。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[14]通学路における歩道等の整備率

【R元年度 57% → R7年度 60%】

### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■除雪の効率化や冬期における交通環境整備

【除雪対策事業 (R3年度推進中)④】

【ボランティアサポートプログラムによる歩道除雪の推進 (R3年度推進中)④】

【関係機関と連携による除雪体制の強化 (R3年度推進中)④】

【関係機関が連携した大雪等による通行止めに関する事前情報の発表 (R3年度推進中)④】

##### ■関係機関の連携による通学路安全対策の推進

【通学路安全対策の推進 (R3年度推進中)④】

【交通安全対策(事故対策事業)の推進(新潟県新潟市他) (R3年度推進中)④】

##### ■道路整備を効率的に組合わせた生活道路対策の推進

【生活道路におけるゾーン30等による30km/h速度規制等とハンブ・狭さく等の整備を組合わせた事故対策の取組を推進 (R3年度推進中)④】

##### ■航空・空港の安全の確保

【滑走路端安全区域(RESA)の整備 ④】

##### ■総合的なバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

【東北ブロックユニバーサルデザイン推進本部の設置による基本構想等はじめ整備・更新の加速化 (R3年度推進中)④】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■ICTを活用した除雪の効率化

【除排雪車運行管理システム・除雪作業自動化・効率化の推進	(R3 年度推進中)④
■ICT 交通マネジメント	
【交通マネジメント及び交通弱者対策へのビッグデータ・AI技術の展開	(R3 年度推進中)④
■ハード・ソフトが一体となった高速道路等の逆走対策	
【高速道路等における物理的・視覚的逆走対策及び逆走防止の啓発活動の実施	(R3 年度推進中)④
■冬期の移動手手段確保の支援	
【道の駅等を拠点とした自動運転サービス	(R3 年度推進中)④
■交通拠点・車両・旅客施設等のバリアフリー対策の推進	
【交通拠点及び車両、旅客施設等のバリアフリー対策(ハード・ソフト)による便利で安全にすべての人が移動できる環境や空間の整備を推進	(R3 年度推進中)④
【既存施設の集約・再編】	
■無電柱化の推進	
【無電柱化により歩道の有効幅員を広げることで、通行空間の安全性・快適性を確保する	(R3 年度推進中)④
【選択と集中の徹底】	
■安全安心な冬期通行の確保	
一般国道 4 号目時登坂車線整備	
【(青森県三戸町)	(R3 年度工事中)④
一般国道 7 号矢立登坂車線整備	
【(青森県平川市)	(R3 年度工事中)④
一般国道 7 号鶴ヶ坂地区事故対策	
【(青森県青森市)	(R3 年度工事中)④
一般国道 47 号馬場地区歩道整備	
【(宮城県大崎市)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 4 号国見地区付加車線整備	
【(宮城県白石市)	(R3 年度測量設計中)④
【(福島県国見町)	(R3 年度工事中)④
一般国道 47 号西原付加車線整備	
【(宮城県大崎市)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 48 号作並付加車線整備	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度用地取得中)④
一般国道 7 号坊沢付加車線整備	
【(秋田県北秋田市)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 7 号糠沢付加車線整備	
【(秋田県北秋田市)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 49 号菅沢付加車線整備	
【(福島県柳津町)	(R3 年度工事中)④
(一)蒔田五所川原線蒔田橋★	
【(青森県五所川原市)	(R3 年度工事中)④
(主)盛岡横手線若畑地区堆雪帯整備事業	
【(岩手県西和賀町)	(R3 年度工事中)④
一般国道 398 号湯浜スノーシェッド	
【(宮城県栗原市)	(R3 年度工事中)④
一般国道 344 号雪崩対策事業(北青沢工区)	
【(山形県酒田市)	(R3 年度工事中)④
一般国道 8 号新潟地区交通対策	
【(新潟県新潟市、聖籠町)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 454 号 宇樽部スノーシェッド	
【(青森県十和田市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
一般国道 103 号上日暮スノーシェッド	
【(秋田県鹿角市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
一般国道 118 号芦ノ原スノーシェッド修繕	
【(福島県下郷町)	(R3 年度工事中)④(再掲)
■歩行空間の整備や道路のバリアフリー化の推進	
一般国道 45 号松島歩道整備	
【(宮城県松島町)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 45 号道珍浜地区事故対策	
【(宮城県松島町)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 281 号大川目地区歩道整備事業	
【(岩手県久慈市)	(R3 年度工事中)④

(一)胆沢金ヶ崎線永沢地区歩道整備事業 【(岩手県金ヶ崎町)	(R3 年度工事中)④】
(一)花輪千徳線田鎖地区歩道整備事業 【(岩手県宮古市)	(R3 年度工事中)④】
(主)紫波江繋線赤沢地区歩道整備事業 【(岩手県紫波町)	(R3 年度工事中)④】
(主)盛岡和賀線大瀬川地区歩道整備事業 【(岩手県花巻市)	(R3 年度工事中)④】
(主)八戸大野線向田地区歩道整備事業 【(岩手県洋野町)	(R3 年度工事中)④】
(一)夏油温泉江釣子線寺田地区歩道整備事業 【(岩手県北上市)	(R3 年度工事中)④】
(市)南町通 1 号線(仙台駅西口駅前広場工区) 【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④】
(主)寒河江村山線中河原地区 【(山形県寒河江市)	(R3 年度用地取得中)④】
一般国道 458 号金沢工区★ 【(山形県中山町)	(R3 年度用地取得中)④】
(主)福島吾妻裏磐梯線 北谷地歩道整備 【(福島県福島市)	(R3 年度用地取得中)④】
<b>■関係機関の連携による通学路安全対策の推進</b>	
一般国道 45 号吉浜歩道整備 【(岩手県大船渡市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 45 号種市歩道整備 【(岩手県洋野町)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 13 号十文字歩道整備 【(秋田県横手市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 13 号醍醐歩道整備 【(秋田県横手市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 13 号横手栄歩道整備 【(秋田県横手市)	(R3 年度用地取得中)④】
一般国道 48 号新田歩道整備 【(山形県東根市)	(R3 年度工事中)④】
一般国道 48 号山口歩道整備 【(山形県天童市)	(R3 年度用地取得中)④】
一般国道 113 号飯豊歩道整備 【(山形県飯豊町)	(R3 年度工事中)④】
<b>■道路交通事故対策の推進</b>	
一般国道 7 号戸山地区交差点改良 【(青森県青森市)	(R3 年度測量設計中)④】
一般国道 4 号村崎野地区交差点改良 【(岩手県北上市)	(R3 年度用地取得中)④】
一般国道 4 号川久保交差点改良 【(岩手県盛岡市)	(R3 年度測量設計中)④】
一般国道 49 号北柳原交差点改良 【(福島県会津若松市)	(R3 年度測量設計中)④】
木町通地区 【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④】
(一)福島安達線油井交差点改良 【(福島県二本松市)	(R3 年度用地取得中)④】
一般国道 8 号 新潟地区交通対策 【新潟地区(新潟県新潟市～聖籠町)	(R3 年度測量設計中)④】
一般国道 7 号 新潟 7 号交通安全対策 【秣川岸地区 事故対策事業(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④】
【東港線十字路 事故対策事業(新潟県新潟市)	(R3 年度測量設計中)④】
【竹尾 IC 事故対策事業(新潟県新潟市)	(R3 年度測量設計中)④】
【檜原地区 交通安全対策事業(新潟県村上市)	(R3 年度用地取得中)④】
一般国道 8 号 新潟 8 号交通安全対策 【大通西交差点 改良事業(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④】

【下須頃 事故対策事業(新潟県三条市)	(R3 年度測量設計中)④
【猪子場新田南地区 事故対策事業(新潟県三条市)	(R3 年度工事中)④
【一ツ屋敷地区 事故対策事業(新潟県三条市)	(R3 年度工事中)④
【上新田南交差点 事故対策事業(新潟県見附市)	(R3 年度工事中)④
【大積地区 事故対策事業(新潟県長岡市)	(R3 年度測量設計中)④
【法音寺 ゆずり車線設置事業(新潟県上越市)	(R3 年度用地取得中)④
【柿崎馬正面交差点 事故対策事業(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)④
【国府交差点 事故対策事業(新潟県上越市)	(R3 年度測量設計中)④
【藤崎西 事故対策事業(新潟県糸魚川市)	(R3 年度測量設計中)④
【海川橋西詰交差点 事故対策事業(新潟県糸魚川市)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 17 号 新潟 17 号交通安全対策	
【上一日市地区 歩道整備事業(新潟県南魚沼市)	(R3 年度工事中)④
【塩沢駅入口交差点 事故対策事業(新潟県南魚沼市)	(R3 年度測量設計中)④
【五十嵐入口交差点 事故対策事業(新潟県南魚沼市)	(R3 年度工事中)④
【小出警察署前交差点 事故対策事業(新潟県魚沼市)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 49 号 新潟 49 号交通安全対策	
【姥ヶ山 事故対策事業(新潟県新潟市)★	(R3 年度工事中)④
【横越地区 事故対策事業(新潟県新潟市)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 116 号 新潟 116 号交通安全対策	
【吉田下中野地区 自転車歩行者道整備事業(新潟県燕市)	(R3 年度工事中)④
(主)佐渡一周線 道路整備 岩谷口～松ヶ崎★	
【(新潟県佐渡市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
<b>■無電柱化の推進</b>	
青森 45 号電線共同溝(城下地区電線共同溝)	
【(青森県八戸市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
青森 104 号電線共同溝(売市地区電線共同溝)★	
【(青森県八戸市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
岩手 45 号電線共同溝(大船渡地区電線共同溝)★	
【(岩手県大船渡市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
岩手 45 号電線共同溝(鶴住居地区電線共同溝)	
【(岩手県釜石市)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①(再掲)
岩手 45 号電線共同溝(山田地区電線共同溝)	
【(岩手県山田町)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①(再掲)
岩手 45 号電線共同溝(神林地区電線共同溝)	
【(岩手県宮古市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
岩手 45 号電線共同溝(磯鶏地区電線共同溝)★	
【(岩手県宮古市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
岩手 45 号電線共同溝(石崎地区電線共同溝)	
【(岩手県宮古市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
岩手 45 号電線共同溝(藤原地区電線共同溝)★	
【(岩手県宮古市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
岩手 46 号電線共同溝(永井地区電線共同溝)	
【(岩手県盛岡市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
宮城 4 号電線共同溝(桜地区電線共同溝)	
【(宮城県岩沼市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
宮城 4 号電線共同溝(富谷地区電線共同溝 PFI)	
【(宮城県富谷市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
宮城 45 号電線共同溝(扇町地区電線共同溝)★	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
宮城 45 号電線共同溝(扇町地区(第2期)電線共同溝)	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
宮城 45 号電線共同溝(福室地区電線共同溝)	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
宮城 45 号電線共同溝(下馬地区電線共同溝)★	
【(宮城県多賀城市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
宮城 45 号電線共同溝(錦町地区電線共同)	
【(宮城県多賀城市、塩釜市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
宮城 108 号電線共同溝(前田町地区電線共同溝)★	



【(宮城県大崎市) 宮城 108 号電線共同溝(諏訪地区電線共同溝)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(宮城県大崎市) 秋田 7 号電線共同溝(土崎南地区電線共同溝)★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(秋田県秋田市) 秋田 7 号電線共同溝(豊町地区電線共同溝)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(秋田県大館市) 秋田 7 号電線共同溝(長倉地区電線共同溝)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(秋田県大館市) 秋田 7 号電線共同溝(桂城地区電線共同溝)★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(秋田県大館市) 秋田 7 号電線共同溝(有浦地区電線共同溝)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(秋田県大館市) 秋田 13 号電線共同溝(川尻地区電線共同溝)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(秋田県秋田市) 福島 4 号電線共同溝(松山町地区電線共同溝)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(福島県福島市) 福島 4 号電線共同溝(黒岩地区電線共同溝)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(福島県福島市) 福島 49 号電線共同溝(会津若松地区電線共同溝)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(福島県会津若松市) 福島 49 号電線共同溝(亀賀地区電線共同溝)★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(福島県会津若松市) 福島 49 号電線共同溝(一箕町地区電線共同溝)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(福島県会津若松市) (一)矢巾停車場線又兵工新田工区無電柱化事業★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(岩手県矢巾町) (主)仙台泉線	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(宮城県仙台市) (主)大館停車場線御成町工区★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(秋田県大館市) (主)上山蔵王公園線蔵王温泉(2)★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(山形県山形市) 一般国道 252 号七日町無電柱化事業★	(R3 年度用地取得中)④(再掲)
【(福島県会津若松市) 一般国道 8 号 新潟 8 号電線共同溝	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県新潟市) 黒埼地区(新潟県新潟市)★	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(新潟県新潟市) 大通西(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県新潟市) 南区根岸(新潟県新潟市)★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県上越市) 柿崎(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県上越市) 柿崎その2(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県上越市) 長浜(新潟県上越市)★	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(新潟県糸魚川市) 須沢(新潟県糸魚川市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
一般国道 17 号 新潟 17 号電線共同溝	
【(新潟県湯沢町) ★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県南魚沼市) ★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県南魚沼市) ★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県魚沼市) 小出地区(新潟県魚沼市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県魚沼市) ★	(R3 年度工事中)④(再掲)
一般国道 18 号 新潟 18 号電線共同溝	
【(新潟県妙高市) 関山(新潟県妙高市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
一般国道 116 号 新潟 116 号電線共同溝	
【(新潟県新潟市)★	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(新潟県新潟市)★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県新潟市) ★	(R3 年度工事中)④(再掲)
一般国道 116 号 新潟 116 号交通安全対策	
【(新潟県燕市) 吉田下中野地区 自転車歩行者道整備(新潟県燕市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
都市計画道路 出来島上木戸線無電柱化事業	

重点施策	指 標
<b>■移動及び交通の安全性確保</b>	
(道路交通)	
・次世代を担う子供の安全な通行空間を確保	[KPI-14] ・通学路における歩道等の整備率 R元年度 57% → R7年度 60%
・車両の速度抑制や通過交通の抑制の徹底等による生活道路等における人優先の道路空間の形成(30km/h速度規制等の交通規制とハンプ・狭さく等の道路整備を効果的に組合せた生活道路対策の推進)	・ゾーン 30 等による 30km/h 速度規制等とハンプ・狭さく等の道路整備を組合せた対策による生活道路等における死傷事故抑止率 - → R7年度 R元年比約 3割抑止
・幹線道路において事故の危険性が高い箇所に対する重点的な交通事故抑止対策(交差点改良、右折レーンの設置、交通安全施設等の整備等)を推進	・幹線道路における事故危険箇所における死傷事故抑止率 - → R7年度 R元年比約 3割抑止
(航空交通)	
・航空・空港の安全の確保	・滑走路端安全区域(RESA)が確保されている空港の割合 R元年度 22.2% → R7年度 88.9% ・ハイジャック及びテロの発生件数 R2年度 0件 → R3年度以降 0件を維持
<b>期待されるストック効果</b>	
<p>・スノーシェッドの整備、防雪柵の整備などの雪崩・地吹雪等対策や、積雪に対応した歩行空間・自転車利用空間の整備を進めることにより、安全かつ円滑な道路交通が確保され、厳冬期でも社会経済活動が維持されることが期待される。</p> <p>・交差点改良等の交通事故対策を進めることによって、交通事故が減少し、道路利用者や地域住民の安全性が向上するとともに、道路や鉄道駅等のバリアフリー化を進めることによって、あらゆる人が円滑に移動可能となり、高齢者、障害者等にも配慮した安全で安心して暮らせる生活環境に寄与することが期待される。</p> <p>・身近な生活道路での速度低減や進入抑制対策を進めることで、子供の移動経路などの交通事故が減少し、人優先の安全・安心な歩行空間が確保される。</p>	
<b>「インフラ経営」の取組</b>	
・道路協力団体制度を活用した道路空間の利活用と維持管理の実施。	

## 小目標3-2:コンパクト・プラス・ネットワークによる美しく力強い空間・地域拠点を形成

### (重点施策の概要)

- ゆとりある空間の形成に取り組むにつつ、中心拠点や生活拠点に、医療・福祉・商業等の生活サービス機能や居住を誘導するとともに、公共交通網を始めとするネットワークで結び、良好な景観や歴史・文化・風土を活かした魅力的なコンパクトシティの形成を推進する。さらにコンパクトなまちづくりとあわせて、農山漁村地域の暮らしを支えていくこと、近隣の市町村で助け合っていくことに取り組む東北発コンパクトシティを目指す。
- 企業の地方移転を始めとした新たな人の流れや地域間の交流を支えるための基盤を構築するため、コンパクトに集積した地域や拠点を、道路、鉄道、航空、港湾など様々な交通ネットワークにより繋ぐ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の取組を拡大する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[15]コンパクトな集積拠点の形成を支援する都市計画道路(幹線道路)の整備率

【H29年度 59.3% → R7年 62.6%】

### 目標の達成に寄与する主要取組

〔完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定〕

〔 〕内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる  
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■立地適正化計画の策定

【各主体が連携した立地適正化計画の策定 (R3年度推進中)④】

##### ■交通結節機能の強化

【鉄道駅、道の駅、高速道路ICの交通結節点強化等による交通拠点化の推進 (R3年度推進中)④】

##### ■データの共有や検討体制

【各県渋滞対策協議会による関係機関でのETC2.0等のビッグデータ共有や検討の推進 (R3年度推進中)④】

##### ■道の駅の拠点形成

【道の駅等を拠点とした自動運転サービス (R3年度推進中)④】

##### ■歴史的・文化的資産の活用

【歴史的集落・町並み保存に向けた支援 (R3年度推進中)④】

【景観計画策定に向けた支援 (R3年度推進中)④】

##### ■地域公共交通計画と併せた立地適正化計画の推進

【公共交通の充実を図る地域公共交通計画と併せた立地適正化計画の作成等の取組を推進 (R3年度推進中)④】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■道路空間の新たな利活用推進

【地方公共団体と地域住民・団体等が一体となって取組む沿道飲食店等の路面利用の占用許可基準緩和を踏まえた道路空間の新たな利活用推進 (R3年度推進中)④】

【自転車ネットワーク計画の策定促進 (R3年度推進中)④】

【コミュニティサイクルの導入促進 (R3年度推進中)④】

##### ■地域公共交通の確保

【地域公共交通計画の策定促進 (R3年度推進中)④】

【地域公共交通確保維持改善事業等を活用し、地域一体となった地域公共交通の活性化・継続を支援 (R3年度推進中)④】

#### 【インフラの利活用】

##### ■道路空間の新たな利活用推進

【地方公共団体と地域住民・団体等が一体となって取組む沿道飲食店等の路面利用の占用許可基準緩和を踏まえた道路空間の新たな利活用推進 (R3年度推進中)④】

#### 【既存施設の集約・再編】

##### ■都市構造再編集中支援の推進

【立地適正化計画に基づき、持続可能で強靱な都市構造への再編を図る。

(R3 年度推進中)④】

## 【選択と集中の徹底】

### ■都市機能の高度化や快適性の向上

- 【青森操車場跡地周辺地区＜都市構造再編集中支援事業＞他 6 地区  
(青森県青森市、他 4 都市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
- 【大崎市中心市街地地区＜都市構造再編集中支援事業＞(宮城県大崎市) (R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】
- 【都南中央第三地区＜都市構造再編集中支援事業＞他 2 地区  
(岩手県盛岡市、二戸市) (R3 年度工事中)(R6 年度完成)②】
- 【大館駅前地区＜都市構造再編集中支援事業＞他 1 地区(秋田県大館市、大仙市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
- 【山形市中心拠点地区＜都市構造再編集中支援事業＞他 5 地区  
(山形県山形市、他 5 都市) (R3 年度工事中)(R7 年度完成)②】
- 【麓山地区＜都市構造再編集中支援事業＞他 7 地区(福島県郡山市、他 5 都市) (R3 年度工事中)(R7 年度完成)②】
- 【北上工業団地周辺地区＜都市再生整備計画事業＞他 1 地区  
(岩手県北上市、紫波町) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
- 【志津川交流拠点地区＜都市再生整備計画事業＞(宮城県南三陸町) (R3 年度工事中)(R4 年度完成)①】
- 【本宮市街地地区(第 2 期)＜都市再生整備計画事業＞他 2 地区  
(福島県本宮市、他 2 都市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
- 【相川地区都市再生整備計画事業(新潟県佐渡市) (R3 年度工事中)(R6 年度完成)②】
- 【三条市中心市街地地区(第二期)都市構造再編集中支援事業(新潟県三条市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
- 【第 2 期見附駅前周辺地区都市構造再編集中支援事業(新潟県見附市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
- 【長岡市中心市街地地区都市構造再編集中支援事業(新潟県長岡市) (R3 年度工事中)④】
- 【長岡市栃尾地区都市構造再編集中支援事業(新潟県長岡市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
- 【西小千谷市街地地区都市構造再編集中支援事業(新潟県小千谷市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】
- 【越後湯沢駅周辺地区都市構造再編集中支援事業(新潟県湯沢町) (R3 年度工事中)(R6 年度完成)②】
- 【糸魚川駅北地区都市構造再編集中支援事業(新潟県糸魚川市) (R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】

### JR 信越本線等連続立体交差事業★

- 【新潟駅信越・白新線 立体交差化(新潟県新潟市) (R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】

### ■交流・連携を支援するネットワーク整備(バイパス・拡幅等)

宮古盛岡横断道路一般国道 106 号田鎖墓日道路[残事業費 300 億円(R 元年度評価時点)★

- 【(岩手県宮古市) (R3 年度測量設計中)④(再掲)】

宮古盛岡横断道路一般国道 106 号箱石達曾部道路[残事業費 470 億円(R2 年度評価時点)]

- 【(岩手県宮古市) (R3 年度測量設計中)④(再掲)】

新庄酒田道路一般国道 47 号新庄古口道路★

- 【(山形県新庄市) (R3 年度工事中)(R4 年度完成)①(再掲)】

新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号梨郷道路★

- 【(山形県長井市、川西町、南陽市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①(再掲)】

新庄酒田道路一般国道 47 号高屋道路

- 【(山形県戸沢村) (R3 年度工事中)(R6 年度完成)②(再掲)】

新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号小国道路金丸～松岡[残事業費 350 億円(H30 年度評価時点)]

- 【(山形県小国町) (R3 年度用地取得中)④(再掲)】

- 【(新潟県関川村) (R3 年度用地取得中)④(再掲)】

新庄酒田道路一般国道 47 号高屋防災

- 【(山形県戸沢村) (R3 年度測量設計中)④(再掲)】

新庄酒田道路一般国道 47 号戸沢立川道路[残事業費 220 億円(R2 年度評価時点)]

- 【(山形県戸沢村、庄内町) (R3 年度測量設計中)④(再掲)】

会津縦貫南道路一般国道 121 号湯野上バイパス★

- 【(福島県下郷町) (R3 年度工事中)(R7 年度完成)②(再掲)】

宮城県北高速幹線道路(主)築館登米線 III 期佐沼工区

- 【(宮城県登米市) (R3 年度工事中)(R3 年度完成)①(再掲)】

会津縦貫南道路一般国道 121 号下郷田島バイパス★

- 【(福島県下郷町、南会津町) (R3 年度工事中)④(再掲)】

会津縦貫北道路一般国道 121 号若松北バイパス★

- 【(福島県会津若松市) (R3 年度測量設計中)④(再掲)】

新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号鷹ノ巣道路下川口～片貝[残事業費 138 億円(H30 年度評価時点)★

- 【(新潟県関川村) (R3 年度工事中)④(再掲)】

新潟南北道路一般国道 7 号栗ノ木道路 沼垂東～鏡[残事業費 102 億円(H29 年度評価時点)★

- 【(新潟県新潟市) (R3 年度工事中)④(再掲)】

新潟南北道路一般国道 7 号紫竹山道路 鏡～紫竹山[残事業費 138 億円(H29 年度評価時点)★

- 【(新潟県新潟市) (R3 年度工事中)④(再掲)】

- 新潟東西道路一般国道 116 号 新潟西道路 明田～曾和 [残事業費 300 億円(H30 年度評価時点)]★  
 【(新潟県新潟市) (R3 年度用地取得中)④(再掲)】  
 上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号上越三和道路鶴町 IC～(仮称)三和 IC[残事業費 522 億円(H28 年度評価時点)]★  
 【(新潟県上越市) (R3 年度工事中)④(再掲)】他  
 上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号三和安塚道路(仮称)三和 IC～浦川原 IC★  
 【(新潟県上越市) (R3 年度工事中)④(再掲)】  
 上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号十日町道路北鑑坂～八箇 IC [残事業費 620 億円(H30 年度評価時点)]  
 【(新潟県十日町市) (R3 年度測量設計中)④(再掲)】  
 上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号八箇峠道路野田 IC～(仮称)余川 IC [残事業費 68 億円(R 元年度評価時点)]★  
 【(新潟県南魚沼市) (R3 年度工事中)④(再掲)】  
 松本糸魚川連絡道路一般国道 148 号松糸・今井道路山本～上刈  
 【(新潟県糸魚川市) (R3 年度測量設計中)④(再掲)】

## ■道路ネットワークの整備推進

- (主)東北横浜線戸鎖★  
 【(青森県六ヶ所村) (R3 年度工事中)④】  
 一般国道 280 蓬田～蟹田バイパス★  
 【(青森県蓬田村) (R3 年度工事中)④】  
 一般国道 101 追良瀬Ⅱ期バイパス★  
 【(青森県深浦町) (R3 年度工事中)④】  
 一般国道 279 木野部★  
 【(青森県むつ市) (R3 年度測量設計中)④】

## ■道の駅の整備

- 一般国道 4 号道の駅「(仮称)もりおか」  
 【(岩手県盛岡市) (R3 年度測量設計中)④】  
 一般国道 45 号道の駅「(仮称)久慈広域」  
 【(岩手県久慈市) (R3 年度工事中)④】  
 一般国道 45 号道の駅「やまだ」  
 【(岩手県山田町) (R3 年度工事中)④】  
 一般国道 13 号道の駅「(仮称)蔵王」  
 【(山形県山形市) (R3 年度工事中)④】

## ■かわまちづくり等の推進

- 青森県における良好な河川環境の整備  
 【(青森県むつ市) (R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】  
 高瀬川総合水系環境整備事業  
 【(青森県三沢市、東北町、六ヶ所村) (R3 年度工事中)(R3 年度完成)①】  
 米代川総合水系環境整備事業  
 【(秋田県能代市、北秋田市、大館市) (R3 年度事業中)(R6 年度完成)②】  
 名取川総合水系環境整備事業[残事業費 2.3 億円(R2 年度評価時点)]  
 【(宮城県名取市) (R3 年度工事中)(R10 年度完成)③】  
 最上川総合水系環境整備事業[残事業費 7 億円(R 元年度評価時点)]  
 【(山形県真室川町、舟形町、大石田町、戸沢村、新庄市、中山町、山形市、河北町、大江町、寒河江市、高畠町、米沢市、朝日町、長井市、白鷹町、村山市、庄内町) (R3 年度工事中)(R11 年度完成)③】  
 赤川総合水系環境整備事業[残事業費 12 億円(R 元年度評価時点)]  
 【(山形県鶴岡市、三川町) (R3 年度工事中)(R11 年度完成)③】  
 北上川総合水系環境整備事業[残事業費 20 億円(H28 年度評価時点)]  
 【(岩手県一関市、平泉町、奥州市、北上市、西和賀町、花巻市、紫波町、盛岡市) (R3 年度工事中)(R12 年度完成)③(再掲)】  
 【(宮城県石巻市、大崎市、登米市、美里町) (R3 年度工事中)(R12 年度完成)③(再掲)】  
 阿武隈川総合水系環境整備事業[残事業費 8.3 億円(R2 年度評価時点)]  
 【(福島県福島市、本宮市、桑折町、玉川村) (R3 年度工事中)(R12 年度完成)③】

## ■コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの推進

- 八戸駅西土地区画整理事業★  
 【(青森県八戸市) (R3 年度工事中)(R10 年度完成)③】  
 太田地区土地区画整理事業★  
 【(岩手県盛岡市) (R3 年度工事中)(R6 年度完成)②】  
 道明地区土地区画整理事業★  
 【(岩手県盛岡市) (R3 年度工事中)(R5 年度完成)①】  
 新幹線二戸駅周辺地区土地区画整理事業★

【(岩手県二戸市) 青山南地区新駅整備事業	(R3 年度工事中)[R16 年度完成]④】
【(岩手県盛岡市) 秋田駅東第三地区土地区画整理事業★	(R3 年度用地取得中)[R4 年度完成]①】
【(秋田県秋田市) 秋田駅西北地区土地区画整理事業★	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③】
【(秋田県秋田市) 御成町南地区土地区画整理事業★	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③】
【(秋田県大館市) 鶴岡市茅原北土地区画整理事業★	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
【(山形県鶴岡市) 伊賀河原土地区画整理事業	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①】
【(福島県郡山市) 徳定土地区画整理事業★	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③】
【(福島県郡山市) 勿来錦第一土地区画整理事業★	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
【(福島県いわき市) 鏡石駅東第一土地区画整理事業★	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③】
【(福島県鏡石町) 坂下東第一土地区画整理事業★	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③】
【(福島県会津坂下町) 会津田島駅周辺地区土地区画整理事業★	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
【(福島県南会津町) 中新町山手地区第一種市街地再開発事業	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③】
【(青森県青森市) 中ノ橋通一丁目地区第一種市街地再開発事業	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
【(岩手県盛岡市) 横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業	(R3 年度測量設計中)[R9 年度完成]③】
【(秋田県横手市) 福島駅東口地区第一種市街地再開発事業	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
【(福島県福島市) 郡山駅前一丁目第二地区第一種市街地再開発事業	(R3 年度測量設計中)[R7 年度完成]②】
【(福島県郡山市) 大崎市古川七日町西地区第一種市街地再開発事業	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
【(宮城県大崎市) いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
【(福島県いわき市) 田名部まちなか地区まちなかウォークラブル推進事業	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
【(青森県むつ市) 仙台都心地区まちなかウォークラブル推進事業	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
【(宮城県仙台市) 都市計画道路 盛岡駅本宮線(杜の大橋)★	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
【(岩手県盛岡市) 都市計画道路 下鶴飼御庭田線(鶴飼八人打)	(R3 年度工事中)④】
【(岩手県滝沢市) 都市計画道路 荒瀬上田面線(岩谷橋)★	(R3 年度用地取得中)④】
【(岩手県二戸市) 都市計画道路 大更駅前線★	(R3 年度工事中)④】
【(岩手県八幡平市) 都市計画道路 上野西法寺線(高善寺)★	(R3 年度工事中)④】
【(岩手県一戸町) 都市計画道路 愛宕町三ツ割線(山岸四丁目)★	(R3 年度用地取得中)④】
【(岩手県盛岡市) 都市計画道路 沼館三日町線(内丸)★	(R3 年度用地取得中)④】
【(青森県八戸市) 都市計画道路 西滝新城線(新城1)★	(R3 年度工事中)④】
【(青森県青森市) 都市計画道路 白銀市川環状線(尻内)★	(R3 年度用地取得中)④】
【(青森県八戸市) 都市計画道路 千秋久保田町線★	(R3 年度工事中)④】

【秋田県秋田市】 都市計画道路 古川中央線(古川中央線)★	(R3 年度工事中)④
【宮城県大崎市】 都市計画道路 並柳福浦線(並柳福浦線)★	(R3 年度工事中)④
【宮城県大崎市】 都市計画道路 鹿島台駅前線(鹿島台駅前線)★	(R3 年度工事中)④
【宮城県大崎市】 都市計画道路 停車場栄町線(裏尾崎町)★	(R3 年度用地取得中)④
【秋田県由利本荘市】 都市計画道路 川尻広面線(横町)★	(R3 年度工事中)④
【秋田県秋田市】 都市計画道路 新屋土崎線(旭南)★	(R3 年度工事中)④
【秋田県秋田市】 都市計画道路 3・2・5 旅籠町八日町線(十日町)★	(R3 年度工事中)④
【山形県山形市】 都市計画道路 3・4・19 山王町本町線(本町一丁目)★	(R3 年度用地取得中)④
【山形県鶴岡市】 都市計画道路 3・2・5 旅籠町八日町線(本町)★	(R3 年度工事中)④
【山形県山形市】 都市計画道路 四日町山家町線★	(R3 年度用地取得中)④
【山形県山形市】 都市計画道路 中央線ほか1線★	(R3 年度工事中)④
【福島県伊達市】 都市計画道路 白河駅白坂線(向新蔵)★	(R3 年度工事中)④
【福島県白河市】 都市計画道路 搔槌小路幕ノ内線(柳町)★	(R3 年度工事中)④
【福島県いわき市】 都市計画道路 坂井四ツ谷線(御清水東)★	(R3 年度工事中)④
【福島県喜多方市】 都市計画道路 駅前北原線(原ノ町駅前広場)★	(R3 年度工事中)④
【福島県南相馬市】 都市計画道路 須賀川駅並木町線★	(R3 年度工事中)④
【福島県須賀川市】 都市計画道路 宮沢根白石線ほか1路線(舟丁)★	(R3 年度工事中)④
【宮城県仙台市】 都市計画道路 元寺小路福室線ほか1路線(五輪)★	(R3 年度工事中)④
【宮城県仙台市】 都市計画道路 南小泉茂庭線(宮沢橋)★	(R3 年度用地取得中)④
【宮城県仙台市】 都市計画道路 郡山折立線(大野田)★	(R3 年度工事中)④
【宮城県仙台市】 都市計画道路 宮沢根白石線(南鍛冶町)★	(R3 年度工事中)④
【宮城県仙台市】 都市計画道路 白銀市川環状線★	(R3 年度工事中)④
【青森県八戸市】 都市計画道路 稲葉小泉線★	(R3 年度用地取得中)④
【宮城県大崎市】 都市計画道路 小池石生線★	(R3 年度用地取得中)④
【宮城県村田町】 都市計画道路 北四番丁大衡線★	(R3 年度用地取得中)④
【宮城県大和町】 都市計画道路 吉田落合線★	(R3 年度用地取得中)④
【宮城県大和町】 都市計画道路 堤町通り浜田線★	(R3 年度用地取得中)④
【青森県青森市】 都市計画道路 紺屋町野田線★	(R3 年度工事中)④
【青森県弘前市】 都市計画道路 黒石環状線★	(R3 年度用地取得中)④
【青森県黒石市】 都市計画道路 8・7・2 号青森駅自由通路]★	(R3 年度用地取得中)④

【青森県青森市】 都市計画道路 横迎町中央2号線★	(R3年度工事中)④
【青森県むつ市】 都市計画道路 駅前大通線★	(R3年度工事中)④
【宮城県栗原市】 都市計画道路 一迫南線(2)★	(R3年度工事中)④
【宮城県栗原市】 都市計画道路 七窪蛇田線★	(R3年度工事中)④
【宮城県石巻市】 都市計画道路 朝日竹の里線★	(R3年度工事中)④
【宮城県岩沼市】 都市計画道路 中河原白石沖線★	(R3年度用地取得中)④
【宮城県岩沼市】 都市計画道路 朝日竹の里線(2)★	(R3年度用地取得中)④
【秋田県横手市】 都市計画道路 八幡根岸線★	(R3年度用地取得中)④
【秋田県由利本荘市】 都市計画道路 東西自由通路線★	(R3年度工事中)④
【山形県南陽市】 都市計画道路 3・4・5 赤湯停車場線★	(R3年度工事中)④
【山形県長井市】 都市計画道路 3・4・10 桐町成田線★	(R3年度工事中)④
【山形県酒田市】 都市計画道路 3・2・2 豊里十里塚線★	(R3年度工事中)④
【山形県鶴岡市】 都市計画道路 3・5・31 藤島駅笹花線★	(R3年度工事中)④
【山形県鶴岡市】 都市計画道路 3・6・1 道形黄金線★	(R3年度工事中)④
【山形県新庄市】 都市計画道路 3・4・4 北本町飛田線★	(R3年度工事中)④
【山形県山形市】 都市計画道路 3・4・25 東原村木沢線★	(R3年度用地取得中)④
【山形県酒田市】 都市計画道路 3・3・4 本町東大町線★	(R3年度測量設計中)④
【山形県村山市】 都市計画道路 3・4・5 村山駅東沢線★	(R3年度測量設計中)④
【山形県南陽市】 都市計画道路 3・4・5 赤湯停車場線★	(R3年度測量設計中)④
【山形県鶴岡市】 都市計画道路 3・4・3 羽黒橋加茂線★	(R3年度測量設計中)④
【山形県山形市】 都市計画道路 3・4・28 四日町山家町線★	(R3年度工事中)④
【山形県長井市】 都市計画道路 3・4・1 長井駅海田線★	(R3年度測量設計中)④
【福島県福島市】 都市計画道路 曾根田町桜木町線★	(R3年度用地取得中)④
【福島県福島市】 都市計画道路 杉妻町早稲町線★	(R3年度用地取得中)④
【福島県会津若松市】 都市計画道路 鶴ヶ城周辺地区★	(R3年度用地取得中)④
長岡市中心市街地地区まちなかウォークブル推進事業 【新潟県長岡市】	(R3年度推進中)(R4年度完成)①
都市計画道路 新潟駅西線 道路整備 【弁天～天神(新潟県新潟市)】	(R3年度用地取得中)④
都市計画道路 新潟停車場線 広場整備 【新潟駅万代広場(新潟県新潟市)】	(R3年度工事中)(R5年度完成)①
都市計画道路 黒井藤野新田線 道路整備 【下吉新田～福橋(新潟県上越市)】	(R3年度工事中)④

■新たな拠点整備



新潟駅高架下交通広場の整備

【(新潟県新潟市)

(R3 年度工事中)(R4 年度完成)①】

JR 越後線(仮称)上所駅の整備

【(新潟県新潟市)

(R3 年度測量設計中 他)④】

重点施策	指 標
<p>■コンパクトな集積拠点の形成等</p> <p>・都市計画道路(幹線道路)の整備</p>	<p>[KPI-15]</p> <p>・都市計画道路(幹線道路)の整備率 H29 年度 59.3%→ R7 年度 62.6%</p>
<p>■美しい景観・良好な環境形成</p> <p>・良好な景観形成の推進</p> <p>・歴史文化を活かしたまちづくりの推進</p>	<p>・景観計画に基づき重点的な取組を進める市区町村数 R 元年度 25→ R7 年度 43</p> <p>・歴史的風致の維持及び向上に取組む市町村数 R2 年度 10→ R7 年度 17</p> <p>・歴史的風致の維持及び向上に取組む市町村の景観計画策定率 R2 年度 60.0%→ R7 年度 82.4%</p>
<p><b>期待されるストック効果</b></p>	
<p>・一般国道47号 新庄古口道路の整備に伴い、山形県最上地域の基幹病院である県立新庄病院への救急搬送等における安定性と速達性向上を支援する。</p> <p>・新潟駅周辺の連続立体交差事業などにより、周辺商業施設の進出が期待され、周辺居住者数の増加や雇用創出効果が見込まれる。</p>	
<p><b>「インフラ経営」の取組</b></p>	
<p>・道路協力団体制度を活用した道路空間の利活用と維持管理の実施。</p>	

### 小目標3-3:東京一極集中是正の受け皿づくりに向けた多核拠点相互の共生・連携の推進 と基盤整備(二地域居住等の関係人口の拡大支援も含む、より広域的な共生・ 連携の支援)

#### (重点施策の概要)

- 居住、就業、生産や物流の拠点等の社会経済活動を支える魅力ある都市空間や都市機能の整備、道路・鉄道・空港・港湾の交通ネットワーク整備により、東京一極集中是正の受け皿を担う。

#### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[16]離島住民の生活や産業などを支える離島航路が確保されている有人離島の割合

【R元年度 100% → R7年度 100%維持】

#### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■スマートICの活用による拠点の形成

【既存の高速自動車国道の有効活用や、地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため建設・管理コストの削減が可能なスマートインターチェンジの整備を図る。 (R3年度推進中)④】

##### ■魅力ある拠点づくり

【一般国道7号 新潟駅交通ターミナル整備事業(新潟県新潟市) (R3年度測量設計中)④】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■地域公共交通計画と併せた立地適正化計画の推進

【公共交通の充実を図る地域公共交通計画と併せた立地適正化計画の作成等の取組を推進 (R3年度推進中)④(再掲)】

##### ■交通渋滞の緩和対策の推進

【各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施 (R3年度推進中)④】

#### 【インフラの利活用】

##### ■スマートICの活用による拠点の形成

【既存の高速自動車国道の有効活用や、地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため建設・管理コストの削減が可能なスマートインターチェンジの整備を図る。 (R3年度推進中)④】

#### 【選択と集中の徹底】

##### ■道路ネットワークの整備推進

宮古盛岡横断道路一般国道106号田鎖墓目道路[残事業費300億円(R元年度評価時点)]★

【(岩手県宮古市) (R3年度測量設計中)④(再掲)】

宮古盛岡横断道路一般国道106号箱石達曾部道路[残事業費470億円(R2年度評価時点)]

【(岩手県宮古市) (R3年度測量設計中)④(再掲)】

新庄酒田道路一般国道47号新庄古口道路★

【(山形県新庄市) (R3年度工事中)(R4年度完成)①(再掲)】

新潟山形南部連絡道路一般国道113号梨郷道路★

【(山形県長井市、川西町、南陽市) (R3年度工事中)(R5年度完成)①(再掲)】

新庄酒田道路一般国道47号高屋道路

【(山形県戸沢村) (R3年度工事中)(R6年度完成)②(再掲)】

新潟山形南部連絡道路一般国道113号小国道路金丸～松岡[残事業費350億円(H30年度評価時点)]

【(山形県小国町) (R3年度用地取得中)④(再掲)】

【(新潟県関川村) (R3年度用地取得中)④(再掲)】

新庄酒田道路一般国道47号高屋防災

【(山形県戸沢村) (R3年度測量設計中)④(再掲)】

新庄酒田道路一般国道47号戸沢立川道路[残事業費220億円(R2年度評価時点)]

【(山形県戸沢村、庄内町) (R3年度測量設計中)④(再掲)】

宮城県北高速幹線道路(主)築館登米線 Ⅲ期佐沼工区 【(宮城県登米市)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①(再掲)
会津縦貫南道路一般国道 121 号湯野上バイパス★ 【(福島県下郷町)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)
会津縦貫南道路一般国道 121 号下郷田島バイパス★ 【(福島県下郷町、南会津町)	(R3 年度工事中)④(再掲)
会津縦貫北道路一般国道 121 号若松北バイパス★ 【(福島県会津若松市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
(主)横手大森大内線三本柳工区★ 【(秋田県横手市)	(R3 年度工事中)④
(一)村山大石田線村山北 IC(1)名取★ 【(山形県村山市)	(R3 年度工事中)④
新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号鷹ノ巣道路下川口～片貝[残事業費 138 億円(H30 年度評価時点)]★ 【(新潟県関川村)	(R3 年度工事中)④(再掲)
新潟南北道路一般国道7号栗ノ木道路 沼垂東～鍍[残事業費 102 億円(H29 年度評価時点)]★ 【(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
新潟南北道路一般国道7号紫竹山道路 鍍～紫竹山[残事業費 138 億円(H29 年度評価時点)]★ 【(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
新潟東西道路一般国道 116 号 新潟西道路 明田～曾和 [残事業費 300 億円(H30 年度評価時点)]★ 【(新潟県新潟市)	(R3 年度用地取得中)④(再掲)
上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号上越三和道路鶴町 IC～(仮称)三和 IC[残事業費 522 億円(H28 年度評価時点)]★ 【(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】他
上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号三和安塚道路(仮称)三和 IC～浦川原 IC★ 【(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号十日町道路北鍍坂～八箇 IC [残事業費 620 億円(H30 年度評価時点)] 【(新潟県十日町市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
上越魚沼地域振興快速道路一般国道 253 号八箇峠道路野田 IC～(仮称)余川 IC [残事業費 68 億円(R 元年度評価時点)]★ 【(新潟県南魚沼市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
松本糸魚川連絡道路一般国道 148 号松糸・今井道路山本～上刈 【(新潟県糸魚川市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
<b>■交通ネットワークの連結機能の強化</b>	
東北自動車道平泉スマート IC の整備 【(岩手県平泉町)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①(再掲)
東北自動車道(仮称)花巻 PA スマート IC の整備 【(岩手県花巻市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
東北自動車道(仮称)菅生スマート IC の整備 【(宮城県村田町)	(R3 年度工事中)④(再掲)
東北自動車道(仮称)白石中央スマート IC の整備 【(宮城県白石市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
東北中央自動車道(仮称)山形 PA スマート IC の整備 【(山形県山形市)	(R3 年度用地取得中)④
東北中央自動車道(仮称)天童南スマート IC の整備 【(山形県天童市)	(R3 年度測量設計中)④
東北中央自動車道(仮称)高畠スマート IC の整備 【(山形県高畠町)	(R3 年度測量設計中)④
常磐自動車道(仮称)小高スマート IC の整備 【(福島県南相馬市)	(R3 年度用地取得中)④(再掲)
日本海沿岸東北自動車道 【(仮称)胎内スマート IC(新潟県胎内市)	(R3 年度工事中)④
北陸自動車道 【(仮称)大積スマート IC(新潟県長岡市)	(R3 年度測量設計中)④
<b>■港湾の更なる機能強化</b>	
仙台塩釜港仙台港区ふ頭再編改良事業★ 【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①
酒田港外港地区国際物流ターミナル整備事業★ 【(山形県酒田市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①
仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区国際物流ターミナル整備事業★ 【(宮城県石巻市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②

重点施策	指 標
<p>■交通ネットワーク整備等による活力ある経済・生活圏の形成</p>	
<p>・離島住民の生活や産業等を支える唯一の交通手段である離島航路の確保維持に向けた取組を推進</p>	<p>[KPI-16]離島住民の生活や産業などを支える離島航路が確保されている有人離島の割合 R 元年度 100%→ R7 年度 100%</p>
<p>期待されるストック効果</p>	
<p>・既存の高速自動車国道の有効利用や、地域生活の充実、地域の産業・観光の振興を推進するため、追加インターチェンジの整備を実施することにより、企業の進出・観光客の増加等地域経済の活性化が見込まれる。</p>	
<p>「インフラ経営」の取組</p>	
<p>・既存の高速自動車国道等において、追加インターチェンジの整備を実施することで地域拠点の利便性が向上し、地域経済の活性化が期待される。</p>	

## 重点目標4:経済の好循環を支える基盤整備(東北につぼん自立経済圏を目指して)

### 目指すべき姿

ポストコロナ時代における、持続的な経済成長の実現やリスクに強い社会経済構造の構築に向け、我が国の競争力強化等に資する日本海・太平洋2面活用を促進する物流ネットワークの構築等、社会資本の重点整備やインフラ輸出により、経済の好循環を作り上げるとともに、ポストコロナ時代において地域経済を支える観光の活性化に向けた基盤整備を行い、地域経済を再生させる。

東北ブロックの成長産業である「自動車産業」と「医療機器産業」を牽引役として、新型コロナウイルス感染症拡大による「新しい日常」や脱炭素・循環型社会実現に向けて重要性が高まる、東北が優位性を持った「半導体関連産業」、「再生可能エネルギー関連産業」、「環境・リサイクル産業」、多彩な観光資源を活かした「観光産業」を合わせ、強い地域経済を確立し、多核連携型の国づくりを支える。

### 現状と課題

我が国経済で重要な東アジアとの輸出入取引額の東北ブロック国内シェアは僅か1%、東北ブロックの訪日外国人延宿泊者数国内シェアは約1.7%であり、我が国の国際競争力・国際交流向上における東北ブロックの影響力拡大は重要課題である。

東北ブロックは、日本海と太平洋の両方に面する特性を有するほか、東北地域の自動車産業は、環境対応型自動車等で日本を牽引する拠点に成長、世界市場で拡大する医療機器産業分野では、医療機器生産額が福島県全国第11位、地域ブロックでは中部、近畿に次ぐ生産額がある。東アジア、東南アジア、北極海経由の欧米諸国との連携強化、国際分業や物流効率化等による国際競争力強化、世界に誇る日本のものづくり産業の一翼を担うとともに、日本企業の技術力を活かしてきれていない医療機器分野の成長による我が国の影響力拡大、生産性向上やエネルギー消費低減にも資する交通ネットワークや物流拠点の強化・整備、国土強靱化を図る必要がある。

東北ブロックの新型コロナウイルスによる観光産業への影響は、東北経済における観光産業のプレゼンスは他地域より高いことから、東北経済の牽引役として早急な回復を図る必要がある。訪日リピーターのインバウンド客が東北来訪で期待することに「観光地へのアクセス改善」、「案内や表示の多言語化」を挙げている。アクセス交通強化、ユニバーサルデザイン化は、国内観光客にも魅力的であり、海外渡航の本格再開時に他地域と差別化を図る東北らしいポストコロナ時代の対策が必要である。

東北ブロックの豊かな自然や特異な地形、圧倒する景観、我が国古来の伝統や文化等の観光資源は、訪日外国人の興味がモノからコト、体験や経験に移行している中で大きなポテンシャルである。また、ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>釜石ラウンドでの東北ならではの温かく厚いおもてなし、東日本大震災の経験と教訓、復興に立ち上がる人とまちの底力等、世界を魅了し、惹きつける有形無形の財産は日本の宝と言える。

東北ブロックにおける、秋田県上小阿仁村等の中山間地域における人流・物流の確保を目的とした自動運転サービスの実証実験、福島ロボットテストフィールド、東北大学次世代放射光施設や国際リニアコライダーの加速器関連産業等に関する取組は、我が国の産業が目指すべきコンセプト「Connected Industries」<sup>5</sup>に沿い、我が国経済の好循

<sup>5</sup> データを介し、機械、技術、人等、様々なものが繋がることで新たな付加価値創出と社会課題の解決を図る取組である。具体的には、自動

環を持続・拡大させ、持続的な経済成長とともに、都市や地域の課題解決と可能性を引き出し、国際的な競争力やプレゼンスの向上実現に繋がるものであり、この取組を加速させる社会資本整備を図る必要がある。

---

走行・モビリティサービス、ものづくり・ロボティクス、バイオ・素材、プラント・インフラ保安、スマートライフの5つの重点取組分野の取組を加速化、政策資源の集中投資を図り、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差等の社会課題の克服と経済発展を両立させる超スマート社会(Society5.0)の実現を目指すもの。

## 小目標4-1: 国際競争力向上やサプライチェーンの国内回帰等を支援する基盤整備(人流・物流・情報通信の基盤整備と体系構築)

### (重点施策の概要)

- 圏域を繋ぐ格子状骨格道路ネットワークの整備や、それを活用し、日本海・太平洋2面活用等を促進する空港、港湾、鉄道駅へのアクセス道路整備、国際拠点港湾・重要港湾等の機能強化、物流のデジタル・トランスフォーメーション(DX)、交通拠点の整備・機能強化、道路渋滞対策により各産業面での経済の好循環を支える。

### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる  
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■地域経済を支える物流機能強化と産業立地

- 【道路ネットワークと港湾施設などの戦略的かつ計画的推進 (R3年度推進中)④】
- 【太平洋側と日本海側の2軸構造の特性を活かした利活用に資する整備やプロモーションの推進 (R3年度推進中)④】
- 【日本海側における海上輸送網の充実に向けた日本海側港湾の利活用の推進 (R3年度推進中)④】
- 【物流の生産性向上や企業によるサプライチェーンの効率化に向けた高効率な輸送システムの構築 (R3年度推進中)④】

##### ■電力供給等を支える燃料供給基地の形成

- 【小名浜港国際物流ターミナル整備の推進 (R3年度推進中)④】

##### ■農林水産物・食品等の輸出促進

- 【海上輸送ネットワークの強化及びコールドチェーン物流を支える施設整備の推進 (R3年度推進中)④】

##### ■交通拠点の整備

- 【ターミナル性の高い交通結節点の支援と拡充 (R3年度推進中)④】
- 【仙台駅周辺における交通拠点の機能強化の必要性等の調査 (R3年度調査中)④】

##### ■官民連携による渋滞対策の推進

- 【トラック、バス等、道路利用者や大規模施設の立地者など官民連携による渋滞対策の推進 (R3年度推進中)④】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■道路を活用した取組の推進

- 【重要物流道路の指定と併せた優先的なネットワークの整備 (R3年度推進中)④】

#### 【インフラの利活用】

##### ■スマートICの活用による拠点の形成

- 【既存の高速自動車国道の有効活用や、地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため建設・管理コストの削減が可能なスマートインターチェンジの整備を図る。 (R3年度推進中)④】

#### 【選択と集中の徹底】

##### ■港湾の活用

- 【交付金事業による港湾の活用を推進(福島県相馬市) (R3年度推進中)④】

##### ■格子状骨格道路ネットワークの整備

東北縦貫自動車道八戸線一般国道45号天間林道路★

- 【(青森県七戸町) (R3年度工事中)(R4年度完成)①(再掲)】

津軽自動車道一般国道101号柏浮田道路[残事業費380億円(H29年度評価時点)]

- 【(青森県つがる市) (R3年度工事中)④(再掲)】

三陸沿岸道路一般国道45号侍浜～階上[残事業費30億円(R2年度評価時点)]

- 【(青森県階上町) (R3年度工事中)④(再掲)】

- 【(岩手県久慈市、洋野町) (R3年度工事中)④(再掲)】

宮古盛岡横断道路一般国道106号田鎖墓目道路[残事業費300億円(R元年度評価時点)]★

- 【(岩手県宮古市) (R3年度測量設計中)④(再掲)】

宮古盛岡横断道路一般国道106号箱石達首部道路[残事業費470億円(R2年度評価時点)]

- 【(岩手県宮古市) (R3年度測量設計中)④(再掲)】

秋田自動車道湯田～横手(4車線化事業)

【(秋田県横手市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(岩手県和賀町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
秋田自動車道北上西～湯田(4車線化事業)★	
【(岩手県北上市、和賀町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
三陸沿岸道路一般国道 45 号歌津～本吉[残事業費 20 億円(R2 年度評価時点)]	
【(宮城県南三陸町、気仙沼市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
仙台北部道路利府しらかし台～富谷 JCT(4車線化事業)★	
【(宮城県利府町、富谷町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
日本海沿岸東北自動車道一般国道 7 号遊佐象潟道路[残事業費 396 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(秋田県にかほ市)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③(再掲)
【(山形県遊佐町)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③(再掲)
東北中央自動車道一般国道 13 号横堀道路★	
【(秋田県湯沢市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)
東北中央自動車道一般国道 13 号真室川雄勝道路[残事業費 224 億円(R2 年度評価時点)]	
【(山形県真室川町)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(秋田県湯沢市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
日本海沿岸東北自動車道一般国道 7 号二ツ井今泉道路★	
【(秋田県能代市、北秋田市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)
東北中央自動車道東根～尾花沢★	
【(山形県東根市、河北町、村山市、大石田町、尾花沢市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①(再掲)
東北中央自動車道一般国道 13 号泉田道路★	
【(山形県新庄市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①(再掲)
新庄酒田道路一般国道 47 号新庄古口道路★	
【(山形県新庄市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①(再掲)
新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号梨郷道路★	
【(山形県長井市、川西町、南陽市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)
新庄酒田道路一般国道 47 号高屋道路	
【(山形県戸沢村)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②(再掲)
東北中央自動車道一般国道 13 号新庄金山道路★	
【(山形県新庄市、金山町)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)
東北中央自動車道一般国道 13 号金山道路[残事業費 123 億円(R2 年度評価時点)]	
【(山形県金山町)	(R3 年度工事中)④(再掲)
新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号 小国道路金丸～松岡[残事業費 350 億円(H30 年度評価時点)]	
【(山形県小国町)	(R3 年度用地取得中)④(再掲)
【(新潟県関川村)	(R3 年度用地取得中)④(再掲)
新庄酒田道路一般国道 47 号高屋防災	
【(山形県戸沢村)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
新庄酒田道路一般国道 47 号戸沢立川道路[残事業費 220 億円(R2 年度評価時点)]	
【(山形県戸沢村、庄内町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
日本海沿岸東北自動車道酒田みなと～遊佐★	
【(山形県酒田市、遊佐町)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)
日本海沿岸東北自動車道一般国道 7 号朝日温海道路[残事業費 1,757 億円(H29 年度評価時点)]★	
【(山形県鶴岡市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県村上市)	(R3 年度工事中)④(再掲)
宮城県北高速幹線道路(主)築館登米線 III期佐沼工区	
【(宮城県登米市)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①(再掲)
会津縦貫南道路一般国道 121 号湯野上バイパス★	
【(福島県下郷町)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)
会津縦貫南道路一般国道 121 号下郷田島バイパス★	
【(福島県下郷町、南会津町)	(R3 年度工事中)④(再掲)
会津縦貫北道路一般国道 121 号若松北バイパス★	
【(福島県会津若松市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
常磐自動車道相馬～新地(4車線化事業)★	
【(福島県相馬市、新地町)	((R3 年度測量設計中)④(再掲))
常磐自動車道浪江～南相馬(一部4車線化)	
【(福島県浪江町)	((R3 年度測量設計中)④(再掲))
磐越自動車道会津坂下～西会津(4車線化事業)★	
【(福島県会津坂下町、西会津町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
磐越自動車道会津坂下～津川(一部4車線化)	
【(福島県会津坂下町、西会津町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)



【(新潟県阿賀町) 日本海沿岸東北自動車道荒川～朝日(付加車線整備等)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(新潟県村上市) 磐越自動車道三川～安田(一部4車線化事業)★	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(新潟県阿賀町、阿賀野市) 新潟山形南部連絡道路一般国道113号鷹ノ巣道路下川口～片貝[残事業費138億円(H30年度評価時点)]★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県関川村) 新潟南北道路一般国道7号栗ノ木道路 沼垂東～鑑[残事業費102億円(H29年度評価時点)]★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県新潟市) 新潟南北道路一般国道7号紫竹山道路 鑑～紫竹山[残事業費138億円(H29年度評価時点)]★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県新潟市) 新潟東西道路一般国道116号 新潟西道路 明田～曾和 [残事業費300億円(H30年度評価時点)]★	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県新潟市) 上越魚沼地域振興快速道路一般国道253号上越三和道路鶴町IC～(仮称)三和IC[残事業費522億円(H28年度評価時点)]★	(R3 年度用地取得中)④(再掲)
【(新潟県上越市) 上越魚沼地域振興快速道路一般国道253号三和安塚道路(仮称)三和IC～浦川原IC★	(R3 年度工事中)④(再掲)】他
【(新潟県上越市) 上越魚沼地域振興快速道路一般国道253号十日町道路北鑑坂～八箇IC[残事業費620億円(H30年度評価時点)]	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県十日町市) 上越魚沼地域振興快速道路一般国道253号八箇峠道路野田IC～(仮称)余川IC[残事業費68億円(R元年度評価時点)]★	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(新潟県南魚沼市) 松本糸魚川連絡道路一般国道148号松糸・今井道路山本～上刈	(R3 年度工事中)④(再掲)
【(新潟県糸魚川市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)

#### ■道路ネットワークの整備推進

一般国道103号奥入瀬(青樺山)バイパス[残事業費198億円(H29年度評価時点)]	
【(青森県十和田市)	(R3 年度工事中)④
一般国道4号水沢東バイパス	
【(岩手県奥州市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②
一般国道46号盛岡西バイパス★	
【(岩手県盛岡市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②
一般国道4号北上拡幅	
【(岩手県北上市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①
一般国道4号金ヶ崎拡幅[残事業費95億円(H28年度評価時点)]	
【(岩手県金ヶ崎町)	(R3 年度工事中)④
一般国道4号北上花巻道路[残事業費70億円(R元年度評価時点)]	
【(岩手県北上市、花巻市)	(R3 年度工事中)④
一般国道108号石巻河南道路[残事業費210億円(R2年度評価時点)]	
【(宮城県石巻市、東松島市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
一般国道108号古川東バイパス★	
【(宮城県大崎市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②
一般国道4号仙台拡幅(籠ノ瀬～鹿の又)[残事業費400億円(R2年度評価時点)]	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道4号仙台拡幅	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②
一般国道4号大衡道路[残事業費57億円(R2年度評価時点)]	
【(宮城県大衡村)	(R3 年度工事中)④
一般国道4号築館バイパス[残事業費87億円(H29年度評価時点)]	
【(宮城県栗原市)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道13号河辺拡幅[残事業費85億円(H28年度評価時点)]★	
【(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)④
一般国道112号山形中山道路[残事業費250億円(R元年度評価時点)]★	
【(山形県山形市、山辺町、中山町)	(R3 年度測量設計中)④
一般国道4号伊達拡幅	
【(福島県伊達市、桑折町、国見町)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①
一般国道13号福島西道路(Ⅱ期)	
【(福島県福島市)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③
一般国道4号矢吹鏡石道路[残事業費150億円(R2年度評価時点)]	
【(福島県矢吹町、鏡石町)	(R3 年度測量設計中)④

一般国道 4 号鏡石拡幅 【(福島県鏡石町)】	(R3 年度工事中)(R3 年度完成)①
一般国道 6 号勿来バイパス[残事業費 170 億円(R 元年度評価時点)]★ 【(福島県いわき市)】	(R3 年度工事中)④
一般国道 49 号北好間改良[残事業費 26 億円(R2 年度評価時点)] 【(福島県いわき市)】	(R3 年度工事中)④
一般国道 279 号むつ南バイパス★ 【(青森県むつ市)】	(R3 年度工事中)④
一般国道 279 号横浜北バイパス★ 【(青森県横浜町)】	(R3 年度工事中)(R7 年度完成)②
一般国道 279 号横浜南バイパス★ 【(青森県横浜町)】	(R3 年度工事中)④
一般国道 394 号榎林バイパス★ 【(青森県七戸町)】	(R3 年度工事中)④
一般国道 286 号支倉道路改築事業 【(宮城県川崎町)】	(R3 年度工事中)④
一般国道 347 号筒砂子道路改築事業 【(宮城県加美町)】	(R3 年度測量設計中)④
(一)今市福田線(高江工区)★ 【(宮城県仙台市)】	(R3 年度工事中)④
一般国道 286 号(南赤石工区) 【(宮城県仙台市)】	(R3 年度用地取得中)④
(主)秋田天王線 秋田港アクセス道路 【(秋田県秋田市)】	(R3 年度工事中)④
一般国道 287 号米沢長井道路★ 【(山形県米沢市、川西町)】	(R3 年度工事中)④
一般国道 7 号 新発田拡幅[残事業費 192 億円(H28 年度評価時点)]★ 【小舟町～三日市(新潟県新発田市)】	(R3 年度工事中)④
一般国道 8 号柏崎バイパス城東～鯨波★ 【(新潟県柏崎市)】	(R3 年度工事中)(R4 年度完成)①(再掲)】他
一般国道 8 号親不知道路外波～市振 【(新潟県糸魚川市)】	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
一般国道 8 号 直江津バイパス[残事業費 132 億円(H28 年度評価時点)]★ 【三ツ屋～下源入(新潟県上越市)】	(R3 年度工事中)④】他
一般国道 17 号 六日町バイパス★ 【余川(新潟県南魚沼市)】	(R3 年度工事中)(R3 年夏迄に完成)①(再掲)】他
一般国道 17 号浦佐バイパス大浦～虫野★ 【(新潟県魚沼市)】	(R3 年度工事中)(R3 年度完成)①(再掲)】他
一般国道 18 号 上新バイパス★ 【寺町～岡原(新潟県上越市)】	(R3 年度工事中)(R3 年完成)①(再掲)】他
一般国道 49 号 水原バイパス ★ 【寺社～百津(新潟県阿賀野市)】	(R3 年度工事中)[今後 5 か年程度で完成]②
【百津～下黒瀬(新潟県阿賀野市)】	(R3 年度工事中)[R4 年完成]①
一般国道 116 号 吉田バイパス[残事業費 350 億円(R 元年度評価時点)]★ 【熊森～高橋(新潟県燕市～新潟市)】	(R3 年度測量設計中)④
一般国道 8 号 糸魚川東バイパス[残事業費 147 億円(H29 年度評価時点)]★ 【間脇～梶屋敷(新潟県糸魚川市)】	(R3 年度工事中)④】他
一般国道 403 号 三条北道路 【下条～塚野目(新潟県加茂市～三条市)】	(R3 年度工事中)④
(主)新潟中央環状線 道路整備中ノロ地区、黒埼地区、明田地区★ 【(新潟県新潟市)】	(R3 年度工事中)④(再掲)】他
一般国道 17 号 和南津改良 川口和南津 【(新潟県長岡市)】	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 353 号 葎沢工区 葎沢～倉下★ 【(新潟県十日町市)】	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 289 号八十里越塩野淵～叶津★ 【(福島県只見町)】	(R3 年度工事中)[今後 5 か年程度で完成]②(再掲)】
【(新潟県三条市)】	(R3 年度工事中)[今後 5 か年程度で完成]②(再掲)】
一般国道 17 号 三国防災羽場～三国★	

【(群馬県利根郡みなかみ町羽場～新潟県南魚沼郡湯沢町三国)

(R3 年度工事中)[R4 年春頃(仮称)新三国トンネル開通予定]①(再掲)

一般国道 17 号三俣防災三俣～神立

【(新潟県湯沢町)

(R3 年度用地取得中)④(再掲)

■交通ネットワークの連結機能の強化

東北自動車道平泉スマート IC の整備

【(岩手県平泉町)

(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①(再掲)

東北自動車道(仮称)花巻 PA スマート IC の整備

【(岩手県花巻市)

(R3 年度工事中)④(再掲)

東北自動車道(仮称)菅生スマート IC の整備

【(宮城県村田町)

(R3 年度工事中)④(再掲)

東北自動車道(仮称)白石中央スマート IC の整備

【(宮城県白石市)

(R3 年度測量設計中)④(再掲)

東北中央自動車道(仮称)山形 PA スマート IC の整備

【(山形県山形市)

(R3 年度用地取得中)④(再掲)

東北中央自動車道(仮称)天童南スマート IC の整備

【(山形県天童市)

(R3 年度測量設計中)④(再掲)

東北中央自動車道(仮称)高畠スマート IC の整備

【(山形県高畠町)

(R3 年度測量設計中)④(再掲)

常磐自動車道(仮称)小高スマート IC の整備

【(福島県南相馬市)

(R3 年度用地取得中)④(再掲)

日本海沿岸東北自動車道

【(仮称)胎内スマート IC(新潟県胎内市)

(R3 年度工事中)④(再掲)

北陸自動車道

【(仮称)大積スマート IC(新潟県長岡市)

(R3 年度測量設計中)④(再掲)

■物流機能向上に資する港湾整備の推進

仙台塩釜港仙台港区ふ頭再編改良事業★

【(宮城県仙台市)

(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)

酒田港外港地区国際物流ターミナル整備事業★

【(山形県酒田市)

(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①

仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区国際物流ターミナル整備事業★

【(宮城県石巻市)

(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)

小名浜港国際物流ターミナル整備事業[残事業費 773 億円(H29 年度評価時点)]★

【(福島県いわき市)

(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③(再掲)

重点施策	指標
■持続可能な物流ネットワークの構築	
・格子状骨格道路ネットワークの整備	
期待されるストック効果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・格子状骨格道路ネットワークの整備により、主要工業団地と港湾との連絡時間が短縮され、港湾等の物流拠点機能が強化されることで、産業競争力の強化とともに、新たな企業進出等の地域経済の活性化が見込まれる。</li> <li>・整備を進めている新庄酒田道路により、重要港湾である酒田港から生産地までの信頼性の高い交通ネットワークが形成され、平行する国道の通行規制による資機材の搬入の遅れが解消され、地域製品の生産を支援する。</li> <li>・(仮称)白石中央スマート IC により、東北自動車道へのアクセス性が向上し、物流の効率化が図られ、白石市の基幹産業である製造業を支援する。</li> <li>・仙台拡幅の整備により、東北最大級の仙台市中央卸売市場や仙台トラックターミナルなどの物流拠点が立地し交通需要が集中するエリア周辺の渋滞の緩和が見込まれ、仙台都市圏の物流円滑化を支援する。</li> <li>・東北中央自動車道の整備により、原木材料が豊富な秋田県南地域や山形県最上地域からのアクセス性が向上し、原木の入荷や関東方面への物流効率化、地域雇用の拡大等、地域産業の活性化を支援する。また、福島市や米沢市内の観光施設においては来訪者が増加、さらに、道の駅「伊達の郷りょうぜん」が新たな観光・交流拠点の場を形成するなど、広域ネットワークが形成され、更なる交流人口の増加と活発な観光交流が期待される。</li> <li>・日本海沿岸東北自動車道の整備により、沿線地域では供用及びその先の整備を見越した企業進出等で、地元雇用が拡大している。</li> <li>・小名浜港国際物流ターミナル整備の推進等により、一層の輸送の効率化が図られ、更なる貿易額の増加が期待される。</li> </ul>	

#### 「インフラ経営」の取組

・既存の高速自動車国道等において、追加インターチェンジの整備を実施することで地域拠点の利便性が向上し、地域経済の活性化が期待される。

## 小目標4-2: 観光資源の魅力向上と広域周遊観光促進に向けた観光地域づくりの推進 (重点施策の概要)

- 既存観光拠点の再生及び高付加価値化、国立公園・温泉地等での滞在型ツアーやワーケーションを支援する基盤整備、拠点交通ターミナルとそのアクセス整備、観光地間の交通ネットワーク強化、空港・港湾や CIQ 等入口の機能の整備、多言語表記等ストレスフリーで観光できる環境整備等により、圏域内、国内他ブロック間観光客、訪日外国人旅行者獲得を支援する。
- 東日本大震災の経験や教訓を国内外や後世に伝えるため、国営追悼・祈念施設や震災遺構等を繋ぐネットワークづくりに取り組む。
- 仙台空港においては、旅客満足度の向上に向けて「安心」「快適」「ホスピタリティ」を提供する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[17]旅客施設における多言語対応率

(鉄軌道駅)【R2年度 75% → R7年度 100%】

### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる  
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■MaaSの推進

【MaaS等最新技術の活用による移動サービスの構築 (R3年度推進中)④】

##### ■官民連携による東北港湾へのクルーズ船寄港拡大の取組

【クルーズ船誘致と一体となった受入環境整備(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県) (R3年度推進中)④】

##### ■各機関が連携した渋滞対策の推進

【地域や関係機関が連携した観光地及び観光に起因する渋滞対策や交通マネジメントの推進 (R3年度推進中)④】

##### ■交通結節機能の強化

【鉄道駅、道の駅、高速道路ICの交通結節点強化等による交通拠点化の推進 (R3年度推進中)④】

##### ■空港における旅客満足度の向上

【仙台空港において、旅客満足度の向上に向けて「安心」「快適」「ホスピタリティ」を提供 (R3年度推進中)④】

##### ■インフラツーリズムの推進

【インフラツーリズム魅力倍増プロジェクトの推進 (R3年度推進中)④】

##### ■サイクルツーリズムの推進

【自転車と公共交通機関の連携(サイクルトレイン、サイクルバス等)の取組を推進 (R3年度推進中)④】

【サイクリングルートの設定とサインの整備やサポート体制の整備等を推進 (R3年度推進中)④】

##### ■「3.11 伝承ロード」の形成と普及活動(再掲)

【震災伝承のあり方を議論する震災対策連絡会議(仮)を創設 (R3年度予定)①(再掲)】

【震災伝承ネットワーク協議会の取組方針に基づき、産学官民の連携により、震災伝承施設をネットワーク化しつつ、被災地の交流促進や地域創生、防災力の強化を図る (R3年度推進中)④】

【ウェブ地図を通じて、復興に向かう国土の姿や、自然災害伝承碑をより伝わりやすい形で発信する (R3年度予定)①】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■多言語対応の推進

【公共交通機関における訪日外国人旅行者向けの旅客施設における多言語対応や公衆無線 LAN(Wi-Fi)の環境整備の推進 (R3年度推進中)④】

【観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業 (R3年度推進中)④】

【地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業 (R3年度推進中)④】

##### ■公共交通機関における訪日外国人旅行者向けの公衆無線 LAN 環境整備

【公共交通利用環境の革新等事業 (R3年度推進中)④】

【交通サービスインバウンド対応支援事業 (R3年度推進中)④】

- 「道の駅」のインバウンド受入環境の整備  
【「道の駅」インバウンド対応拠点化整備事業 (R3 年度推進中)④】
- 【インフラの利活用】
- 国営みちのく杜の湖畔公園の活用  
【国営みちのく杜の湖畔公園を拠点として、地元自治体や民間企業と連携したイベントの実施等による広域的な地域活性化を推進(宮城県) (R3 年度推進中)④】
- インフラツーリズムの推進  
【インフラを利用して、インフラ施設周辺の観光資源を楽しむ、インフラツーリズムを推進する (R3 年度推進中)④】
- 港湾の活用  
【交付金事業による港湾の活用を推進(福島県いわき市) (R3 年度推進中)④】
- 【選択と集中の徹底】
- 道路ネットワークの強化による観光推進  
東北自動車道平泉スマートIC の整備  
【(岩手県平泉町) (R3 年度工事中)[R3 年度完成]①(再掲)】  
東北自動車道(仮称)花巻 PA スマートIC の整備  
【(岩手県花巻市) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 道の駅の整備  
一般国道 7 号道の駅「いかりがせき」  
【(青森県平川市) (R3 年度工事中)④】  
一般国道 4 号道の駅「石鳥谷」  
【(岩手県花巻市) (R3 年度工事中)④】
- 港湾環境の整備  
仏ヶ浦港港湾改修事業[残事業費 6.2 億円(R 元年度再評価時点)]  
【(青森県佐井村) (R3 年度工事中)④】
- 公園の整備  
中央公園整備事業  
【(宮城県多賀城市) (R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
- 国営追悼・祈念施設の運営・維持管理  
国営追悼・祈念運営維持管理事業  
【(岩手県陸前高田市) 継続直轄事業④(再掲)】  
国営追悼・祈念運営維持管理事業  
【(宮城県石巻市) 継続直轄事業④(再掲)】

重点施策	指 標
<b>■ 国際交流拠点の機能拡充・強化</b>	
・公共交通機関における訪日外国人旅行者向けの多言語対応の推進	[KPI-17]旅客施設における多言語対応率 (鉄軌道駅)R2 年度 75%→ R7 年度 100%
・公共交通機関における訪日外国人旅行者向けの公衆無線 LAN(Wi-Fi)環境整備	・旅客施設における公衆無線 LAN(Wi-Fi)の整備率 (鉄軌道駅)R2 年度 67%→ R7 年度 100% (バスターミナル)R2 年度 0%→ R7 年度 100%
<b>期待されるストック効果</b>	
・既存の高速自動車国道の有効利用や、地域生活の充実、地域の産業・観光の振興を推進するため、追加インターチェンジの整備を実施し、企業の進出・観光客の増加等地域経済の活性化が見込まれる。	
<b>「インフラ経営」の取組</b>	
・国交省や東北6県、東経連、東北観光推進機構、バス協会、ハイタク協会、旅客船協会から構成するクルーズ振興連携会議において、官民が連携したクルーズ船の寄港需要拡大に向けた取組を推進。各種検討会・勉強会開催のほか、ターミナルビル内での遮蔽板設置等の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底したうえでの着地型観光の企画・磨き上げ、ツアー運行支援ネットワーク構築、クルーズ船社への誘致活動などに取組む。	

### 小目標4-3:世界や日本を牽引する拠点形成実現支援とその効果を最大限に発揮・波及させる基盤整備(福島イノベーション・コースト構想、国際リニアコライダー計画、その他先端産業拠点等)

#### (重点施策の概要)

- 福島イノベーション・コースト構想では、福島ロボットテストフィールド、福島水素エネルギー研究フィールドに続き、原子力災害での教訓・逆境を跳ね返す姿を国内外へ発信・風評払拭につなげ、福島浜通り地域に整備された関連施設を活かすとともに、各分野の先端技術の融合による産業創出が見込まれるロボット、エネルギー、スマート農業等の新産業創出関連分野と、福島第1原発事故に由来し、この地域の再生及び世界貢献に向けて欠かすことのできない廃炉、放射線安全、風評払拭・リスクコミュニケーション等の原発事故対応・環境回復関係分野を網羅して組織し、福島イノベーション・コースト構想の司令塔となる世界レベルの「国際教育研究拠点」の新設が計画されている。
- これら国家プロジェクトは、「福島の復興・再生」を目指すものにとどまらず、東日本大震災の被害からの「東北全体の再生のモデル」、さらには人口減少の進行、エネルギー制約、低水準の食料自給率等の様々な問題点を抱える「我が国の課題解決・新たな成長」につなげるものである。また、震災及び原子力事故災害によって失われた環境を取り戻す取組を進めつつ、誰もが豊かに生き、環境と調和した持続可能な産業創出を実現することは、科学技術と人間らしい生活・文化および自然との調和がとれた新たな社会像の形成を目指すものとして、ポストコロナ時代の世界にも貢献するものである。
- 福島イノベーション・コースト構想を牽引する既に稼働する施設、新たな国際教育研究拠点の他にも、東北圏内においては、鶴岡メタボロームクラスター等のバイオ研究開発拠点、ふくしま医療機器開発支援センター等の先端産業拠点整備が進展しており、福島イノベーション・コースト構造も含め、これらへの関連研究機関、関連産業企業の進出を促し、国内外から集まる研究者や従業員、その家族の生活に不可欠な住環境整備や交通ネットワーク整備、物流施設等の社会基盤整備は我が国にとって極めて重要な投資である。

#### 目標の達成に寄与する主要取組

〔完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定〕

〔 〕内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる  
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■福島イノベーション・コースト構想による取組との連携・支援

【関連機関が連携し、福島イノベーション・コースト構想を推進する (R3年度推進中)④】

##### ■ロボットテストフィールドの支援

【航空局の職員派遣など、官民連携でドローンや空飛ぶクルマの実現を支援 (R3年度推進中)④】

##### ■国際リニアコライダー計画実現に向けて連携した取組の推進

【関連機関が連携し、国際リニアコライダー計画の実現とその効果を最大限に発揮・波及させる基盤整備 (R3年度推進中)④】

##### ■次世代放射光施設の支援

【施設整備に併せて、その効果を最大限に発揮・波及させる基盤整備 (R3年度推進中)④】

#### 【選択と集中の徹底】

##### ■格子状骨格道路ネットワークの整備

東北縦貫自動車道八戸線一般国道 45 号天間林道路★	
【(青森県七戸町)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①(再掲)】
津軽自動車道一般国道 101 号柏浮田道路[残事業費 380 億円(H29 年度評価時点)]	
【(青森県つがる市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
三陸沿岸道路一般国道 45 号侍浜～階上[残事業費 30 億円(R2 年度評価時点)]	
【(青森県階上町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
【(岩手県久慈市、洋野町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
宮古盛岡横断道路一般国道 106 号田鎖墓目道路[残事業費 300 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(岩手県宮古市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
宮古盛岡横断道路一般国道 106 号箱石達首部道路[残事業費 470 億円(R2 年度評価時点)]	
【(岩手県宮古市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
秋田自動車道湯田～横手(4車線化事業)	
【(秋田県横手市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
【(岩手県和賀町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
秋田自動車道北上西～湯田(4車線化事業)★	
【(岩手県北上市、和賀町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
三陸沿岸道路一般国道 45 号歌津～本吉[残事業費 20 億円(R2 年度評価時点)]	
【(宮城県南三陸町、気仙沼市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
仙台北部道路利府しらかし台～富谷 JCT(4車線化事業)★	
【(宮城県利府町、富谷町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
日本海沿岸東北自動車道一般国道 7 号遊佐象潟道路[残事業費 396 億円(R2 年度評価時点)]★	
【(秋田県にかほ市)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③(再掲)】
【(山形県遊佐町)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③(再掲)】
東北中央自動車道一般国道 13 号横堀道路★	
【(秋田県湯沢市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】
東北中央自動車道一般国道 13 号真室川雄勝道路[残事業費 224 億円(R2 年度評価時点)]	
【(山形県真室川町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
【(秋田県湯沢市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
日本海沿岸東北自動車道一般国道 7 号二ツ井今泉道路★	
【(秋田県能代市、北秋田市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)】
東北中央自動車道東根～尾花沢★	
【(山形県東根市、河北町、村山市、大石田町、尾花沢市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①(再掲)】
東北中央自動車道一般国道 13 号泉田道路★	
【(山形県新庄市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①(再掲)】
新庄酒田道路一般国道 47 号新庄古口道路★	
【(山形県新庄市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①(再掲)】
新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号梨郷道路★	
【(山形県長井市、川西町、南陽市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)】
新庄酒田道路一般国道 47 号高屋道路	
【(山形県戸沢村)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②(再掲)】
東北中央自動車道一般国道 13 号新庄金山道路★	
【(山形県新庄市、金山町)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】
東北中央自動車道一般国道 13 号金山道路[残事業費 123 億円(R2 年度評価時点)]	
【(山形県金山町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
新潟山形南部連絡道路一般国道 113 号 小国道路金丸～松岡[残事業費 350 億円(H30 年度評価時点)]	
【(山形県小国町)	(R3 年度用地取得中)④(再掲)】
【(新潟県関川村)	(R3 年度用地取得中)④(再掲)】
新庄酒田道路一般国道 47 号高屋防災	
【(山形県戸沢村)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
新庄酒田道路一般国道 47 号戸沢立川道路[残事業費 220 億円(R2 年度評価時点)]	
【(山形県戸沢村、庄内町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
日本海沿岸東北自動車道酒田みなと～遊佐★	
【(山形県酒田市、遊佐町)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)】
日本海沿岸東北自動車道一般国道 7 号朝日温海道路[残事業費 1757 億円(H29 年度評価時点)]★	
【(山形県鶴岡市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
【(新潟県村上市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
会津縦貫南道路一般国道 121 号湯野上バイパス★	
【(福島県下郷町)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】
会津縦貫南道路一般国道 121 号下郷田島バイパス★	
【(福島県下郷町、南会津町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】



会津縦貫北道路一般国道 121 号若松北バイパス★ 【(福島県会津若松市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
常磐自動車道相馬～新地(4車線化事業)★ 【(福島県相馬市、新地町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
常磐自動車道浪江～南相馬(一部4車線化) 【(福島県浪江町)	((R3 年度測量設計中)④(再掲)
磐越自動車道会津坂下～西会津(4車線化事業)★ 【(福島県会津坂下町、西会津町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
磐越自動車道会津坂下～津川(一部4車線化) 【(福島県会津坂下町、西会津町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
【(新潟県阿賀町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
日本海沿岸東北自動車道荒川～朝日(付加車線整備等) 【(新潟県村上市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)
磐越自動車道三川～安田(一部 4 車線化事業)★ 【(新潟県阿賀町、阿賀野市)	(R3 年度工事中)④(再掲)

重点施策	指 標
■地域の可能性を引き出すプロジェクトを支援する基盤整備の推進	
期待されるストック効果	
・相馬福島道路の整備と港湾の復旧・復興により、相馬港では企業進出が進んでいる。今後、東北中央自動車道相馬～福島全線開通、常磐自動車道の全線4車線化等により福島イノベーション・コースト構想に関連する新たな企業進出等も期待される。	
「インフラ経営」の取組	
・新産業の創出を進める福島イノベーション・コースト構想について、国と県が連携してより一層加速化していく。特に、福島ロボットテストフィールドで取組む「空飛ぶクルマ」で日本・世界の牽引を目指す。	

## 重点目標5: インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)

### 目指すべき姿

昨今のコロナ禍における最低限の事業継続やポストコロナ時代の「新たな日常」の実現も見据え、情報技術の利活用、新技術の社会実装を通じた社会資本整備分野のデジタル化・スマート化を進めることにより、インフラの新たな価値の発現によるストック効果の最大化や、社会資本整備分野の働き方改革・生産性向上を実現する。

特に東北ブロックにおいては、人口減少・高齢化が顕著であり、人手不足への対応、担い手確保のモデルとしてデジタル化を推進する。

### 現状と課題

インフラに関する多様なデータが点在するとともに、人流・物流・地形・気象といった他のデータとの連携が不十分であることを踏まえ、インフラデータの一元化・連携強化に取組、最大限に活用する必要がある。

社会資本の整備や維持管理段階において、3次元設計や無人化施工等の技術の建設現場での活用が進みつつあるが、人口減少や高齢化が著しい東北ブロックにおいては、建設業の担い手の確保やメンテナンスコスト削減の必要性・緊急性に鑑み、さらなる技術活用による高度化・効率化に早急に取り組む必要がある。

また、都市や地域が交通・防災・医療・エネルギー等の多様な課題に直面するとともに、産業分野においても技術革新への対応が国際競争を勝ち抜く上で不可欠となる中、ICT や AI 等の新技術を活用してインフラの機能を最大限に引き出し、課題解決や新たな価値の創造に寄与する必要がある、中でも災害時における自治体や住民への情報提供の高度化を図ることをは迅速な避難行動に結びつくほか、平常時における行政サービスの効率化にもつながる。

さらに、自動運転やMaaS等の革新的な技術の開発や実用化が着実に進んでいるものの、社会実装の本格化に向けては、インフラ側の環境整備も重要である。

## 小目標5-1:東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」等によるデジタル化・スマート化 (重点施策の概要)

- ICT 施工や建設生産プロセス全体での3次元データ活用等の i-Construction の推進、国土交通分野の各種データプラットフォームの構築及び地方自治体との連携により、働き方改革、建設事業の生産性向上を図り、人手不足への対応や担い手確保の先駆的モデルを目指す。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[18]水防法に基づき、最大クラスの洪水が発生した場合に浸水が想定される範囲等の情報を把握し周知している、1級河川・2級河川数

【R2年度 282河川 → R7年度約 1,900河川】

### 目標の達成に寄与する主要取組

〔完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定〕

〔 〕内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる  
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■国土交通データプラットフォームの形成による施策の高度化

【排水ポンプ車の統合運用に向けた情報集約化

(R3年度推進中)②】

##### ■現場の担い手確保を推進

【東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」の推進

(R3年度推進中)④】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■ICTを活用した除雪の効率化(再掲)

【除排雪車運行管理システム・除雪作業自動化・効率化の推進

(R3年度推進中)④】

##### ■手続の電子化による港湾物流の生産性向上

【サイバーポート(港湾物流)の導入促進

(R3年度推進中)④】

##### ■新技術の活用推進と生産性向上

【みちのく i-Construction 奨励賞による横展開とインセンティブ向上

(R3年度推進中)④】

#### 【選択と集中の徹底】

##### ■新技術等を活用による生産性向上

成瀬ダム建設事業★

【(秋田県雄勝郡東成瀬村)

(R3年度工事中)[R6年度完成]②(再掲)】

重点施策	指標
<b>■データプラットフォームの構築</b> ・排水ポンプ車の統合運用に向けた情報集約化	・排水ポンプ車の統合運用に向けた情報集約化の実施率 R2年度約40%→R7年度100%
<b>■新技術の活用推進</b> ・水害リスク空白域の解消の推進	[KPI-18] ・水防法に基づき、最大クラスの洪水が発生した場合に浸水が想定される範囲等の情報を把握し周知している、1級河川・2級河川数 R2年度282河川→R7年度約1,900河川
・新技術を活用した河川管理の高度化による防災・減災の取組を推進	・基準水位・流量観測所における自動流量観測導入率 R2年度0%→R7年度100%
・利水ダムにおける流出入量のリアルタイム情報把握の推進	・1級水系及び2級水系の利水ダムにおける情報網整備率 R元年度3%→R7年度100%

・内水排除施設等における遠隔監視・操作化	・排水機場の遠隔監視・操作化実施率 R2年度36%→ R7年度100%
・TEC-FORCE 隊員の対応能力向上と資機材の ICT 化・高度化	[KPI-9](再掲) ・公共土木施設の被災状況調査を行う TEC-FORCE 隊員の ICT 機器等を活用するための訓練・研修・講習等への参加率 R2年度34%→ R7年度100%
・水門・排水機場の遠隔操作化・自動化等(海岸)	[KPI-13](再掲) ・大規模地震が想定されている地域等における水門・陸閘等の安全な閉鎖体制の確保率 R元年度58%→ R7年度71%
・ICT 等を活用した砂防関係施設の点検・維持管理技術の高度化を推進	・UAV 等を活用した施設点検を実施した事業の割合 R2年度60%→ R7年度100%
・水害リスク情報の公開推進	・国が運用するシステムにより、最大クラスの洪水が発生した場合に浸水が想定される範囲等の情報を公開している河川数 R2年度95河川→ R7年度約1,900河川
期待されるストック効果	
<p>・東北地方整備局では建設現場の生産性向上に向けて、測量・設計から、施工、さらに管理にいたる全プロセスにおいて、情報化を前提とした「i-construction」を2016年度より取り組んでいる。</p> <p>今後とも、ICT対象工事の拡大やICT工種活用モデル工事の拡充のほか、BIM/CIM活用業務・工事の拡充等に取り組むことにより、建設現場の生産性向上が期待される。</p>	
「インフラ経営」の取組	
・東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」等によるデジタル化・スマート化を図り、生産性向上を推進。	

## 小目標5-2:新技術の社会実装によるインフラの新価値の創造

### (重点施策の概要)

- スマートシティの社会実装の推進、自動運転技術の実用化に資する交通環境構築の推進、社会資本整備分野における情報技術の利活用や新技術の社会実装を推進により、社会資本整備の効率化や機能の高度化、インフラの潜在的な価値発現を図る。
- ポストコロナ時代の「新たな日常」の構築のため、通信インフラの整備等、デジタル技術の活用による行政手続の迅速化や暮らしにおけるサービスの向上を推進することは、新型コロナウイルスなど感染症拡大時などにおける移動の制約下での経済活動の継続を支えることにもつながっていく。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[19]建設業等の許可申請手続等のデジタル化

建設業許可関係手続のオンラインによる申請の割合【R元年度 0% → R8年度 20%】

経営事項審査のオンラインによる申請の割合【R元年度 0% → R8年度 50%】

建設関連業者の登録申請に係る各種手続のオンラインによる申請の割合  
【R2年度 0% → R4年度 20%】

### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■ロボットテストフィールドの支援(再掲)

【航空局の職員派遣など、官民連携でドローンや空飛ぶクルマの実現を支援 (R3年度推進中)④】

##### ■道の駅の拠点形成(再掲)

【道の駅等を拠点とした自動運転サービス (R3年度推進中)④】

##### ■自動運転の社会実装に向けた取組

【福島イノベーション・コースト構想や産学官連携による自動運転技術の実用化に向けた取組 (R3年度推進中)④】

##### ■MaaSの推進(再掲)

【MaaS等最新技術の活用による移動サービスの構築 (R3年度推進中)④】

##### ■スマートシティの推進

【関係機関と連携したスマートシティの推進 (R3年度推進中)④】

#### 【インフラの利活用】

##### ■AI・ICTを活用した交通量観測

【ETC2.0データ、AIトラカン、AIカメラ等を活用した渋滞対策や事故分析 (R3年度推進中)④】

##### ■手続等のデジタル化等の推進

【建設業等の許可申請手続等のデジタル化の推進 (R3年度推進中)④】

##### ■新技術等の社会実装

【UMVやUAVを活用した航路・泊地浚渫工事等の実施 (R3年度推進中)④】

【コンテナターミナル運営における生産性向上・効率化のためのAI・IoTの導入推進 (R3年度推進中)④】

【フェリー・RORO船航路の維持拡大に向けた新技術の導入 (R3年度推進中)④】

#### 【選択と集中の徹底】

##### ■新技術等の社会実装

鳥海ダム建設事業[残事業費959億円(H30年度評価時点)]★

【(秋田県由利本荘市) (R3年度工事中)(R10年度完成)③(再掲)】

重点施策	指標
■手続等のデジタル化等の推進	

<ul style="list-style-type: none"> <li>建設業等の許可申請手続等のデジタル化の推進</li> </ul>	<p>[KPI-19]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建設業許可関係手続のオンラインによる申請の割合 R 元年度 0% → R8 年度 20%</li> <li>経営事項審査のオンラインによる申請の割合 R 元年度 0% → R8 年度 50%</li> <li>建設関連業者の登録申請に係る各種手続のオンラインによる申請の割合 R2 年度 0% → R4 年度 20%</li> </ul>
<p><b>期待されるストック効果</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅等を拠点とした自動運転サービス等の自動運転技術の実用化を推進することにより、生活環境の整備、人流・物流の確保等、地域拠点の形成が期待される。</li> <li>建設業等の電子システムの運用を図り、建設業等の申請について許可申請手続等々のデジタル化を推進。</li> </ul>	
<p><b>「インフラ経営」の取組</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新産業の創出を進める福島イノベーション・コースト構想について、国と県が連携してより一層加速化していく。特に、福島ロボットテストフィールドで取組む「空飛ぶクルマ」で日本・世界の牽引を目指す。</li> <li>中山間地域における道の駅等を活用した自動運転サービス実証運行の取組を推進し、人口減少・高齢化への対応、新たな交通サービスの創出等、機能の高度化を図る。</li> </ul>	

## 重点目標6: インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上 目指すべき姿

風況に恵まれた東北地域では、風力発電の導入促進に資する施設整備等を推進するとともに関連産業の立地・誘致を促進し、再生可能エネルギーのみならず水素エネルギー等新エネルギーも含めたエネルギー大拠点の形成を図り、カーボンニュートラルポートの形成などインフラ分野の脱炭素化等によりグリーン社会の実現を目指す。

また、インフラの機能・空間を多面的・複合的に利活用することにより、インフラのストック効果を最大化し、国民の生活の質を向上させる。

### 現状と課題

気候変動の影響が深刻化するとともに、自然との共生に対するニーズが広がる中、自然環境が有する防災・減災機能をはじめ、生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等の多様な機能を活用するグリーンインフラを主流化する取組が必要である。

地球温暖化対策が急務となる中、防災・減災対策等の適応策に加えて、我が国のCO2排出量のそれぞれ20%、16%を占める運輸部門及び家庭部門における一層の排出量削減が必要である。また、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換が進む中、港湾等のインフラ空間における再生可能エネルギーの利活用を推進する必要がある。一方、次世代エネルギーについては、活発な技術開発が進められている最中であり、社会実装に至るシナリオも多岐に渡ることから、あらゆる条件下においても、民間からの開発や提案を受け入れられるよう配慮する必要がある。

「洋上風力産業ビジョン(第1次)」で示された政府目標実現に向け、風況に恵まれる東北地域では、重厚長大な風車部材や発電機の輸送・荷揚げ等に必要となる港湾機能を確保するとともに、港湾と道路が連携した輸送ネットワークの構築、港湾施設の防災・減災機能強化が必要である。

水循環分野において、都市部への人口集中や気候変動等により、渇水、生態系への影響等の問題が顕著となっており、健全な水循環の維持又は回復に向けた取組が必要である。また、感染症対策を含めた公衆衛生の観点からも、汚水処理体制の確保が必要である。

ポストコロナ時代における、他者とのつながりや交流に対するニーズに加え、感染症予防のための空間的余裕の確保の必要性を踏まえ、ゆとりとにぎわいのあるインフラ空間の整備や、通勤・通学の分散に寄与する自転車利用環境の整備が必要である。

観光ニーズが多様化するとともに、非日常的な体験に価値を見出す消費観が広がる中、インフラツーリズム(インフラを観光資源として位置付け、観光を通じた地域振興に資するインフラ活用の取組)を推進するための環境整備が必要である。

## 小目標6-1:再生可能エネルギー・新エネルギー等によるグリーン社会の実現

### (重点施策の概要)

- 社会資本整備分野における省エネ・低炭素化を進め、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向け、持続可能性を高める社会基盤の構築と賢い使い方を目指す。
- 水素等次世代エネルギーの大量輸入や利活用等を図るため、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じてカーボンニュートラルポートの形成を推進する。
- 港湾整備や港湾利用促進により、洋上風力発電設備設置及び関連産業の立地による地域産業振興を図る。
- 道路分野において渋滞緩和のためのバイパス整備等による温室効果ガス排出量の削減を図るとともに、港湾等の公共施設における緑化による温室効果ガス吸収源対策等を推進する。
- 「福島新エネ社会構想」<sup>6</sup>をまちづくり、交通基盤等の社会基盤整備で支え、二酸化炭素排出量を削減し、循環型社会構築により、我が国の新たなエネルギー社会の構築に貢献する。
- グリーンインフラの推進により、持続可能で魅力ある圏土・都市・地域づくりを進める。
- 汚水処理の早期概成に向けて、人口減少等の社会情勢の変化を踏まえつつ、最適な汚水処理施設の整備を推進する。
- 豊富な水資源を有する東北において、小水力発電等の取組を積極的に支援する。
- インフラの整備や運用に当たっては、民間活力による再生可能エネルギー及び次世代エネルギーの開発や利活用が促進されるよう配慮し、官民連携のもとでの脱炭素化を推進する。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[20]グリーンインフラ官民連携プラットフォームに登録している自治体のうち、グリーンインフラの取組を事業化した自治体数

【R元年度 0自治体 → R7年度 8自治体】

[21]汚水処理人口普及率

【R元年度 87% → R7年度 94%】

### 目標の達成に寄与する主要取組

〔完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定〕

〔 〕内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる  
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■低炭素都市づくりの推進

【リサイクルポート施策の推進(新潟県糸魚川市)

(R3年度推進中)④】

##### ■循環型社会形成

【リサイクル貨物輸送の船舶大型化に対応した合い積みによる共同輸送等の促進

(R3年度推進中)④】

##### ■カーボンニュートラルポートの推進

【小名浜港におけるカーボンニュートラルポートの形成に向けた取組を推進

(R3年度推進中)④】

##### ■グリーン社会の実現に資する洋上風力発電の導入促進

【洋上風力発電設備設置及び関連産業の立地による地域産業振興のための基地港湾整備の推進や利用促進

<sup>6</sup> 福島イノベーション・コースト構想のエネルギー分野における取組。未来の新エネ社会の実現に向けたモデルを福島全県で創出し、世界に発信することで、再生可能エネルギーや未来の水素社会を切り拓く先駆けの地とすることを目指している。木質バイオマス、地熱、風力、太陽光等の再生可能エネルギーを導入拡大し、再生可能エネルギーから水素を「作り」、「貯め・運び」、「使う」、水素エネルギーを地域で効率的に利用する「スマートコミュニティ」の立ち上げが福島県内各地で進み、2020年3月には、世界最大級の水素製造施設【福島水素エネルギー研究フィールド(Fukushima Hydrogen Energy Research Field:FH2H)】が浪江町に完成し、稼働開始した。



	(R3 年度推進中)④】
<b>■新エネルギーの拠点形成を支援する道路整備</b>	
【風力発電を支援する下北半島縦貫道路等の整備	(R3 年度推進中)④】
【バイオマス発電を支援する新庄酒田道路等の整備	(R3 年度推進中)④】
【水素製造拠点を支援する常磐自動車道(4車線化)等の整備	(R3 年度推進中)④】
<b>■エコエアポートの推進</b>	
【三沢飛行場(青森県三沢市)	(R3年度推進中)④】
【仙台空港(宮城県名取市、岩沼市)	(R3年度推進中)④】
【新潟空港(新潟県新潟市)	(R3 年度推進中)④】
<b>■小水力発電の支援</b>	
【小水力発電による取組の支援	(R3 年度推進中)④】
<b>■脱炭素化の推進</b>	
【再生可能エネルギー、次世代エネルギーの導入支援	(R3 年度推進中)④】
<b>【ハード・ソフト一体となった取組】</b>	
<b>■モーダルシフトの推進</b>	
【鉄道コンテナ見学会や講習会を通じモーダルシフトを推進	(R3 年度推進中)④】
<b>■官民連携による河道管理</b>	
【民間企業等との協働による河川管理(樹木伐採・土砂掘削)の推進	(R3 年度推進中)④】
<b>【インフラの利活用】</b>	
<b>■港湾周辺地域でのエネルギー拠点形成の推進</b>	
【港湾周辺地域でのエネルギー拠点の形成に向けた資源エネルギー産業等の立地促進及び港湾の利活用推進	(R3 年度推進中)④】
<b>■グリーンスローモビリティ</b>	
【グリーンスローモビリティ導入の実証実験の推進	(R3 年度推進中)④】
<b>■道路照明等のLED導入</b>	
【道路照明等のLED化による省エネルギー化の推進	(R3 年度推進中)④】
<b>■自然環境の保全の推進</b>	
【「奥入瀬エコツーリズムプロジェクト」等の自然環境保全のための取組の推進	(R3 年度推進中)④】
【ブルーカーボン生態系(藻場・干潟等)の造成・再生・保全の推進	(R3 年度推進中)④】
<b>【選択と集中の徹底】</b>	
<b>■自然環境の保全・再生</b>	
青森港海浜・水質浄化施設整備事業[残事業費 3 億円(H26 年度再評価時点)]	
【(青森県青森市)	(R3 年度工事中)④】
阿賀野川水系直轄総合水系環境整備事業[残事業費 3 億円(H30 年度評価時点)]	
【阿賀野川 自然再生事業(新潟県新潟市他)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③】
国府川他統合河川環境整備事業	
【(新潟県佐渡市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
北上川総合水系環境整備事業[残事業費 20 億円(H28 年度評価時点)]	
【(岩手県一関市、平泉町、奥州市、北上市、西和賀町、花巻市、紫波町、盛岡市)	(R3 年度工事中)[R12 年度完成]③】
【(宮城県石巻市、大崎市、登米市、美里町)	(R3 年度工事中)[R12 年度完成]③】
仙台湾南部海岸直轄海岸保全施設整備事業[残事業費 353 億円(H28 年度評価時点)]★	
【(宮城県岩沼市、山元町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
<b>■汚水処理施設未普及地域の解消</b>	
【未普及対策事業(福島県白河市、磐梯町)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
【未普及対策事業(北上川下流処理区)(宮城県石巻市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
【未普及対策事業【(宮城県大崎市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
【新発田市公共下水道整備事業(新潟県新発田市)	(R3 年度工事中)④】
【加茂市公共下水道整備事業(新潟県加茂市)	(R3 年度工事中)④】
【燕市公共下水道整備事業(新潟県燕市)	(R3 年度工事中)④】
【五泉市公共下水道整備事業(新潟県五泉市)	(R3 年度工事中)④】
【上越市公共下水道整備事業(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)④】
【佐渡市公共下水道整備事業(新潟県佐渡市)	(R3 年度工事中)④】
<b>■魅力ある公園等の整備</b>	
公園、緑地の整備	
【やすらぎ堤緑地(新潟県新潟市)	(R3 年度測量設計中)③】
【鳥屋野潟公園の整備[残事業費 53 億円(R 元年度評価時点)]	
(新潟県新潟市)	(R3 年度用地取得中)④】

【赤塚公園(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④】
【国営越後丘陵公園の整備(新潟県長岡市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】
<b>■洋上風力発電導入等の支援</b>	
能代港大森地区国際物流ターミナル整備事業	
【(秋田県能代市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
消化ガス発電設備整備事業(山形浄化センター)	
【(山形県天童市)	(R3 年度測量設計中)[R6 年度完成]②】
<b>■道路交通の円滑化(渋滞緩和による CO2 排出量の削減)</b>	
一般国道 103 号奥入瀬(青樺山)バイパス[残事業費 198 億円(H29 年度評価時点)]	
【(青森県十和田市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 4 号水沢東バイパス	
【(岩手県奥州市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】
一般国道 46 号盛岡西バイパス★	
【(岩手県盛岡市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】
一般国道 4 号北上拡幅	
【(岩手県北上市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)】
一般国道 4 号金ヶ崎拡幅[残事業費 95 億円(H28 年度評価時点)]	
【(岩手県金ヶ崎町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 4 号北上花巻道路[残事業費 70 億円(R 元年度評価時点)]	
【(岩手県北上市、花巻市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 108 号石巻河南道路[残事業費 210 億円(R2 年度評価時点)]	
【(宮城県石巻市、東松島市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
一般国道 108 号古川東バイパス★	
【(宮城県大崎市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】
一般国道 4 号仙台拡幅(籠ノ瀬～鹿の又)[残事業費 400 億円(R2 年度評価時点)]	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
一般国道 4 号仙台拡幅	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②(再掲)】
一般国道 4 号大衡道路[残事業費 57 億円(R2 年度評価時点)]	
【(宮城県大衡村)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 4 号築館バイパス[残事業費 87 億円(H29 年度評価時点)]	
【(宮城県栗原市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
一般国道 13 号河辺拡幅[残事業費 85 億円(H28 年度評価時点)]★	
【(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 112 号山形中山道路[残事業費 250 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(山形県山形市、山辺町、中山町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
一般国道 4 号伊達拡幅	
【(福島県伊達市、桑折町、国見町)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)】
一般国道 13 号福島西道路(Ⅱ期)	
【(福島県福島市)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③(再掲)】
一般国道 4 号矢吹鏡石道路[残事業費 150 億円(R2 年度評価時点)]	
【(福島県矢吹町、鏡石町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
一般国道 4 号鏡石拡幅	
【(福島県鏡石町)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①(再掲)】
一般国道 6 号勿来バイパス[残事業費 170 億円(R 元年度評価時点)]★	
【(福島県いわき市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 49 号北好間改良[残事業費 26 億円(R2 年度評価時点)]	
【(福島県いわき市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 279 号むつ南バイパス★	
【(青森県むつ市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 279 号横浜北バイパス★	
【(青森県横浜町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 279 号横浜南バイパス★	
【(青森県横浜町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 394 号榎林バイパス★	
【(青森県七戸町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 286 号支倉道路改築事業	
【(宮城県川崎町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 347 号筒砂子道路改築事業	
【(宮城県加美町)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】

(一)今市福田線(高江工区)★	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 286 号(南赤石工区)	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度用地取得中)[R10 年度完成]③(再掲)】
(主)秋田天王線 秋田港アクセス道路	
【(秋田県秋田市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 287 号米沢長井道路★	
【(山形県米沢市、川西町)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 7 号 新発田拡幅[残事業費 192 億円(H28 年度評価時点)]★	
【小舟町～三日市(新潟県新発田市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 8 号柏崎バイパス城東～鯨波★	
【(新潟県柏崎市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①(再掲)】他
一般国道 8 号親不知道路外波～市振	
【(新潟県糸魚川市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
一般国道 8 号 直江津バイパス[残事業費 132 億円(H28 年度評価時点)]★	
【三ツ屋～下源入(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】他
一般国道 17 号 六日町バイパス★	
【余川(新潟県南魚沼市)	(R3 年度工事中)[R3 年夏迄に完成]①(再掲)】他
一般国道 17 号浦佐バイパス大浦～虫野★	
【(新潟県魚沼市)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①(再掲)】他
一般国道 18 号 上新バイパス★	
【寺町～岡原(新潟県上越市)	(R3 年度工事中)[R3 年完成]①(再掲)】他
一般国道 49 号 水原バイパス ★	
【(寺社～百津(新潟県阿賀野市)	(R3 年度工事中)[今後 5 か年程度で完成]②(再掲)】
【百津～下黒瀬(新潟県阿賀野市)	(R3 年度工事中)[R4 年完成]①(再掲)】
一般国道 116 号 吉田バイパス[残事業費 350 億円(R元年度評価時点)]★	
【熊森～高橋(新潟県燕市～新潟市)	(R3 年度測量設計中)④(再掲)】
一般国道 8 号 糸魚川東バイパス[残事業費 147 億円(H29 年度評価時点)]★	
【間脇～梶屋敷(新潟県糸魚川市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】他
一般国道 403 号 三条北道路	
【下条～塚野目(新潟県加茂市～三条市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
(主)新潟中央環状線 道路整備中ノロ地区、黒埼地区、明田地区★	
【(新潟県新潟市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】他
一般国道 17 号 和南津改良 川口和南津	
【(新潟県長岡市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 353 号 葎沢工区 葎沢～倉下★	
【(新潟県十日町市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
一般国道 289 号八十里越塩野渕～叶津★	
【(福島県只見町)	(R3 年度工事中)[今後 5 か年程度で完成]②(再掲)】
【(新潟県三条市)	(R3 年度工事中)[今後 5 か年程度で完成]②(再掲)】
<b>■下水道施設等の整備・活用</b>	
下水道管路施設整備事業(鶯宿幹線)	
【(岩手県雫石町)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
下水道施設改良付包括運営事業(大船渡浄化センター)	
【(岩手県大船渡市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
下水汚泥等利活用事業	
【(福島県いわき市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
民間活カインノベーション推進下水道事業	
【(福島県いわき市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
汚泥処理施設再構築事業	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度測量設計中)[R12 年度までに完成]③】
<b>■グリーンインフラの活用</b>	
仙台市グリーンインフラ活用型都市構築支援事業★	
【(宮城県仙台市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
<b>■リサイクルの推進</b>	
姫川港西埠頭地区国内物流ターミナル整備事業[残事業費 78 億円(R2 年度評価時点)]	
【西埠頭地区(新潟県糸魚川市)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③】

重点施策	指 標
<b>■地球温暖化対策の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道分野における温室効果ガス排出量削減の推進（下水汚泥バイオマス・下水熱等再生可能エネルギーの利用、下水道における省エネルギー対策、一酸化二窒素の排出削減）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道バイオマスリサイクル率 R元年度 44% → R7年度 66.5%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>空港の脱炭素化の推進</li> </ul>	
<b>■グリーンインフラの推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>官民連携・分野横断によるグリーンインフラの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[KPI-20]</li> <li>グリーンインフラ官民連携プラットフォームに登録している自治体のうち、グリーンインフラの取組を事業化した自治体数 R元年度 0自治体 → R7年度 8自治体</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>河川改修に合わせたグリーンインフラにも資する良好な自然環境の保全・再生等の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に重要な水系における湿地の再生割合 R元年度 92% → R7年度 100%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水と緑豊かで魅力ある良好な都市環境の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市域における水と緑の公的空間確保量 H29年度 19.9 m<sup>2</sup>/人 → R7年度 22.2 m<sup>2</sup>/人</li> </ul>
<b>■健全な水循環の維持又は回復</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>汚水処理施設整備の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[KPI-21]</li> <li>汚水処理人口普及率 R元年度 87% → R8年度 94%</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>汚濁の著しい河川・湖沼や閉鎖性海域における水質の改善を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>良好な水環境創出のための高度処理実施率 R元年度 45.8% → R7年度 55%</li> </ul>
<b>期待されるストック効果</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>東北地域は風況に恵まれており、洋上風力発電については、大きなポテンシャルがあり、整備に伴う関連産業への波及効果も期待される。</li> <li>洋上風力発電施設を設置するための基地港湾として、重厚長大な資機材を扱うことが可能な地耐力を有する岸壁等の港湾施設の整備を進め、洋上風力発電の導入を後押しする。</li> <li>これまでの汚水処理施設の整備により、住民生活の衛生状態や河川等における環境基準達成率は向上している。今後、より一層効率的に整備を進めることにより、未普及地域の早期解消や、河川における更なる水質改善等が期待される。</li> </ul>	
<b>「インフラ経営」の取組</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際物流の結節点・産業拠点となる港湾において、水素、アンモニア等の次世代エネルギーの大量輸入や貯蔵、利活用等を図るとともに、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化を通じて温室効果ガスの排出を全体でゼロにする「カーボンニュートラルポート」の実現を目指す。</li> </ul>	

## 小目標6-2:人を中心に据えたインフラ空間の見直し

### (重点施策の概要)

- 道路空間や水辺空間等の多面的・複合的な利活用により、ポストコロナ時代におけるゆとりある豊かな暮らしの実現を図る。また、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりや、インフラツーリズムの推進、背後圏を含めた港町の魅力を地域内外に発信する交流拠点としてのみなとオアシスの更なる活用等により、地域振興や交流の創出に繋げる。

### 重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[22]インフラ空間の新たな利活用

・水辺の賑わい創出に向け、水辺とまちが一体となった取組を実施した市町村の数

【R2年度 58 → R7年度 88】

### 目標の達成に寄与する主要取組

[完了予定時期 ①: ~R5年度、②: ~R7年度、③: ~R12年度頃、④: 完成時期未定]

[ ]内の完成年度は、本計画策定時点の完成予定時期であり、毎年度の予算や進捗等の事業により、変更となる場合がある

★印: 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容\*が含まれる  
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

#### 【各主体が連携した取組】

##### ■道路空間の新たな利活用推進

【地方公共団体と地域住民・団体等が一体となって取組む沿道飲食店等の路面利用の占用許可基準緩和を踏まえた道路空間の新たな利活用推進 (R3年度推進中)④】

##### ■「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりの推進

【「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりの推進 (R3年度推進中)④】

#### 【ハード・ソフト一体となった取組】

##### ■水辺空間の形成と積極的な利活用の支援

【河川空間では、堤防工事等に併せて国・自治体・住民等が連携し、水辺を活用した賑わいの場を創出 (R3年度推進中)④】

##### ■「防災道の駅」制度等による防災機能強化

【災害時に広域的な復旧・復興活動拠点となる「道の駅」を選定し、ハード・ソフト両面から対策を強化した「防災道の駅」の推進 (R3年度推進中)④】

#### 【インフラの利活用】

##### ■既存の防波堤等の利活用による釣り文化振興の取組

【釣り文化振興モデル港指定による港湾周辺の賑わい創出(青森港・秋田港・相馬港・小名浜港・新潟港・直江津港) (R3年度推進中)④】

##### ■インフラツーリズムの推進

【インフラを利用して、インフラ施設周辺の観光資源を楽しむ、インフラツーリズムを推進する (R3年度推進中)④】

#### 【選択と集中の徹底】

##### ■地域の歴史・文化を活かしたまちづくり、魅力ある都市空間の整備等

【田名部まちなか地区まちなかウォーク推進事業【(青森県むつ市) (R3年度工事中)[R5年度完成]①(再掲)】

【仙台都心地区まちなかウォーク推進事業【(宮城県仙台市) (R3年度工事中)[R7年度完成]②(再掲)】

【長岡市中心市街地地区まちなかウォーク推進事業(新潟県長岡市) (R3年度推進中)[R4年度完成]①(再掲)】

##### ■かわまちづくり等の推進

青森県における良好な河川環境の整備

【(青森県むつ市) (R3年度工事中)[R3年度完成]①(再掲)】

高瀬川総合水系環境整備事業

【(青森県三沢市、東北町、六ヶ所村) (R3年度工事中)[R3年度完成]①(再掲)】

米代川総合水系環境整備事業

【(秋田県能代市、北秋田市、大館市) (R3年度事業中)[R6年度完成]②(再掲)】

名取川総合水系環境整備事業[残事業費2.3億円(R2年度評価時点)]

【(宮城県名取市) (R3年度工事中)[R10年度完成]③(再掲)】

最上川総合水系環境整備事業[残事業費7億円(R元年度評価時点)]

【(山形県真室川町、舟形町、大石田町、戸沢村、新庄市、中山町、山形市、河北町、大江町、寒河江市、高畠町、米沢市、朝日町、長井市、白鷹町、村山市、庄内町) (R3年度工事中)(R11年度完成)③(再掲)】

赤川総合水系環境整備事業[残事業費12億円(R元年度評価時点)]

【(山形県鶴岡市、三川町) (R3年度工事中)(R11年度完成)③(再掲)】

北上川総合水系環境整備事業[残事業費20億円(H28年度評価時点)]

【(岩手県一関市、平泉町、奥州市、北上市、西和賀町、花巻市、紫波町、盛岡市) (R3年度工事中)(R12年度完成)③(再掲)】  
 【(宮城県石巻市、大崎市、登米市、美里町) (R3年度工事中)(R12年度完成)③(再掲)】

阿武隈川総合水系環境整備事業[残事業費8.3億円(R2年度評価時点)]

【(福島県福島市、本宮市、桑折町、玉川村) (R3年度工事中)(R12年度完成)③(再掲)】

■港湾施設の利活用の推進

新潟港海岸直轄海岸保全施設整備事業★

【(新潟県新潟市) (R3年度工事中)(R3年度完成)①(再掲)】

■公園等の整備推進

新青森県総合運動公園整備事業

【(青森県青森市) (R3年度工事中)(R5年度完成)①】

青葉山公園整備事業

【(宮城県仙台市) (R3年度工事中)(R8年度完成)③】

重点施策	指標
■人中心に捉えたインフラ空間	
・魅力ある水辺空間創出のため、かわまちづくり等の更なる推進	[KPI-22]インフラ空間の新たな利活用 ・水辺の賑わい創出に向け、水辺とまちが一体となった取組を実施した市町村の数 R2年度 58→ R7年度 88
■インフラ空間の新たな利活用促進	
・インフラ空間の新たな利活用創出のため、民間事業者等による水辺空間利活用の推進	・地域活性化に資する新たな水辺の利活用創出のため、民間事業者等と連携し社会実験を行った個所数 R元年度 9→ R7年度 14 ※指標は河川のもの
期待されるストック効果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のインフラや工事中のインフラを利用して、インフラ施設周辺の観光資源を楽しむ、インフラツーリズムを推進し、周辺地域の活性化を図る。</li> <li>旧北上川では、新たな利活用により賑わいの活性化を図るため、官民一体の協同プロジェクト「ミズベリング石巻」を推進している。みずべマルシェなどのイベントを開催しており、今後とも地域活性化に関する取組として期待される。</li> </ul>	
「インフラ経営」の取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業による海浜の管理運営を通じた賑わい空間の創出に関する取組:令和3年度に青森港海浜・水質浄化施設整備事業が完了し、海浜が供用開始となる。これに合わせ、隣接する港湾緑地の一部を民間企業に貸し出し、商業スペースを有する拠点施設が開設される。これにより民間企業が海浜の管理運営を行い、人的交流機会の増加を促す。</li> <li>釣り文化振興モデル指定港(青森港・秋田港・相馬港・小名浜港・新潟港・直江津港)の防波堤等の施設において、安全管理を徹底した上で「釣り施設」として一般開放する取組を実施しており、地域の新たな賑わい創出や釣り文化の振興に寄与している。</li> </ul>	

## 第4章 計画を推進するための方策

第3章で示した重点目標の効率的な達成を図るため、本章では「計画の実効性を確保する方策」として、目標を効果的かつ効率的に実施するための措置に関する事項を定める。

### 1. 多様な効果を勘案した公共事業評価等の実施

事業の効率性及び、その実施過程の透明性の一層の向上を図るため、新規事業採択時評価、再評価及び、完了後の事後評価による一貫した事業評価体系の下、公共事業評価を実施するとともに、新規事業採択時評価の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数案の比較・評価を行う計画段階評価を実施するほか、各事業の進捗状況を適宜フォローアップしていく。

さらに、安全・安心の確保、生活の質の向上、民間投資の誘発や生産性の向上による生産拡大といった社会資本のストック効果の発現状況について、多面的な効果を踏まえつつ、事業完了後における東北ブロックの即地的な社会経済状況の変化を継続的に把握・公表する等、ストック効果の見える化を図る取組を推進する。

### 2. 社会資本整備への多様な主体の参画・協働と透明性・公平性の確保

国民の価値観が多様化する中で社会資本整備を円滑に進めるためには、事業の構想・計画段階、実施段階、そして管理段階の各段階において、多様な主体の参画・協働を通じて受け手のニーズに合わせたものとするのが重要であるとともに、効率性にも留意しながら各段階において透明性・公平性が確保されたプロセスを経ることにより、社会資本整備に対する国民の信頼度を向上させることが重要である。また、東北ブロック版重点計画第2章2.で示した「3つの総力」を挙げて社会資本整備を深化させていくためには、政策間連携、国と地方公共団体の連携の強化は必要不可欠である。

こういった取組により整備された社会資本が有効に活用され、そのストック効果を最大限発現されることにつなげる。

### 3. 社会資本整備における生産性の向上

社会資本がもたらす効果に関する評価の充実、社会資本整備への多様な主体の参画促進等のためには、社会資本整備に関する様々な情報の収集・分析やオープン化が必要である。

特に、社会資本のストック効果を高めるためには、防災情報や交通情報等、利用者の関心に応じた情報の適時的確な提供が効果的であり、ビッグデータ分析による危機管理や交通利便性等の利用価値の高い情報を生成し、社会資本整備に対して有益な情報を提供する。また、インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)やICTの活用により、維持管理等も含めた建設生産プロセス全体における生産性の向上や品質の確保のほか、業務効率化や担い手確保等にもつなげる。

東日本大震災の復旧・復興をはじめ、各地の建設工事の現場、災害現場等での多くの苦難を克服してきた技術者の知恵と工夫や、社会資本整備による国民生活の向上等、建設関連業界の取組には建設現場等から生まれる様々な情報資産(「物語」)があり、それらを地域の財産として、しっかりと残していく取組を官民連携して行っていく必要がある。